

西部地区再整備事業 アンケート調査

■調査の目的

西部地区に対する対象地区内の地域住民、対象地区外の市民、対象地区内外の商業者のまちづくりに対する意向を広く把握するため、「(1) 市民アンケート調査」並びに「(2) 商業者アンケート調査」を行った。

各調査については、対象地区内の地域住民と地区外市民の意向の違いを把握するため、「地区内」「地区外」と対象を分けて実施した。

また、首都圏居住者からの対象地区に関する移住意向や移住促進の可能性を把握するため、「(3) 首都圏居住者アンケート調査」を行った。

■調査概要

	区分	対象	調査方法	配布数	回収数 (回収率)
(1) 市民	市民① 地区内	対象地区内に暮らす 20～80 歳未満の男女	郵送配布・ 回収方式	1,500	550 (36.7%)
	市民② 地区外	対象地区外に暮らす 20～80 歳未満の男女	郵送配布・ 回収方式	1,500	422 (28.1%)
(2) 商業者	商業者① 地区内	対象地区内の小売・飲食・ 宿泊・サービス事業者	郵送配布・ 回収方式	403	135 (33.5%)
	商業者② 地区外	対象地区外の小売・飲食・ 宿泊・サービス事業者	郵送配布・ 回収方式	689	179 (26.0%)
(3) 首都圏居住者		函館市への移住及び長期 滞在に関心のある首都圏 (東京、神奈川、千葉、埼 玉) 居住者	インターネ ット 調 査 (㈱楽天イ ンサイト)	19,999 ※スクリ ーニング 調査対象	500

※本文中の記号の意味は以下の通り。

- SA (Single Answer) …単数回答
- MA (Multi Answer) …複数回答
- NA (Numerical Answer) …数量回答
- FA (Free Answer) …自由記述
- SA 加工…単数回答を数値として加工したもの

(1) 市民

〈調査の概要〉

調査方法：アンケート調査（郵送配布・回収方式）

調査期間：平成 30 年 8 月 22 日～9 月 14 日

※調査票では回収締切を 9 月 6 日としていたが、同日未明に発生した北海道胆振東部地震の影響をふまえ 14 日まで延長した。

調査対象：住民基本台帳より 20～80 歳未満の男女を性別・年代・居住地区の構成比に応じて、下記の各調査につき 1,500 サンプルずつ無作為抽出した。

回収状況：市民①地区内 550 サンプル（回収率 36.7%）

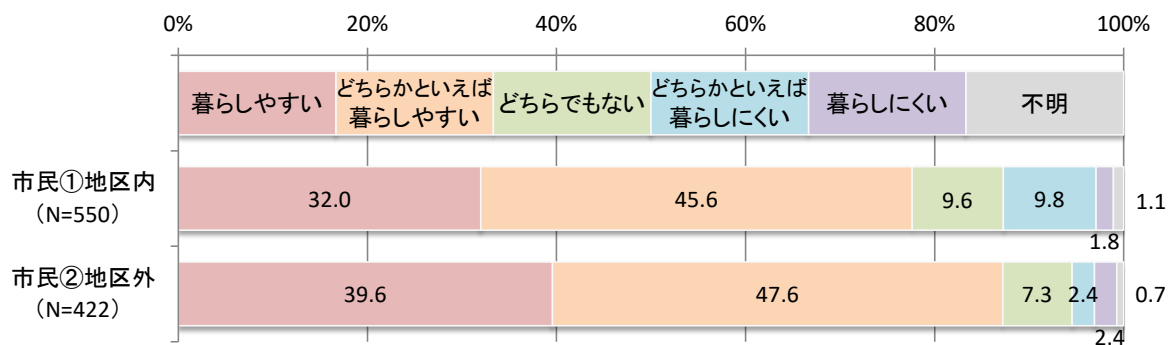
市民②地区外 422 サンプル（回収率 28.1%）

〈調査結果〉

1 住まい周辺の身近な地域の評価

Q1 あなたは、お住まい周辺の身近な地域を暮らしやすい地域だと思いますか。（SA）

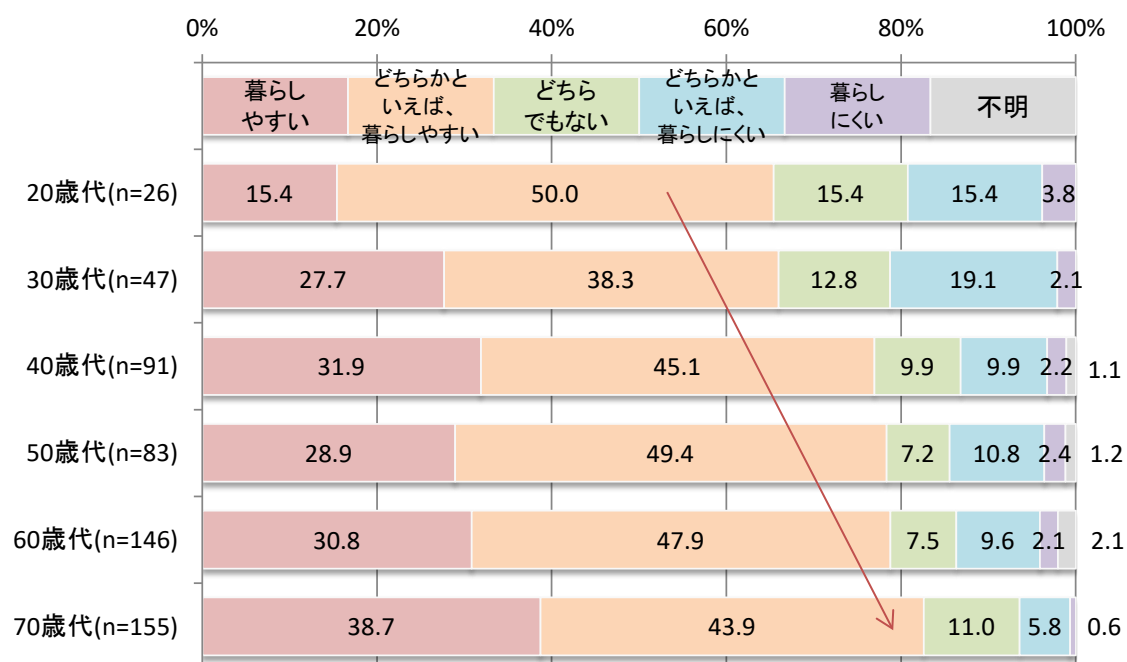
地区内外とも、「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」の割合が 8 割前後と高い。地区外に比べると、地区内では「暮らしやすい」の割合がやや低い。



暮らしやすさの評価

〈市民①地区内 年代別〉

地区内では、年代が上がるほど「暮らしやすい」「どちらかといえば、暮らしやすい」を合わせた割合が高くなる傾向がみられた。

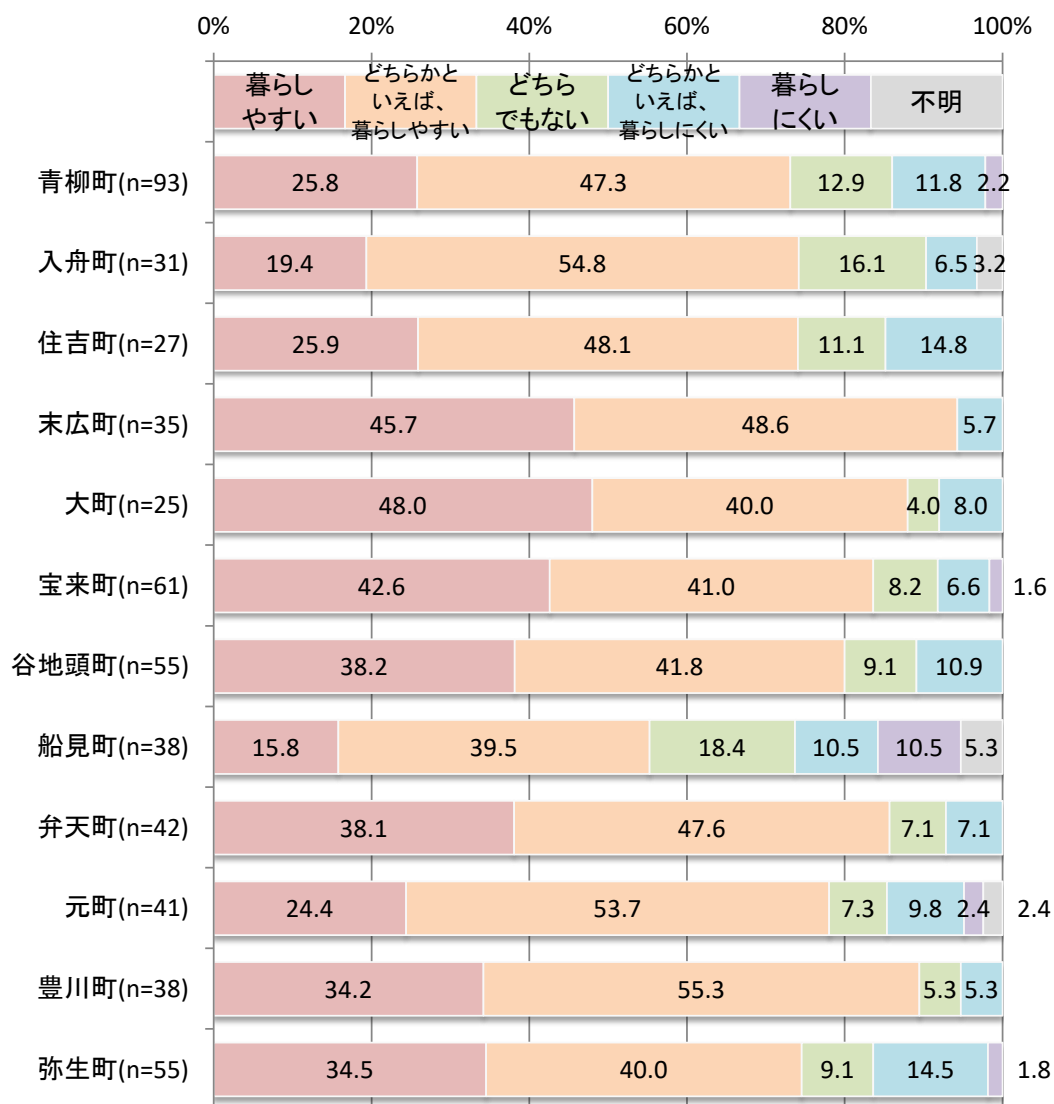


暮らしやすさの評価（地区内、年代別）

〈市民①地区内 町別〉

「暮らしやすい」の割合は、船見町、入舟町で2割未満と他の地区に比べ低く、地区内
 平均値（32.0%）と10ポイント以上の差がみられた。

「暮らしやすい」「どちらかといえば、暮らしやすい」を合わせた割合は、末広町で最も
 高く94.3%、次いで豊川町（89.5%）、大町（88.0%）の順であった。



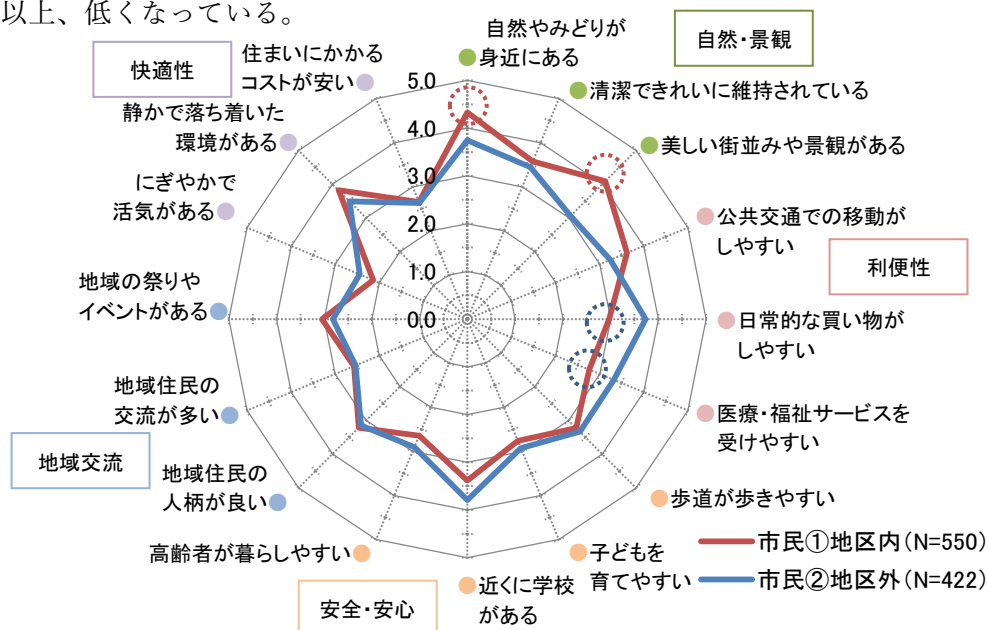
暮らしやすさの評価（町別）

Q2 お住まい周辺の身近な地域は、各項目について魅力があると思いますか。(SA)

※数値は、「0」～「5」で評価された回答の平均値を示す

地区内では、「自然やみどりが身近にある」「美しい街並みや景観がある」で地区外よりも評価が0.5ポイント以上高く、特に「美しい街並み」の項目で差が大きい。

逆に、「日常的な買い物がしやすい」「医療・福祉サービスを受けやすい」では評価が0.5ポイント以上、低くなっている。



身近な地域の魅力（地区内外の比較）

	項 目	市民①地区内	市民②地区外	①－②
自然・景観	自然やみどりが身近にある	4.3	3.7	+0.6
	清潔できれいに維持されている	3.6	3.4	+0.2
	美しい街並みや景観がある	4.1	3.1	+1.0
利便性	公共交通での移動がしやすい	3.6	3.2	+0.4
	日常的な買い物がしやすい	3.0	3.7	-0.7
	医療・福祉サービスを受けやすい	2.8	3.3	-0.5
安全・安心	歩道が歩きやすい	3.2	3.3	-0.1
	子どもを育てやすい	2.8	2.9	-0.1
	近くに学校がある	3.4	3.8	-0.4
	高齢者が暮らしやすい	2.6	2.9	-0.3
地域交流	地域住民の人柄が良い	3.2	3.2	0
	地域住民の交流が多い	2.6	2.5	+0.1
	地域の祭りやイベントがある	3.1	2.8	+0.3
快適性	にぎやかで活気がある	2.1	2.4	-0.3
	静かで落ち着いた環境がある	3.8	3.5	+0.3
	住まいにかかるコストが安い	2.7	2.6	+0.1

〈市民①地区内 町別〉

船見町・入舟町・豊川町では評価の低い項目が多い。入舟町では「自然・景観」に関する項目は全て評価が低く、豊川町では「安心・安全」「地域交流」に関する項目の評価が低い。船見町は全般的に評価の低い項目が多くなっている。

大町では評価の高い項目が多く、特に「利便性」に関する項目は全て評価が高い。

身近な地域の魅力（地区内、町別の比較）

		全体平均	青柳町	入舟町	住吉町	末広町	大町	宝来町	谷地頭町	船見町	弁天町	元町	豊川町	弥生町
自然・景観	自然やみどりが身近にある	4.3	4.7	3.7	4.8	4.0	4.2	4.2	4.8	4.3	4.0	4.5	4.0	4.2
	清潔できれいに維持されている	3.6	3.8	2.7	3.6	4.0	3.8	3.5	3.7	3.0	3.3	3.8	3.8	3.6
	美しい街並みや景観がある	4.1	4.2	3.4	3.9	4.4	4.4	3.9	3.9	3.9	3.9	4.5	4.3	4.2
利便性	公共交通での移動がしやすい	3.6	3.5	3.4	3.3	4.0	4.2	3.9	4.0	2.5	4.1	3.6	4.1	3.3
	日常的な買い物がしやすい	3.0	2.8	2.4	2.3	3.7	3.5	3.7	2.5	2.3	3.4	3.0	3.4	2.7
	医療・福祉サービスを受けやすい	2.8	2.6	2.3	2.2	3.3	3.3	3.4	2.5	2.4	2.9	2.9	2.8	2.7
	歩道が歩きやすい	3.2	3.0	2.5	2.9	3.6	3.8	3.6	3.3	2.7	3.3	3.1	3.6	3.4
安全・安心	子どもを育てやすい	2.8	3.0	2.1	2.6	2.3	3.0	2.8	3.2	2.4	3.0	2.8	2.0	3.1
	近くに学校がある	3.4	4.3	2.2	2.8	2.8	3.9	3.8	3.5	2.8	3.3	3.6	1.7	3.8
	高齢者が暮らしやすい	2.6	2.6	2.4	2.2	2.7	3.2	3.3	2.7	2.1	2.9	2.4	2.6	2.6
地域交流	地域住民の人柄が良い	3.2	3.2	3.5	3.4	3.5	3.6	3.4	3.5	3.1	2.9	3.0	2.5	3.4
	域住民の交流が多い	2.6	2.7	2.5	3.1	2.7	2.6	2.7	2.9	2.1	2.1	2.4	2.0	2.7
	地域の祭りやイベントがある	3.1	2.9	2.7	3.5	3.1	3.0	3.1	3.8	2.4	2.7	3.3	3.5	2.7
快適性	にぎやかで活気がある	2.1	2.1	1.7	2.1	2.6	2.6	2.3	2.2	1.5	1.7	2.4	2.6	1.9
	静かで落ち着いた環境がある	3.8	3.9	3.6	3.9	3.5	3.9	3.7	4.3	3.8	3.5	3.9	3.3	4.0
	住まいにかかるコストが安い	2.7	2.6	2.4	2.5	2.5	2.7	2.7	2.7	2.4	3.1	2.6	2.6	3.0

※ ■全体平均+1.0 以上 ■全体平均+0.5 以上 ■全体平均-0.5 以下 ■全体平均-1.0 以下

※小数点以下第2位を四捨五入した数値を用いた

※全体平均値は、12町の平均値

〈市民①地区内 Q1「地域の暮らしやすさ」別〉

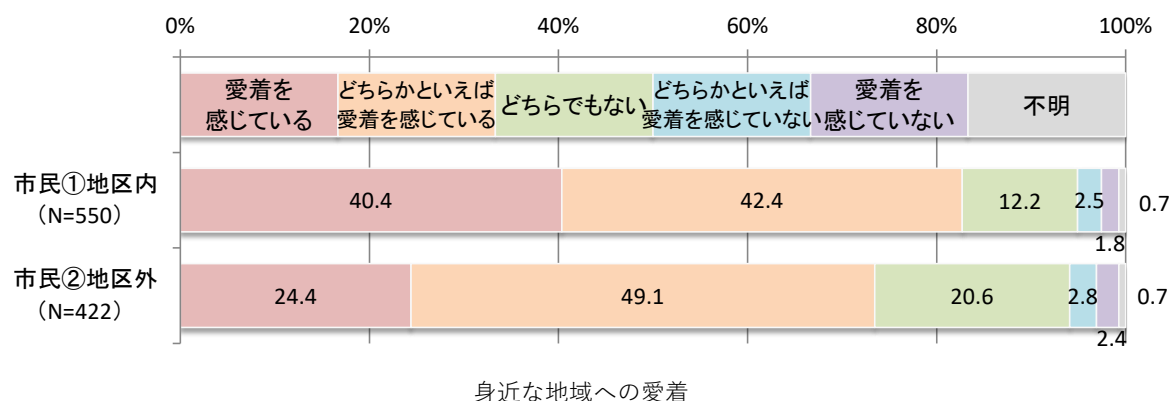
Q1で「暮らしやすい」と回答した人の平均値と、地区内平均値との差をみると、『日常的な買い物がしやすい』『高齢者が暮らしやすい』で0.7点差、『公共交通での移動がしやすい』『子どもを育てやすい』の項目で0.6点差と差が大きく、“利便性”及び“安全・安心”に関する項目の影響が大きいことがうかがえた。

身近な地域の魅力（地区内「地域の暮らしやすさ」別）

自然・景観		① Q1で地域が『暮らしやすい』と答えた人の平均値	② 地区内平均値	①-②
自然・景観	自然やみどりが身近にある	4.5	4.3	0.2
	清潔できれいに維持されている	3.9	3.5	0.3
	美しい街並みや景観がある	4.3	4.1	0.3
利便性	公共交通での移動がしやすい	4.2	3.6	0.6
	日常的な買い物がしやすい	3.7	3.0	0.7
	医療・福祉サービスを受けやすい	3.2	2.7	0.5
	歩道が歩きやすい	3.7	3.2	0.5
安全・安心	子どもを育てやすい	3.2	2.6	0.6
	近くに学校がある	3.6	3.3	0.3
	高齢者が暮らしやすい	3.3	2.6	0.7
地域交流	地域住民の人柄が良い	3.6	3.2	0.3
	地域住民の交流が多い	2.8	2.5	0.3
	地域の祭りやイベントがある	3.4	3.0	0.4
快適性	にぎやかで活気がある	2.4	2.1	0.3
	静かで落ち着いた環境がある	4.1	3.8	0.3
	住まいにかかるコストが安い	3.0	2.6	0.3

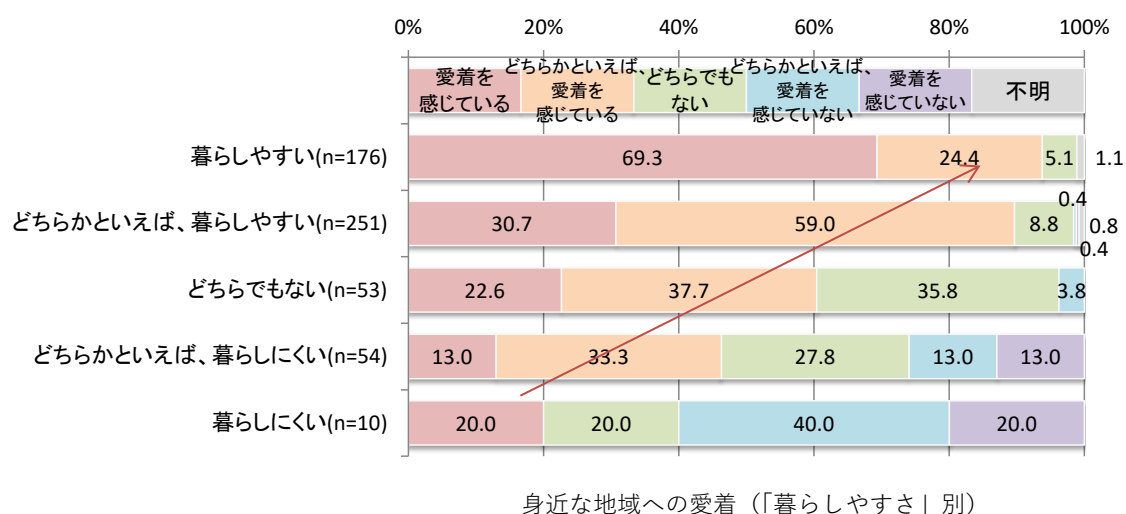
Q3 あなたは、お住まい周辺の身近な地域に愛着を感じていますか。(SA)

「愛着を感じている」の割合は、地区外に比べ地区内で高く、15 ポイント以上の差がみられた。



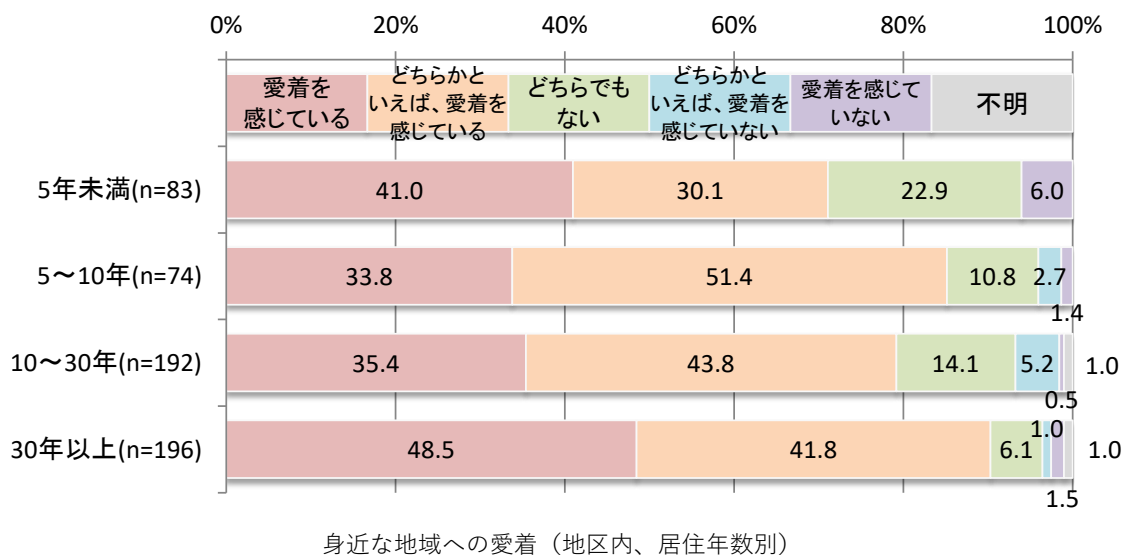
〈市民①地区内 Q1 暮らしやすさの評価別〉

暮らしやすさの評価別にみると、暮らしやすさの評価が高いほど、「愛着を感じている」「どちらかといえば、愛着を感じている」を合わせた人の割合も高くなる傾向がみられた。



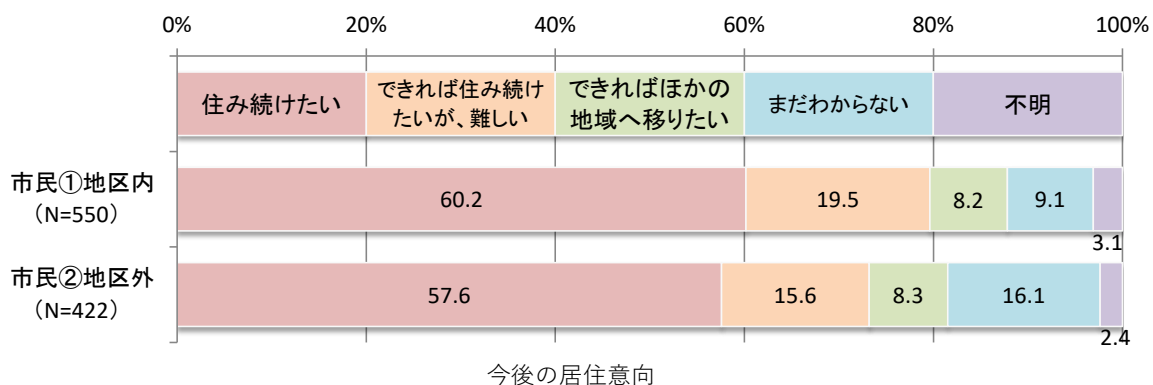
〈市民①地区内 居住年数別〉

居住年数が30年以上では、「愛着を感じている」「どちらかといえば、愛着を感じている」を合わせた割合が9割以上と高い。



Q4 あなたは、お住まい周辺の身近な地域にこれからも住み続けたいと思いますか。（SA）

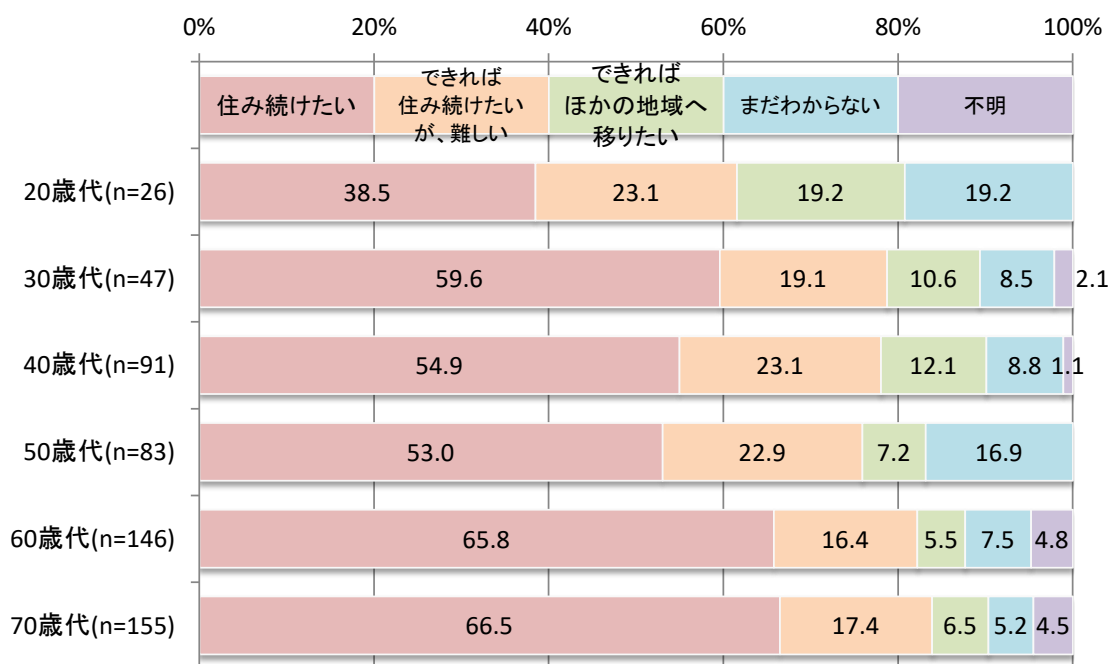
地区内外とも「住み続けたい」の割合が最も高く約6割、地区内では「できれば住み続けたいが、難しい」の割合も2割弱となっている。



〈市民①地区内 年代別〉

「住み続けたい」の割合は、60 歳代以上では 6 割以上と高く、20 歳代では 4 割未満と低くなっている。

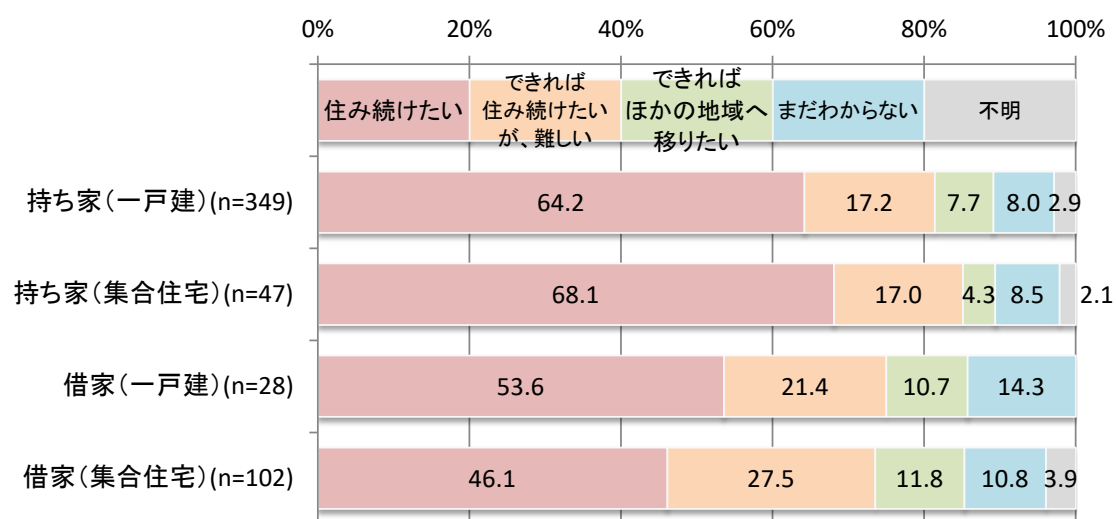
「できれば住み続けたいが、難しい」の割合は、各年代とも 1～2 割となっており、20～50 歳代で 2 割前後と 60 歳代以上に比べ高くなっている。



今後の居留意向（地区内、年代別）

〈市民①地区内 居住形態別〉

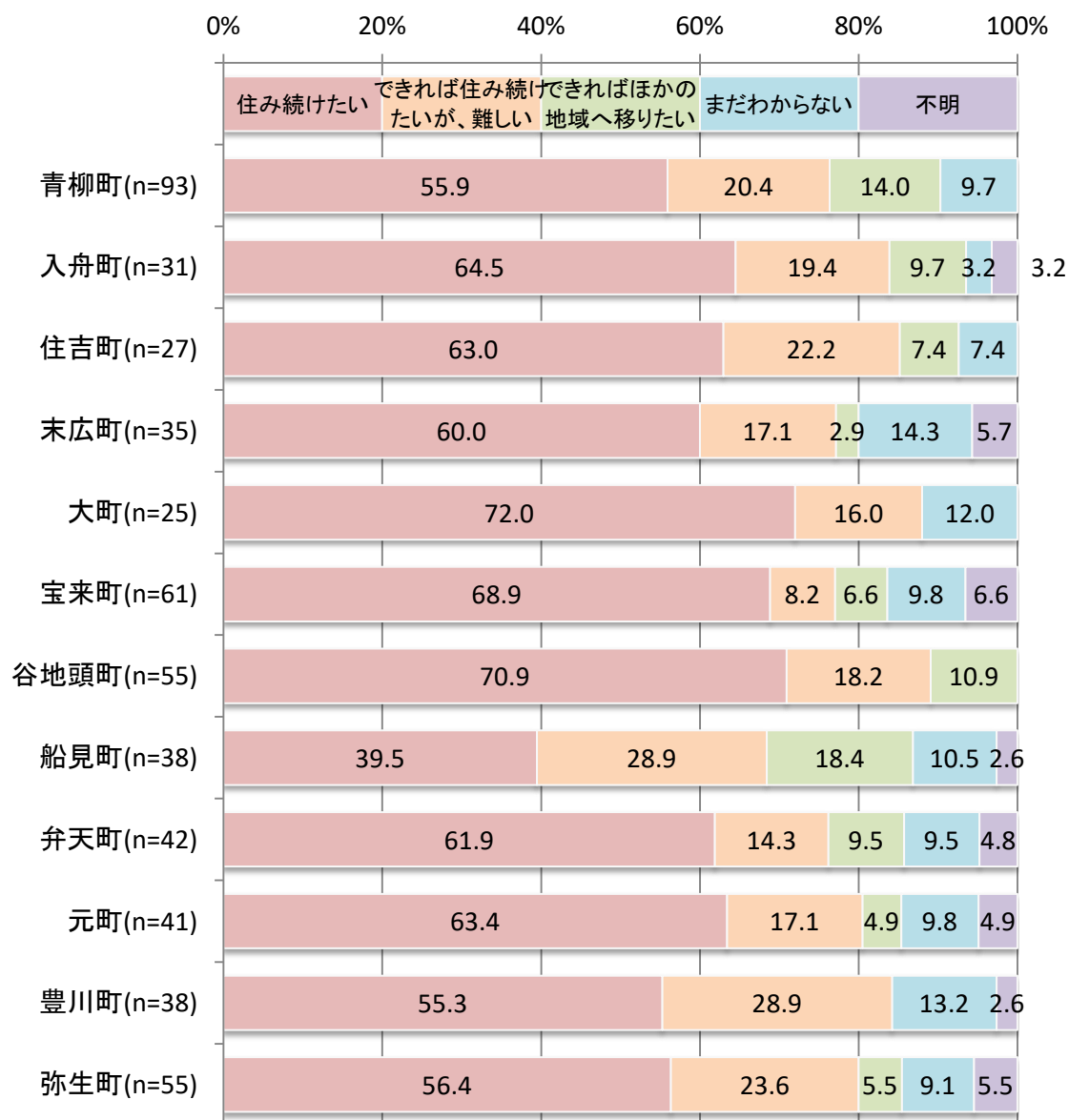
持ち家（一戸建）・持ち家（集合住宅）では、「住み続けたい」の割合が6割以上、借家（集合住宅）では5割未満と、居住形態により差がみられた。



今後の居留意向（地区内、居住形態別）

〈市民①地区内 町別〉

町別にみると、「できれば住み続けたいが、難しい」の割合は船見町及び豊川町で高く約3割を占めている。また、「できればほかの地域へ移りたい」の割合は船見町、青柳町、谷地頭町で高く1割を超えている。



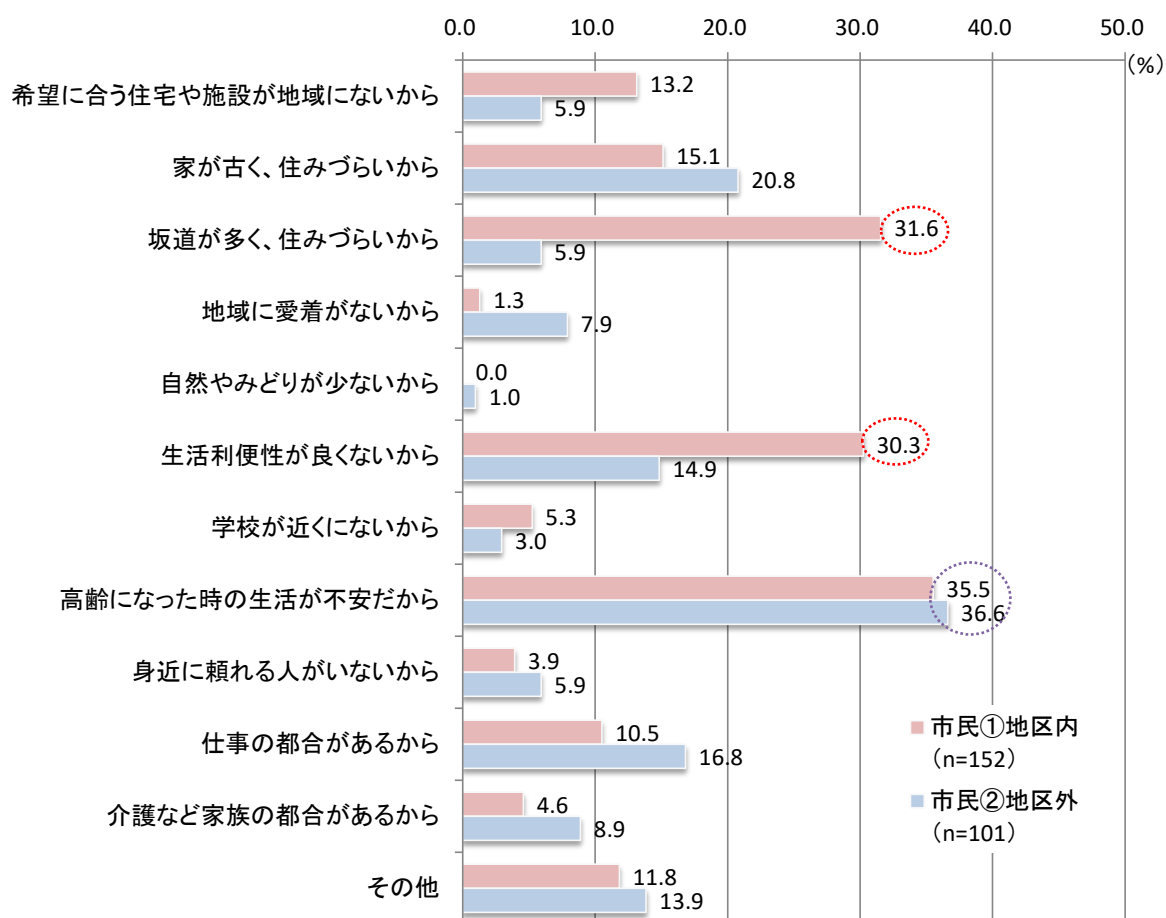
今後の居住意向（地区内、町別）

(Q4-1で「できれば住み続けたいが難しい」、「ほかの地域へ移りたい」を選択した回答者のみ)

Q4-1 住み続けられない、ほかの地域へ移りたいと思う理由は何ですか。(MA)

地区内・地区外とも、「高齢になった時の生活が不安だから」の回答率が最も高い。

地区内では、「坂道が多く、住みづらいから」「生活利便性が良くないから」の割合が地区外に比べ高く、いずれも15ポイント以上の差がみられる。



住み続けられない、ほかの地域へ移りたい理由

〈市民①地区内 年代別〉

「坂道が多く、住みづらいから」では50歳代以上で、「高齢になった時の生活が不安だから」では、50・60歳代での回答率が高くなっている。

住み続けられない、ほかの地域へ移りたい理由（地区内、年代別）

	n	希望に合う住宅や施設が地域にないから	家が古く、住みづらいから	坂道が多く、住みづらいから	地域に愛着がないから	自然やみどりが少ないから	生活利便性が良くないから	学校が近くにないから	高齢になった時の生活が不安だから	身近に頼れる人がいないから	仕事の都合があるから	介護など家族の都合があるから	その他
全体	152	13.2	15.1	31.6	1.3	0.0	30.3	5.3	35.5	3.9	10.5	4.6	11.8
20歳代	11	18.2	9.1	27.3	0.0	0.0	54.5	0.0	9.1	0.0	18.2	0.0	18.2
30歳代	14	7.1	14.3	7.1	7.1	0.0	14.3	7.1	14.3	0.0	50.0	0.0	14.3
40歳代	32	12.5	18.8	18.8	3.1	0.0	34.4	15.6	25.0	6.3	12.5	3.1	18.8
50歳代	25	20.0	20.0	44.0	0.0	0.0	32.0	4.0	52.0	4.0	4.0	8.0	12.0
60歳代	32	15.6	15.6	37.5	0.0	0.0	25.0	3.1	46.9	3.1	3.1	3.1	6.3
70歳代	37	8.1	10.8	40.5	0.0	0.0	29.7	0.0	37.8	5.4	2.7	8.1	8.1

※ ■全体平均+10pt以上 ■全体平均+5p以上 ■全体平均-5p以下 ■全体平均-10pt以下

〈市民①地区内 町別〉

入舟町・船見町では「生活利便性が良くないから」、末広町・船見町では「坂道が多く、住みづらいから」、弁天町・元町では「家が古く、住みづらいから」の回答率が高い。

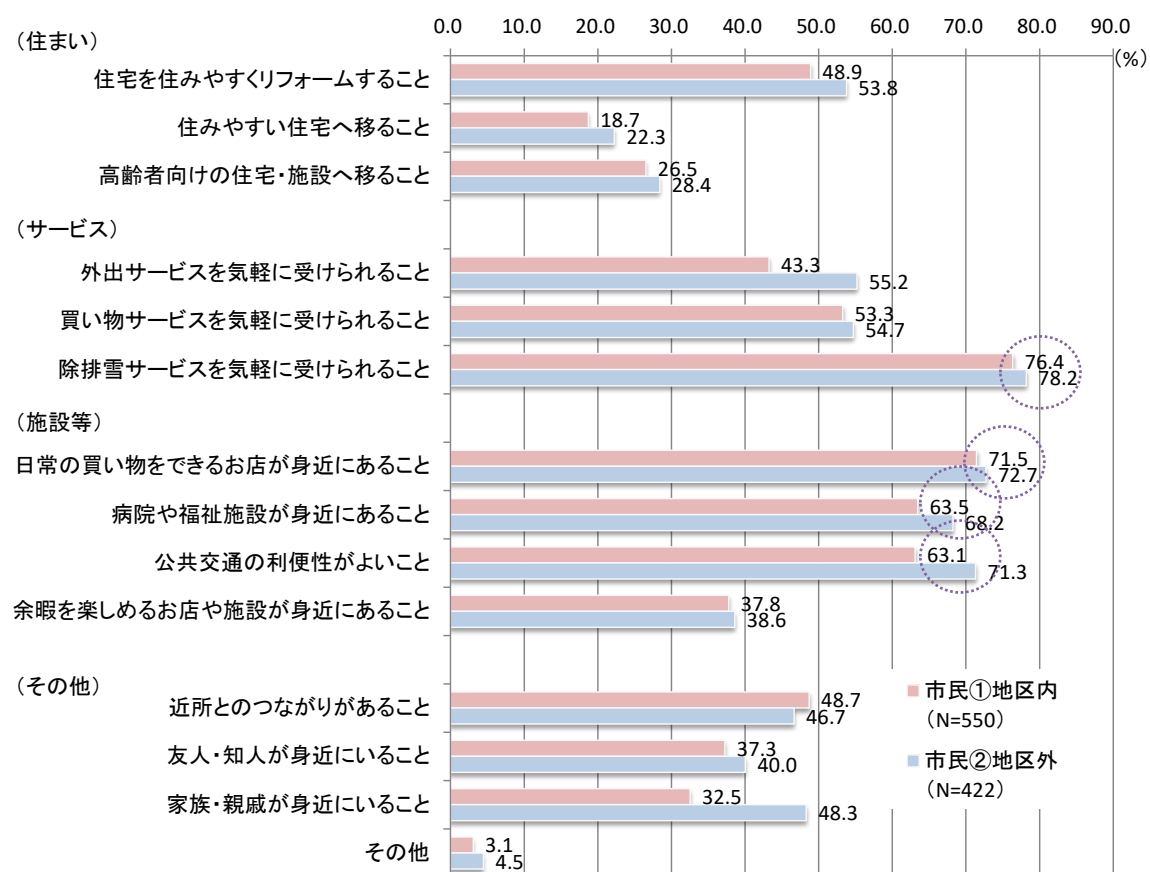
住み続けられない、ほかの地域へ移りたい理由（地区内、町別）

	n	希望に合う住宅や施設が地域にないから	家が古く、住みづらいから	坂道が多く、住みづらいから	地域に愛着がないから	自然やみどりが少ないから	生活利便性が良くないから	学校が近くにないから	高齢になった時の生活が不安だから	身近に頼れる人がいないから	仕事の都合があるから	介護など家族の都合があるから	その他
全体	152	13.2	15.1	31.6	1.3	0.0	30.3	5.3	35.5	3.9	10.5	4.6	11.8
青柳町	32	9.4	12.5	40.6	3.1	0.0	28.1	0.0	25.0	3.1	9.4	3.1	12.5
入舟町	9	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	44.4	22.2	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0
住吉町	8	12.5	25.0	37.5	0.0	0.0	37.5	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
末広町	7	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	28.6
大町	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0
宝来町	9	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	44.4	0.0	22.2	0.0	22.2
谷地頭町	16	6.3	18.8	31.3	0.0	0.0	31.3	0.0	43.8	0.0	0.0	6.3	18.8
船見町	18	11.1	11.1	61.1	5.6	0.0	44.4	11.1	50.0	0.0	5.6	0.0	0.0
弁天町	10	10.0	40.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
元町	9	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	11.1	22.2
豊川町	11	54.5	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	18.2	18.2	9.1	9.1	0.0	9.1
弥生町	16	18.8	6.3	31.3	0.0	0.0	25.0	6.3	43.8	18.8	25.0	18.8	12.5

※ ■全体平均+10pt 以上 ■全体平均+5p 以上 ■全体平均-5p 以下 ■全体平均-10pt 以下

Q5 高齢になっても住み慣れた地域に住み続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(MA)

「除排雪サービスを気軽に受けられること」「日常の買い物ができるお店が身近にあること」「病院や福祉施設が身近にあること」「公共交通の利便性がよいこと」の回答率が地区内・地区外ともに6割以上と、高くなっている。



高齢になっても住み続けるために必要なこと

〈市民①地区内 年代別〉

全体的に、60 歳代以上では、回答率が全体平均程度か、全体平均を下回る項目が多い。

また、「除排雪サービスを気軽に受けられること」「家族・親戚が身近にいること」では年代が下がるほど回答率が高くなる傾向がみられた。

高齢になっても住み続けるために必要なこと（地区内、年代別）

	n	住まい			サービス			施設等				その他			
		住宅を住みやすくリフォームすること	住みやすい住宅へ移ること	高齢者向けの住宅・施設へ移ること	外出サービスを気軽に受けられること	買い物サービスを気軽に受けられること	除排雪サービスを気軽に受けられること	日常の買い物ができるお店が身近にあること	病院や福祉施設が身近にあること	公共交通の利便性がよいこと	余暇を楽しめるお店や施設が身近にあること	近所とのつながりがあること	友人・知人が身近にいること	家族・親戚が身近にいること	その他
全体	550	48.9	18.7	26.5	43.3	53.3	76.4	71.5	63.5	63.1	37.8	48.7	37.3	32.5	3.1
20 歳代	26	46.2	23.1	34.6	34.6	69.2	88.5	84.6	69.2	76.9	42.3	46.2	38.5	46.2	3.8
30 歳代	47	55.3	19.1	25.5	46.8	61.7	89.4	78.7	76.6	70.2	40.4	44.7	51.1	44.7	4.3
40 歳代	91	56.0	27.5	20.9	47.3	60.4	84.6	86.8	71.4	67.0	33.0	47.3	44.0	45.1	3.3
50 歳代	83	53.0	24.1	26.5	54.2	66.3	81.9	79.5	67.5	72.3	42.2	45.8	37.3	39.8	4.8
60 歳代	146	48.6	20.5	25.3	42.5	50.7	78.1	65.1	57.5	61.0	38.4	50.0	32.2	26.0	2.1
70 歳代	155	41.9	8.4	29.7	35.5	40.0	61.3	60.6	58.1	53.5	36.1	51.6	33.5	21.3	2.6

※ ■全体平均+10pt 以上 ■全体平均+5p 以上 ■全体平均-5p 以下 ■全体平均-10pt 以下

〈市民①地区内 町別〉

「住宅を住みやすくリフォームすること」は宝来町で回答率が高く、地区内全体平均と比べて 20 ポイント程度の差がみられる。

「除排雪サービスを気軽に受けられること」は各町とも回答率が高いが、青柳町・谷地頭町・船見町では特に高く、9 割前後となっている。

高齢になっても住み続けるために必要なこと（地区内、町別）

	n	住まい			サービス			施設等				その他			
		住宅を住みやすくリフォームすること	住みやすい住宅へ移ること	高齢者向けの住宅・施設へ移ること	外出サービスを気軽に受けられること	買い物サービスを気軽に受けられること	除排雪サービスを気軽に受けられること	日常の買い物をできるお店が身近にあること	病院や福祉施設が身近にあること	公共交通の利便性がよいこと	余暇を楽しめるお店や施設が身近にあること	近所とのつながりがあること	友人・知人が身近にいること	家族・親戚が身近にいること	その他
全体	550	48.9	18.7	26.5	43.3	53.3	76.4	71.5	63.5	63.1	37.8	48.7	37.3	32.5	3.1
青柳町	93	43.0	21.5	33.3	46.2	63.4	80.6	77.4	73.1	61.3	38.7	43.0	35.5	34.4	5.4
入舟町	31	58.1	22.6	29.0	45.2	58.1	90.3	67.7	54.8	71.0	38.7	54.8	35.5	29.0	3.2
住吉町	27	55.6	11.1	25.9	29.6	55.6	66.7	59.3	55.6	55.6	25.9	51.9	29.6	25.9	0.0
末広町	35	54.3	11.4	28.6	37.1	45.7	57.1	62.9	62.9	51.4	37.1	57.1	42.9	22.9	2.9
大町	25	36.0	16.0	28.0	36.0	36.0	84.0	76.0	72.0	60.0	36.0	52.0	36.0	20.0	0.0
宝来町	61	67.2	13.1	23.0	44.3	45.9	68.9	77.0	63.9	67.2	32.8	59.0	50.8	44.3	4.9
谷地頭町	55	50.9	21.8	25.5	43.6	63.6	89.1	72.7	63.6	67.3	34.5	61.8	23.6	40.0	1.8
船見町	38	36.8	28.9	18.4	50.0	39.5	89.5	63.2	52.6	76.3	42.1	44.7	36.8	36.8	5.3
弁天町	42	50.0	19.0	16.7	40.5	66.7	69.0	73.8	61.9	57.1	31.0	31.0	42.9	16.7	2.4
元町	41	56.1	14.6	22.0	46.3	43.9	80.5	68.3	53.7	61.0	51.2	46.3	43.9	31.7	7.3
豊川町	38	36.8	26.3	36.8	52.6	57.9	71.1	76.3	76.3	65.8	47.4	47.4	44.7	31.6	0.0
弥生町	55	45.5	16.4	27.3	36.4	47.3	70.9	69.1	58.2	60.0	40.0	43.6	27.3	36.4	0.0

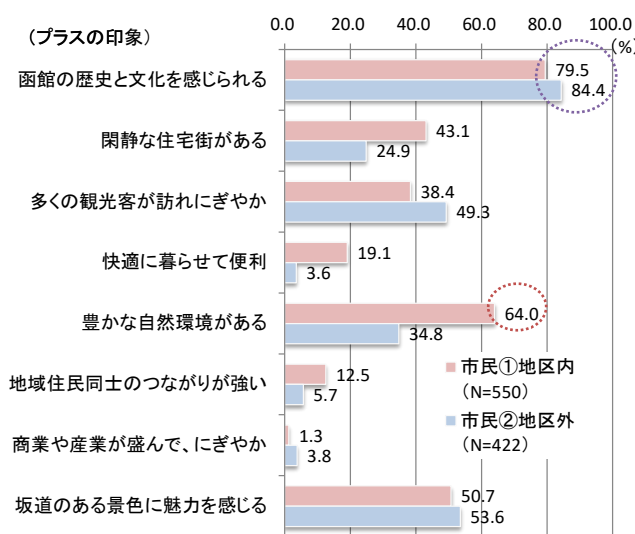
※ ■全体平均+10pt 以上 ■全体平均+5p 以上 ■全体平均-5p 以下 ■全体平均-10pt 以下

2 対象地区に対する評価

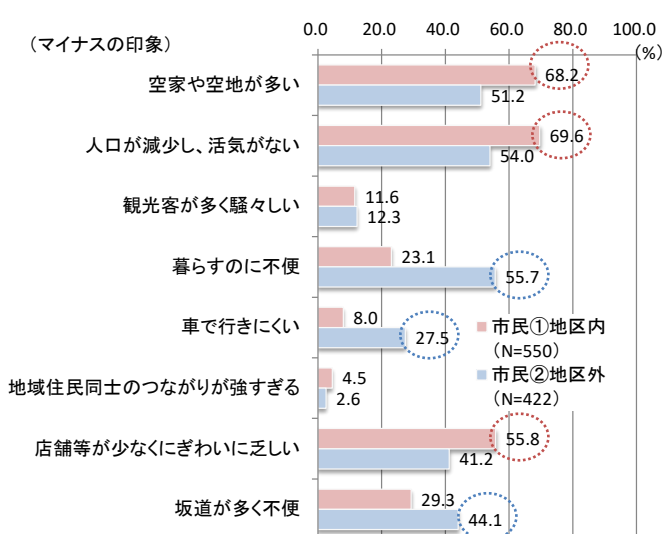
Q6 あなたは、この地区にどのような印象をお持ちですか。(MA)

プラスの印象としては、地区内・地区外とも「函館の歴史と文化を感じられる」の回答率が8割前後と高い。「豊かな自然がある」の回答率は地区内で6割と高く、地区外と約30ポイントの差がみられる。

マイナスの印象としては、地区内では「空家や空地が多い」「人口が減少し、活気がない」「店舗等が少なくにぎわいに乏しい」、地区外では「暮らすのに不便」「車で行きにくい」「坂道が不便」の回答率が高く、10ポイント以上の差がみられた。



対象地区のプラスの印象



対象地区のマイナスの印象

〈市民①地区内 町別〉

回答率は「閑静な住宅街がある」では青柳町・弥生町で5割と他に比べ高い。一方、「空家や空地が多い」では入舟町、弁天町、大町で高く8割を超えている。

「快適に暮らせて便利」では末広町、宝来町で3割程度と他に比べ高い。一方、「暮らすのに不便」では船見町で約5割、青柳町・入舟町で約3割と他に比べ高くなっている。

「坂道のある景色に魅力を感じる」では豊川町、大町、弁天町、弥生町で高く6割を超えている。一方、「坂道が多く不便」では船見町、元町、青柳町で高く4割を超えている。

対象地区のプラスの印象（町別）

		函館の歴史と文化を感じられる	閑静な住宅街がある	多くの観光客が訪れにぎやか	快適に暮らせて便利	豊かな自然環境がある	地域住民同士のつながりが強い	商業や産業が盛んで、にぎやか	坂道のある景色に魅力を感じる
全体	550	79.5	43.1	38.4	19.1	64.0	12.5	1.3	50.7
青柳町	93	82.8	57.0	33.3	11.8	78.5	8.6	0.0	46.2
入舟町	31	74.2	45.2	25.8	16.1	58.1	22.6	0.0	38.7
住吉町	27	66.7	33.3	18.5	7.4	81.5	29.6	0.0	18.5
末広町	35	74.3	25.7	65.7	34.3	48.6	14.3	8.6	60.0
大町	25	88.0	36.0	52.0	28.0	60.0	4.0	0.0	68.0
宝来町	61	85.2	36.1	32.8	32.8	63.9	13.1	0.0	52.5
谷地頭町	55	72.7	47.3	32.7	16.4	72.7	16.4	0.0	41.8
船見町	38	78.9	42.1	28.9	5.3	68.4	2.6	0.0	36.8
弁天町	42	76.2	40.5	31.0	28.6	50.0	7.1	4.8	61.9
元町	41	92.7	43.9	46.3	19.5	65.9	17.1	0.0	56.1
豊川町	38	86.8	26.3	68.4	28.9	52.6	5.3	0.0	68.4
弥生町	55	74.5	56.4	38.2	9.1	52.7	16.4	1.8	61.8

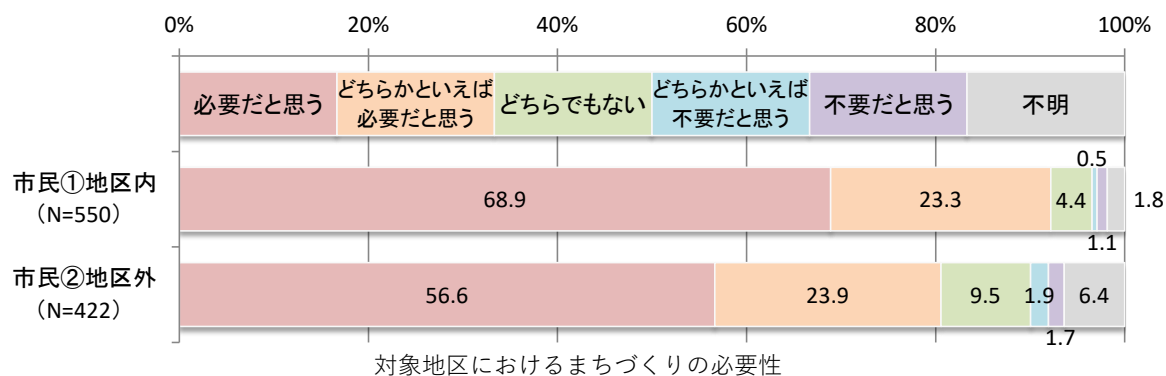
対象地区のマイナスの印象（町別）

		空家や空地が多い	人口が減少し、活気がない	観光客が多く騒々しい	暮らすのに不便	車で行きにくい	地域住民同士のつながりが強すぎる	店舗等が少なくにぎわいに乏しい	坂道が多く不便
全体	550	68.2	69.6	11.6	23.1	8.0	4.5	55.8	29.3
青柳町	93	64.5	69.9	11.8	33.3	9.7	4.3	57.0	40.9
入舟町	31	83.9	74.2	0.0	35.5	3.2	9.7	71.0	12.9
住吉町	27	51.9	66.7	11.1	14.8	7.4	3.7	59.3	25.9
末広町	35	57.1	62.9	11.4	11.4	14.3	0.0	37.1	25.7
大町	25	88.0	68.0	20.0	8.0	8.0	0.0	52.0	12.0
宝来町	61	57.4	72.1	9.8	14.8	4.9	3.3	47.5	16.4
谷地頭町	55	65.5	61.8	5.5	18.2	5.5	3.6	54.5	25.5
船見町	38	73.7	73.7	10.5	47.4	7.9	2.6	76.3	57.9
弁天町	42	88.1	78.6	16.7	11.9	11.9	16.7	66.7	19.0
元町	41	70.7	56.1	22.0	14.6	7.3	0.0	34.1	51.2
豊川町	38	63.2	73.7	15.8	21.1	13.2	0.0	57.9	23.7
弥生町	55	69.1	76.4	7.3	29.1	5.5	9.1	63.6	25.5

※ ■ 全体平均+10pt 以上 ■ 全体平均+5p 以上 ■ 全体平均-5p 以下 ■ 全体平均-10pt 以下

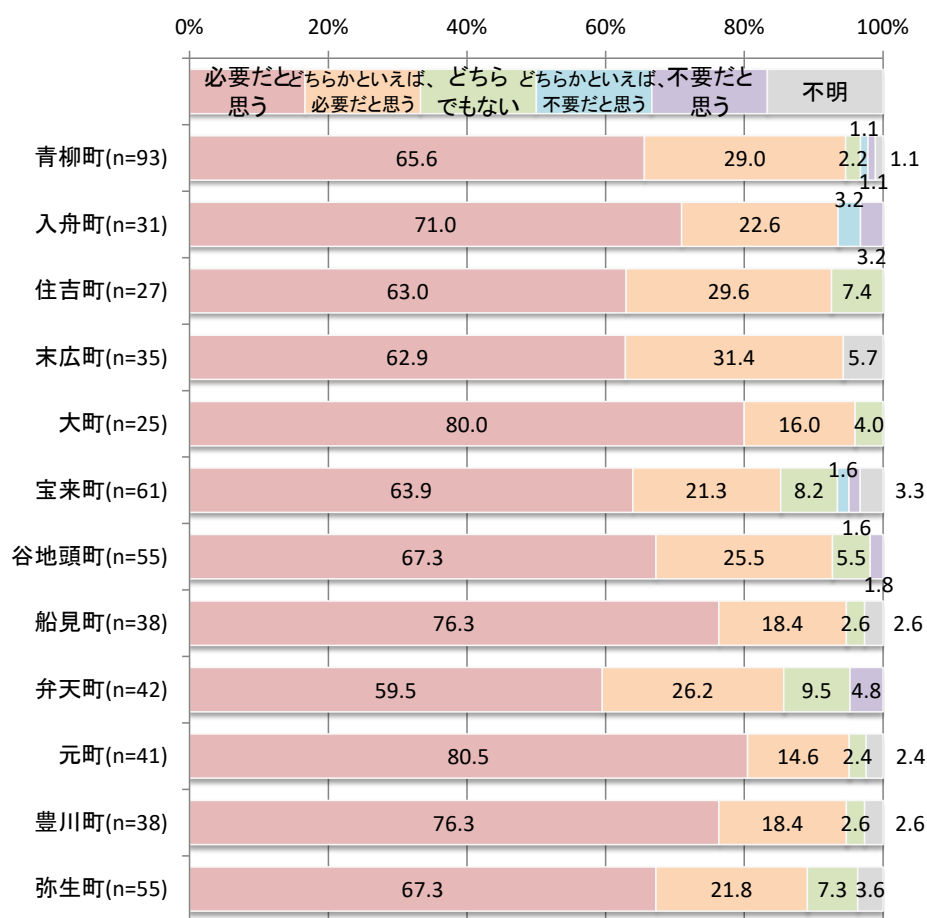
Q7 この地区の課題を解決し、より魅力あるまちづくりを進めることは、函館市のまちづくりにとって必要だと思われますか。(SA)

「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」を合わせた割合は、地区内では約 9 割、地区外でも約 8 割と、高くなっている。



〈市民①地区内 町別〉

「必要だと思う」の割合が最も高いのは元町の 80.5%、次いで大町 (80.0%) となっている。逆に最も低いのは弁天町で 59.5%、次いで末広町、住吉町、となっている。

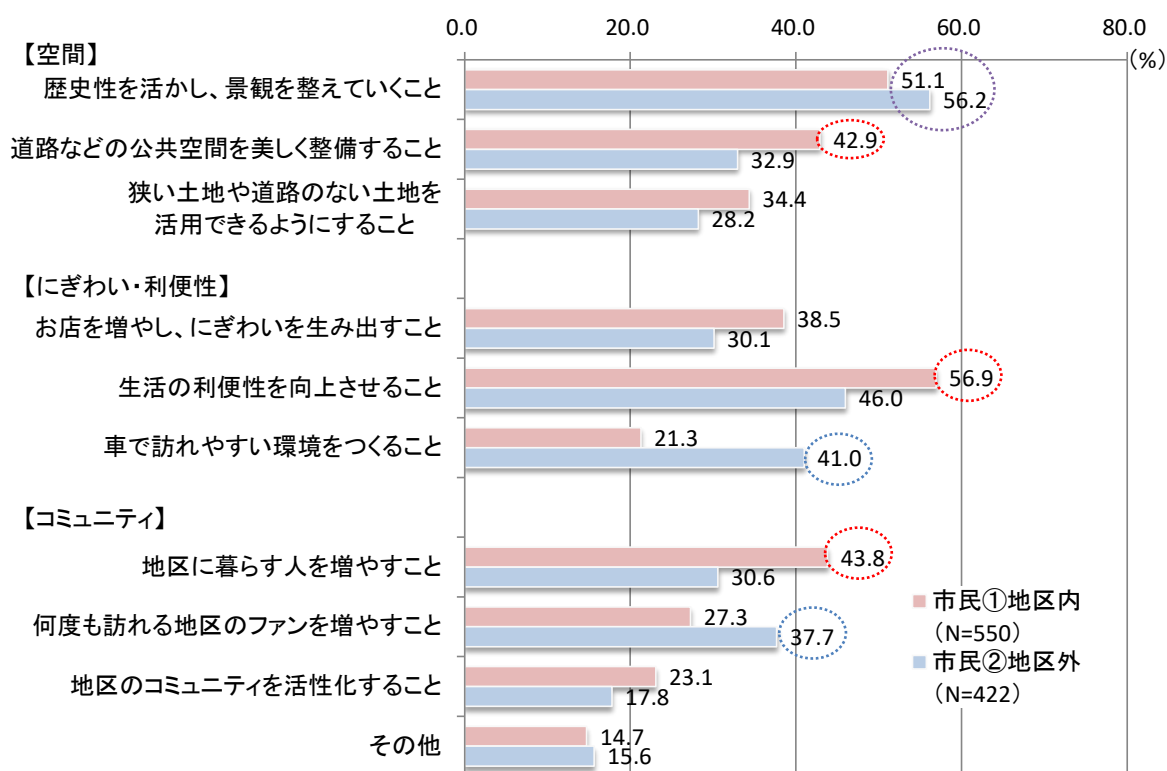


対象地区におけるまちづくりの必要性 (地区内、町別)

Q8 あなたは、この地区において、どのようなまちづくりを進めることが必要だと思いますか。(MA)

地区内・地区外とも「歴史性を活かし、景観を整えていくこと」、地区内では「生活の利便性を向上させること」の回答率が高く過半数を超えている。

また、地区内では「道路などの公共空間を美しく整備すること」「生活の利便性を向上させること」「地区に人を増やすこと」、地区外では「車で訪れやすい環境を整えること」「地区のファンを増やすこと」の回答率が一方に比べ高く、10ポイント以上の差がみられた。



必要だと思うまちづくりの内容

〈市民①地区内 年代別〉

「お店を増やし、にぎわいを生み出すこと」、「何度も訪れる地区のファンを増やすこと」では、年代が下がるほど回答率が高くなる傾向がみられる。

また、40・50 歳代では「狭い土地や道路のない土地を活用できること」の回答率が他の世代に比べ高い。

必要だと思うまちづくりの内容（地区内、年代別）

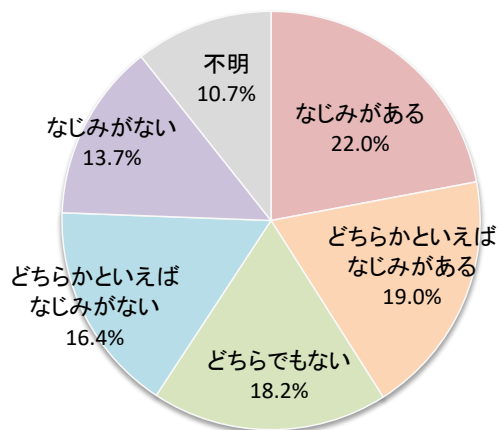
		歴史性を活かし、景観を整えていくこと	道路などの公共空間を美しく整備すること	狭い土地や道路のない土地を活用できるようにすること	お店を増やし、にぎわいを生み出すこと	生活の利便性を向上させること	車で訪れやすい環境をつくること	地区に暮らす人を増やすこと	何度も訪れる地区のファンを増やすこと	地区のコミュニティを活性化すること	その他
全体	550	51.1	42.9	34.4	38.5	56.9	21.3	43.8	27.3	23.1	14.7
20 歳代	26	65.4	50.0	26.9	61.5	53.8	30.8	30.8	42.3	30.8	23.1
30 歳代	47	53.2	36.2	27.7	51.1	63.8	23.4	51.1	40.4	25.5	17.0
40 歳代	91	51.6	44.0	45.1	45.1	61.5	28.6	45.1	31.9	25.3	13.2
50 歳代	83	48.2	39.8	53.0	34.9	59.0	25.3	42.2	36.1	18.1	22.9
60 歳代	146	47.3	49.3	31.5	35.6	55.5	17.1	43.8	19.9	24.7	9.6
70 歳代	155	53.5	38.7	24.5	31.6	53.5	16.8	43.9	20.6	20.6	13.5

※ ■全体平均+10pt 以上 ■全体平均+5p 以上 ■全体平均-5p 以下 ■全体平均-10pt 以下

3 対象地区との関わり（※市民②地区外のみへの設問）

Q9 あなたは、この地区になじみがありますか。（SA）

「なじみがある」「どちらかといえば、なじみがある」を合わせた割合は約 4 割、「なじみがない」「どちらかといえば、なじみがない」を合わせた割合は約 3 割となった。

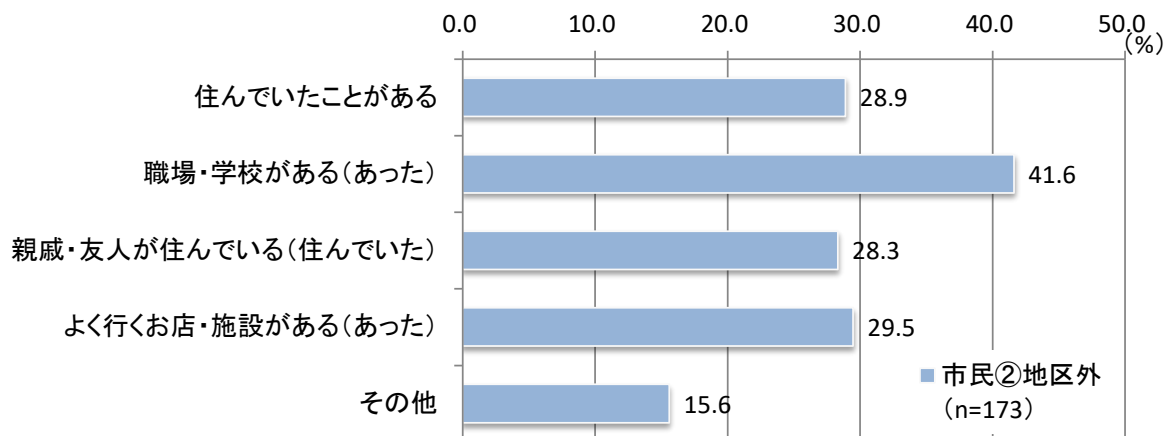


対象地区とのなじみ（N=422）

（Q9 で「なじみがある」「どちらかといえば、なじみがある」を選択した回答者のみ）

Q9-1 なじみがある理由（MA）

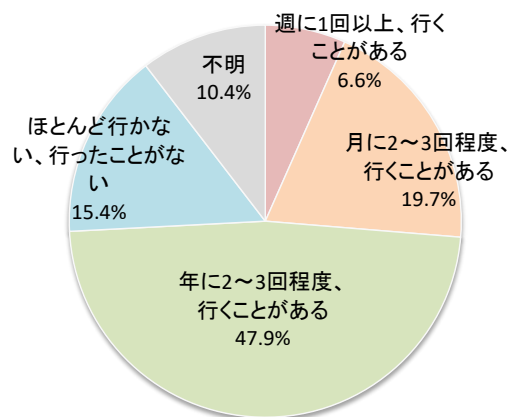
「職場・学校がある（あった）」の回答率が約 4 割と高くなっている。



対象地区とのなじみがある理由

Q10 あなたは、この地区に行くことがありますか。(SA)

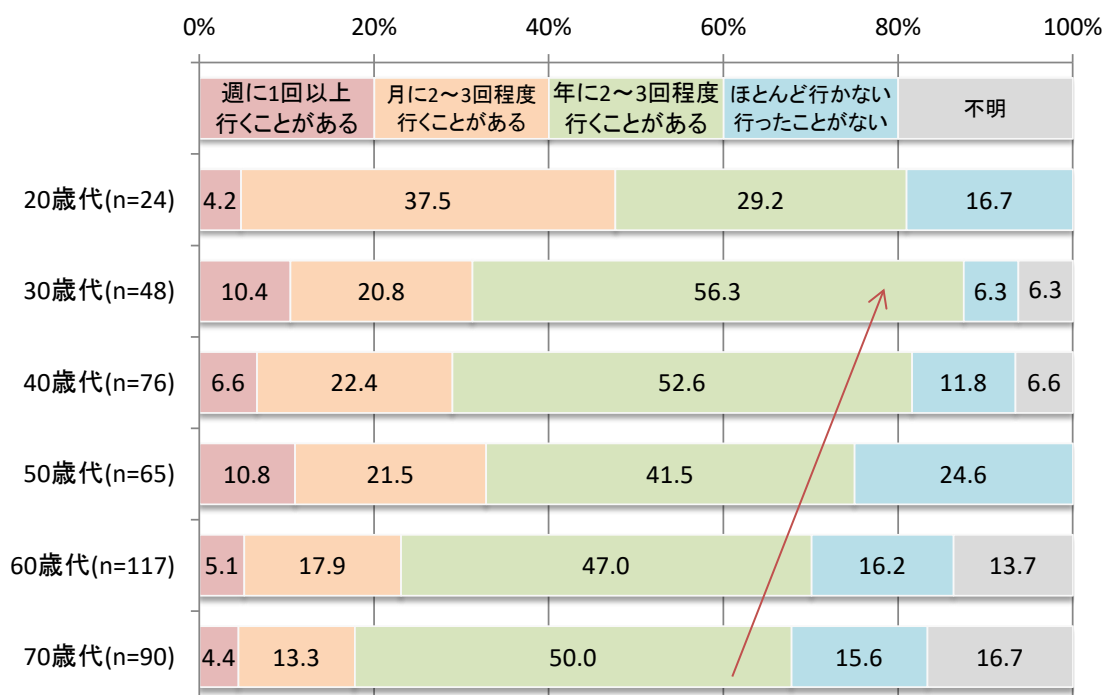
「年に2～3回程度、行くことがある」の回答率が約5割と高くなっている。



対象地区へ行く頻度 (N=422)

〈市民②地区外 年代別〉

30歳代以上では、年代が下がるほど対象地区を訪れる頻度は高くなる傾向がみられた。

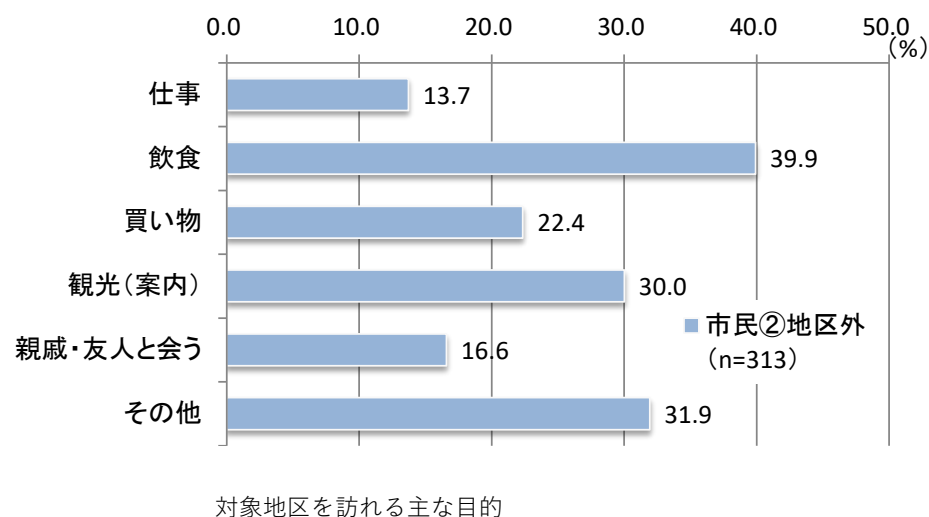


対象地区へ行く頻度 (地区外、年代別)

(Q10で「週に1回以上、行くことがある」「月に2～3回程度、行くことがある」
「年に2～3回程度、行くことがある」を選択した回答者のみ)

Q10-1 行く主な理由 (MA)

「飲食」の回答率が最も高く、次いで「観光(案内)」「買い物」の順となっている。



〈市民②地区外 年代別〉

20歳代では「飲食」「買い物」が、70歳代では「観光(案内)」の回答率が他に比べ高い。

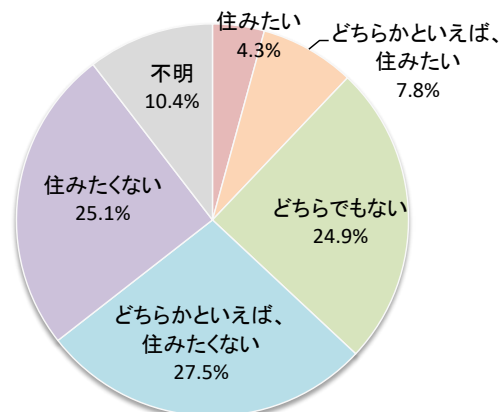
対象地区を訪れる主な目的 (地区外、年代別)

	n	仕事	飲食	買い物	観光 (案内)	親戚・ 友人と会う	その他
全体	313	13.7	39.9	22.4	30.0	16.6	31.9
20歳代	17	5.9	64.7	52.9	23.5	5.9	0.0
30歳代	42	19.0	38.1	26.2	21.4	9.5	31.0
40歳代	62	19.4	41.9	25.8	19.4	16.1	38.7
50歳代	48	14.6	37.5	20.8	29.2	22.9	31.3
60歳代	82	15.9	34.1	15.9	30.5	20.7	31.7
70歳代	61	3.3	42.6	18.0	49.2	14.8	34.4

※ ■ 全体平均+10pt 以上 ■ 全体平均+5p 以上 ■ 全体平均-5p 以下 ■ 全体平均-10pt 以下

Q11 あなたは、この地区に住みたいですか。(SA)

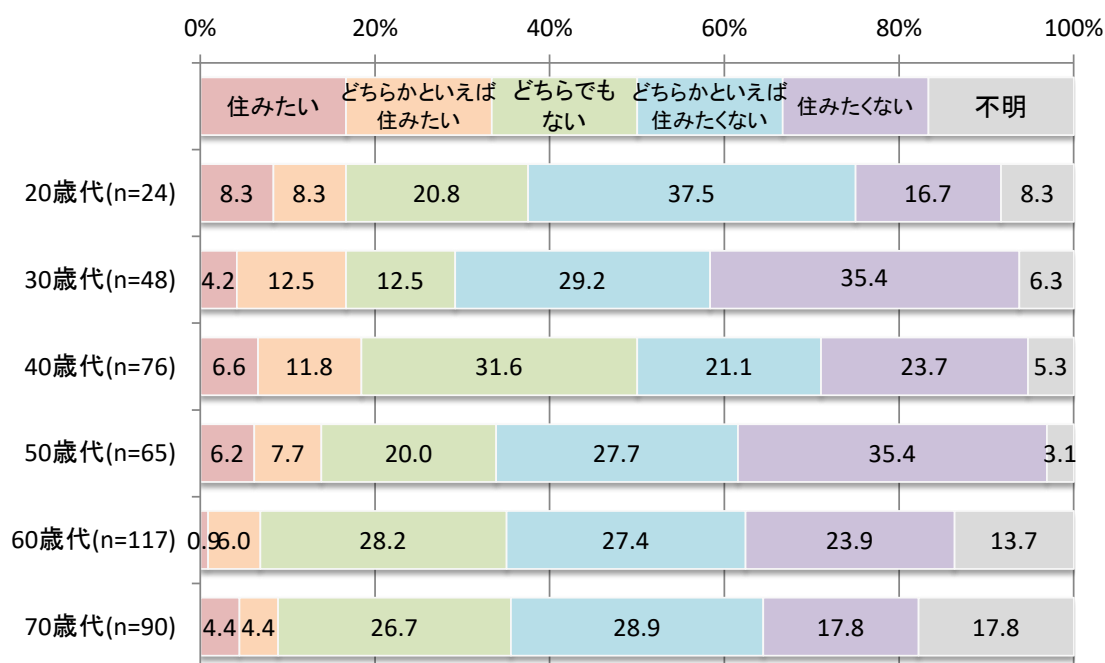
「住みたい」「どちらかといえば住みたい」の回答率は合わせて約1割、「住みたくない」「どちらかといえば住みたくない」の回答率は合わせて約半数となっている。



対象地区での居留意向 (N=422)

〈市民②地区外 年代別〉

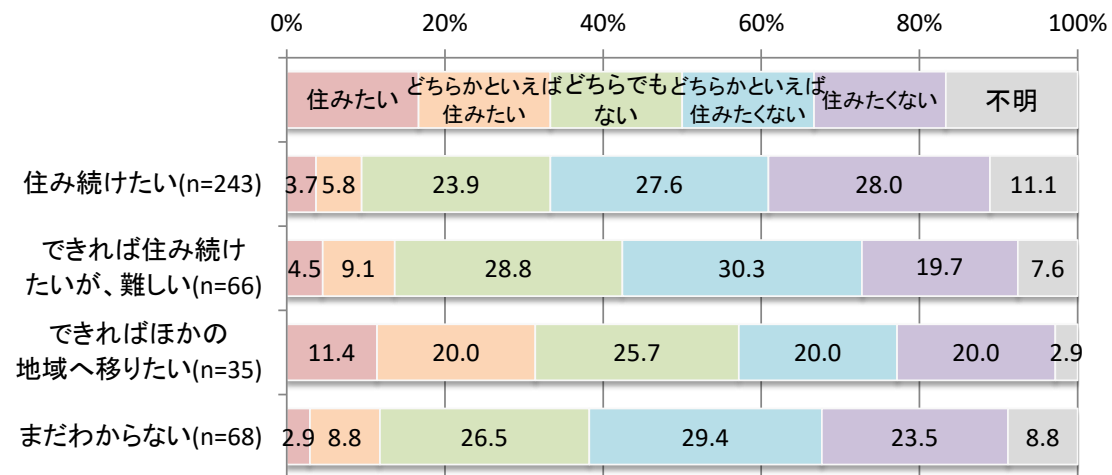
「住みたい」「どちらかといえば、住みたい」を合わせた割合は、20～40歳代では2割程度と、他の世代に比べ高くなっている。



対象地区での居留意向 (地区外、年代別)

〈市民②地区外 Q4 現在の居住地での居住意向別〉

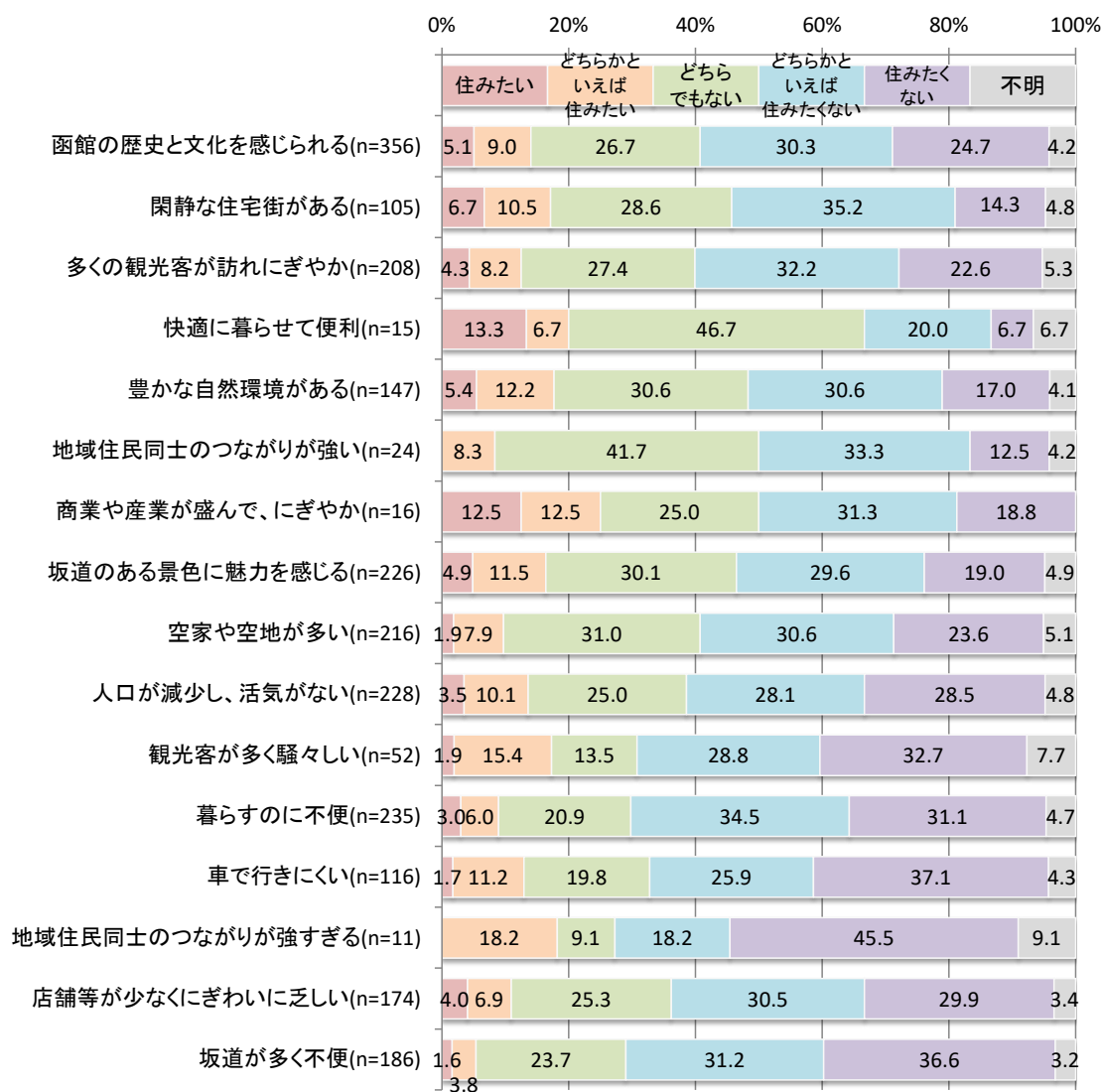
できればほかの地域へ移りたいと考えている人では、「住みたい」が11.4%、「どちらかといえば、住みたい」が20.0%と、他に比べ高くなっている。



対象地区での居住意向（地区外、現在の居住地での居住意向別）

〈市民②地区外 Q6 対象地区の印象別〉

「住みたい」「どちらかといえば、住みたい」を合わせた割合は、対象地区の印象として“快適に暮らせて便利”、“商業や参照が盛んでにぎやか”を選択した人で高く、2割以上を占めている。

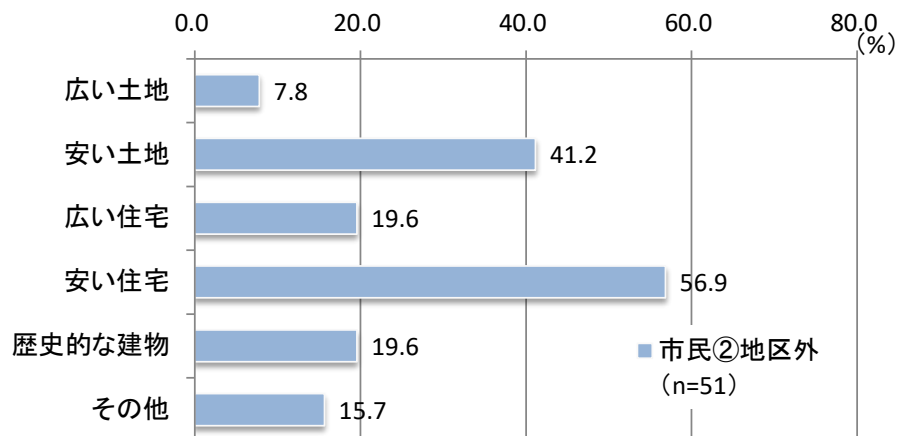


対象地区での居留意向（地区外、対象地区の印象別）

(Q11で「住みたい」「どちらかといえば、住みたい」を選択した回答者のみ)

Q11-1 どのような物件があれば、具体的に住み替えを検討したいと思いますか。(MA)

「安い住宅」の回答率が最も高く、次いで「安い土地」となっている。

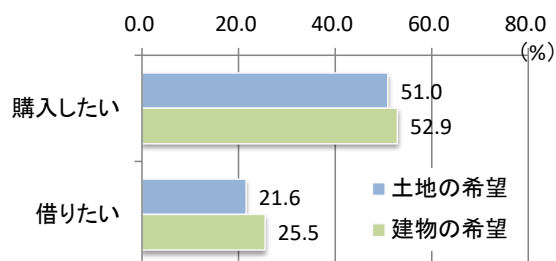


具体的な住み替えの検討要因 (地区外)

(Q11で「住みたい」「どちらかといえば、住みたい」を選択した回答者のみ)

Q11-2、3 どのような所有形態が望ましいとお考えですか。

土地・建物とも「購入したい」の回答率が約5割となっている。

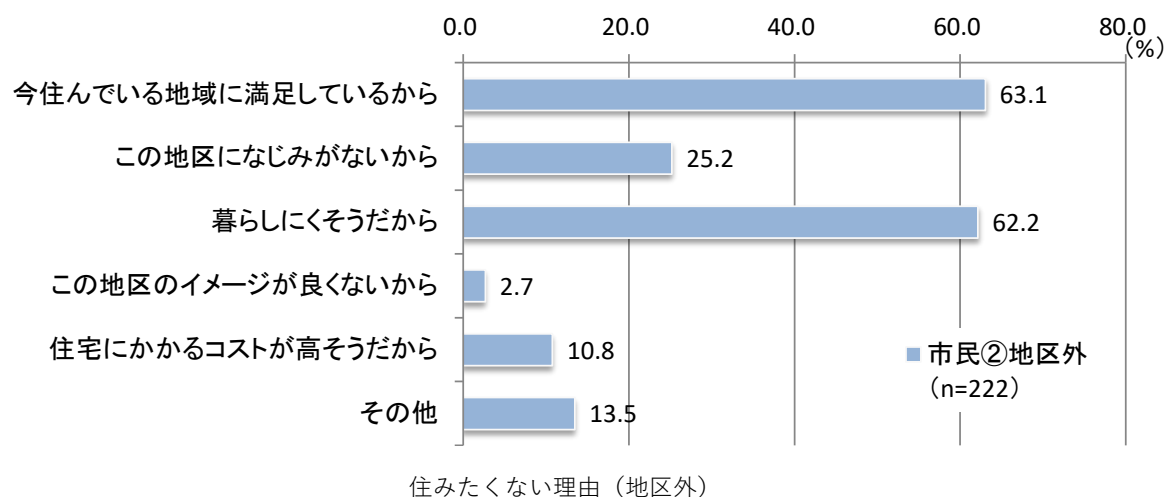


具体的な住み替えの土地・建物の希望 (地区外)

(Q11で「住みたくない」「どちらかといえば、住みたくない」を選択した回答者のみ)

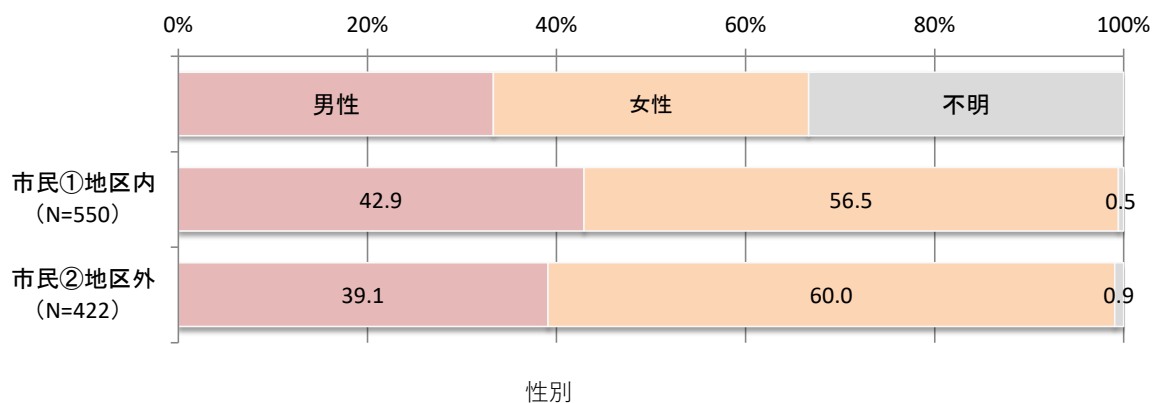
Q11-4 住みたくない理由

「今住んでいる地域に満足しているから」「暮らしにくそうだから」の回答率が6割以上と高くなっている。

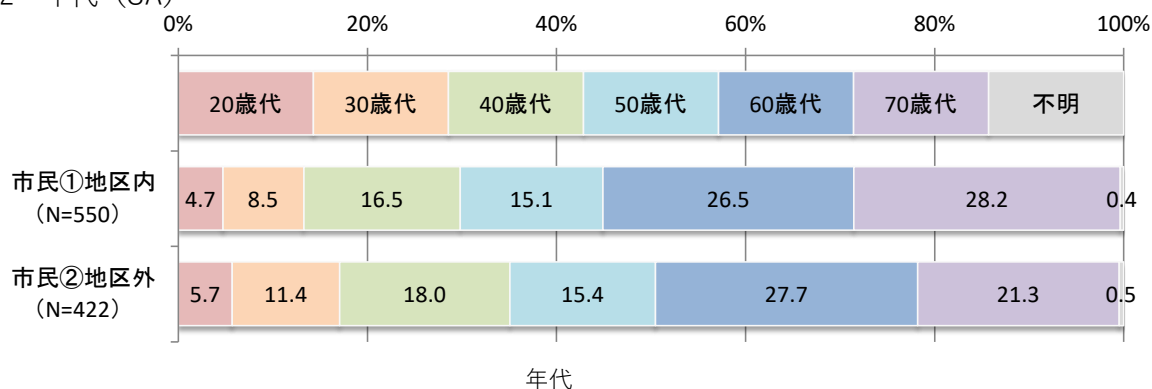


5 回答者の属性

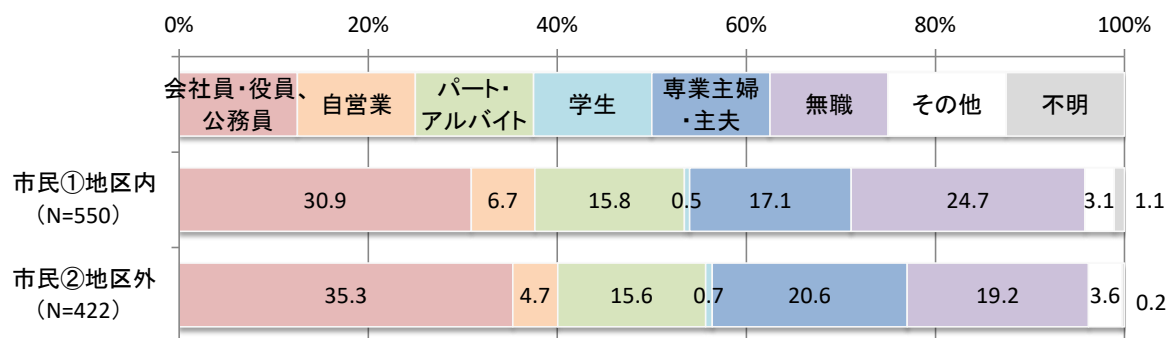
F1 性別 (SA)



F2 年代 (SA)

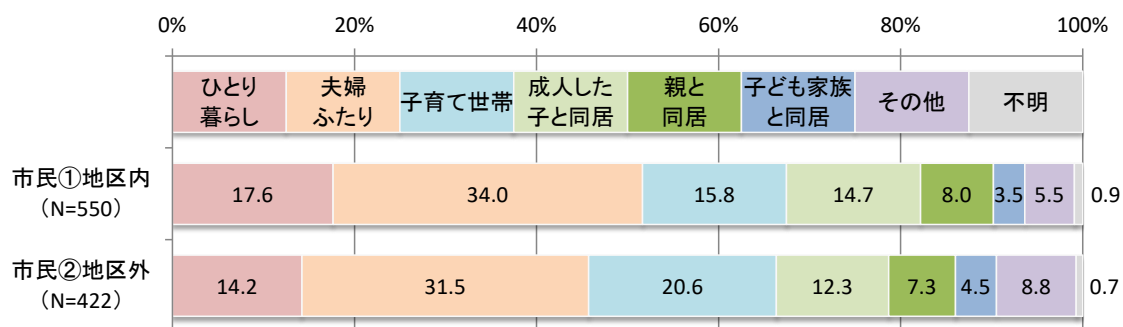


F3 職業 (SA)



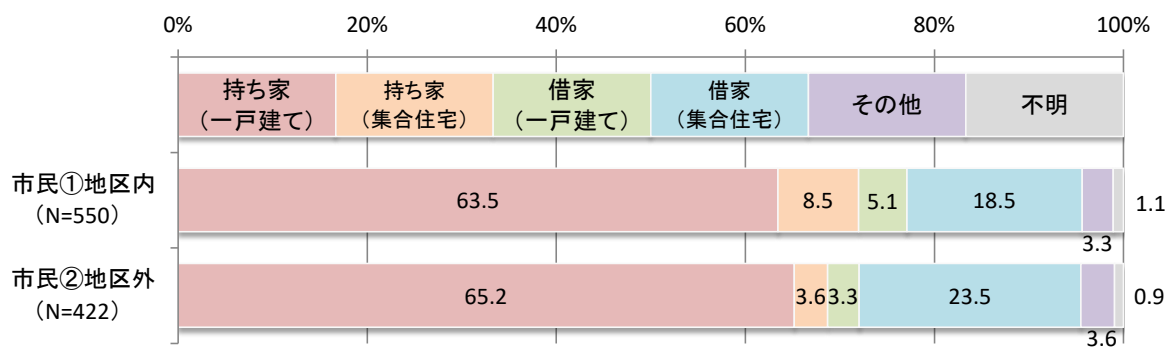
職業

F4 同居家族 (MA 加工)



同居家族

F5 居住形態 (SA)



居住形態

F6 住所（FA 加工）

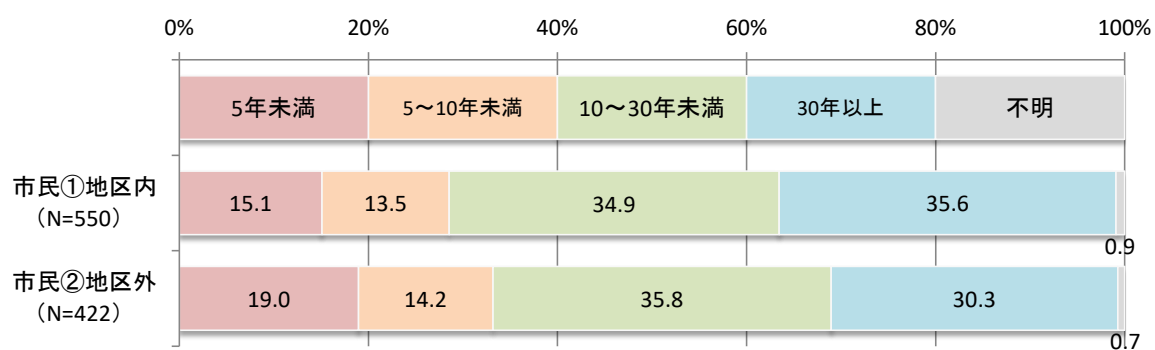
（地区内）

	青柳町	入舟町	住吉町	末広町	大町	宝来町	谷地頭町	船見町	弁天町	元町	豊川町	弥生町	不明
件数	93	31	27	35	25	61	55	38	42	41	38	55	9
%	16.9	5.6	4.9	6.4	4.5	11.1	10.0	6.9	7.6	7.5	6.9	10.0	1.6

（地区外）

	西部地区 (対象地区外)	中部地区	東中央地区	北東部地区	北部地区	不明
件数	8	89	110	154	52	9
%	1.9	21.1	26.1	36.5	12.3	2.1

F7 居住年数（SA）



（自由記述）

自由記述欄への記入は、下表の通り市民①地区内では 44.5%、市民②地区外では 31.2% の回答があった。

次頁表に示す通り、最も記載が多かったのは「魅力ある居住環境の創出、定住人口増」に関するもので 56 件、次いで「除排雪、ロードヒーティングの要望（54 件）」に関するもの、「資源の有効活用（54 件）」に関するもの、「生活が不便（49 件）」に関するものなどの順となった。

	自由記述回答数	総回収数	自由記述回答率
市民調査①地区内	245	550	44.5%
市民調査②地区外	138	442	31.2%

自由記述の概要

		市民 1 (地区内)	市民 2 (地区外)	合計
	自由記述回答数	245	138	383
魅力	歴史と文化を感じる町並み・坂のある景観	10	3	13
	海と山に囲まれた豊かな自然	6	3	9
	豊富な観光資源、町歩きの魅力	3	1	4
	暮らしやすさ	7	0	7
	その他の魅力	4	0	4
課題	空地・空家が多い	34	4	38
	人が少ない	17	1	18
	生活が不便	38	11	49
	除排雪、ロードヒーティングの要望	51	3	54
	坂道が不便、道路が悪い	19	9	28
	駐車場の不足・要望	13	17	30
	活気がない、働く場がない	7	13	20
	外国人観光客のマナー向上、	10	1	11
	住民等のまちづくりに対する意識	9	0	9
	その他の課題	16	3	19
アイデア・ニーズ	町並み保全・美観	28	17	45
	資源の有効活用	44	10	54
	魅力ある居住環境の創出、定住人口増	41	15	56
	暮らしを支える空間・サービスの創出			
	買い物・飲食	19	10	29
	交通（循環バスなど）	10	6	16
	医療・福祉	5	2	7
	子育て環境	6	6	12
	ベンチなど休憩スペース	4	3	7
	その他の空間・サービス	14	7	21
	コミュニティの強化	2	0	2
	まちの活力創出	12	8	20
	人を惹きつける新しい魅力づくり	25	14	39
	まちの魅力発信	12	1	13
	その他	3	11	14

函館西部地区のまちづくりに関するアンケート調査 ご協力をお願い

平成30年8月

函館市都市建設部 まちづくり景観課

拝 啓

残夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より函館市の景観行政に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、函館市では西部地区再整備事業基本方針案作成に向けた検討を行うことといたしました。

当地区は、歴史的な街並みや美しい景観、多彩な観光施設があり、多くの観光客が訪れる函館市を象徴するエリアのひとつです。一方で、人口減少や高齢化により地域の活力が低下し、空家・空地が増加するなどの問題も起こっており、生活しやすい居住環境を整えるとともに、景観に配慮したまちづくりを進めていくことが課題となっています。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、市民の皆さまからのご意見を反映させたまちづくりを進めるため、アンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。

なお、本調査の実施につきましては、下記の業者へ委託しております。ご不明な点等ございましたら、下記までお問合せください。

敬 具

＊ ＊ このアンケート調査について ＊ ＊

- この調査票は、函館市にお住まいの20歳以上の方から3,000人を対象に無作為抽出して配布しています。
- 調査票の宛名のご本人様をご記入ください。
- ご回答は、あてはまる番号に○をつけるか、具体的な内容をご記入ください。
- 調査票へのご回答は統計的に処理し、個人が特定される形で公表することは一切ございません。
- ご記入後は、お手数ですが同封の封筒(切手不要)に入れ、

9月6日(木)までに ご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

(函館市) 都市建設部 まちづくり景観課 担当: 上田、林、石田

TEL 0138-21-3357

(問い合わせ先・業務受託者)

株式会社ノーザンクロス 担当: 常本、近藤、伊藤

TEL 011-232-3661 / FAX 011-232-4918

〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目3-1 第36 桂和ビル 7階

●あなたご自身についておうかがいします。

あてはまるもの1つ選んで○をつけてください。F4 については、あてはまるもの全てに○を、F6 については、現在お住まいの町名をご記入ください。

F1 性別 1. 男性 2. 女性

F2 年代 1. 20 歳代 2. 30 歳代 3. 40 歳代
4. 50 歳代 5. 60 歳代 6. 70 歳代

F3 職業 1. 会社員・役員、公務員 2. 自営業 3. パート・アルバイト
4. 学生 5. 専業主婦・主夫 6. 無職
7. その他()

F4 同居家族 (同居している人を全て選んで○)
1. いない(一人暮らし) 2. 配偶者 3. 自分の子ども(未成年)
4. 自分の子ども(成人・単身) 5. 自分の子どもとその家族
6. 自分または配偶者の親 7. その他()

F5 居住形態 1. 持ち家(一戸建て) 2. 持ち家(集合住宅) 3. 借家(一戸建て)
4. 借家(集合住宅) 5. その他()

F6 ご住所 函館市 町又は丁目

F7 現在お住まいの町内での居住年数
1. 5 年未満 2. 5～10 年未満 3. 10～30 年未満 4. 30 年以上

●お住まい周辺の身近な地域についておうかがいします。

※この調査では、日常的に歩いて過ごせる範囲を『お住まい周辺の身近な地域』として
お考え下さい※

Q1 あなたは、お住まい周辺の身近な地域を暮らしやすい地域だと思いますか。
(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 暮らしやすい
2. どちらかといえば、暮らしやすい
3. どちらでもない
4. どちらかといえば、暮らしにくい
5. 暮らしにくい

Q2 お住まい周辺の身近な地域は、各項目について魅力があると思いますか。

(5段階評価であてはまる番号を1つ選んで○)

	項 目	身近な地域の魅力					なわ い か ら
		高い ← → 低い					
自然・景観	Q2-1 自然やみどりが身近にある	5	4	3	2	1	0
	Q2-2 清潔できれいに維持されている	5	4	3	2	1	0
	Q2-3 美しい街並みや景観がある	5	4	3	2	1	0
利便性	Q2-4 公共交通での移動がしやすい	5	4	3	2	1	0
	Q2-5 日常的な買い物がしやすい	5	4	3	2	1	0
	Q2-6 医療・福祉サービスを受けやすい	5	4	3	2	1	0
安全・安心	Q2-7 歩道が歩きやすい	5	4	3	2	1	0
	Q2-8 子どもを育てやすい	5	4	3	2	1	0
	Q2-9 近くに学校がある	5	4	3	2	1	0
	Q2-10 高齢者が暮らしやすい	5	4	3	2	1	0
地域交流	Q2-11 地域住民の人柄が良い	5	4	3	2	1	0
	Q2-12 地域住民の交流が多い	5	4	3	2	1	0
	Q2-13 地域の祭りやイベントがある	5	4	3	2	1	0
快適性	Q2-14 にぎやかで活気がある	5	4	3	2	1	0
	Q2-15 静かで落ち着いた環境がある	5	4	3	2	1	0
	Q2-16 住まいにかかるコストが安い	5	4	3	2	1	0

Q3 あなたは、お住まい周辺の身近な地域に愛着を感じていますか。

(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 愛着を感じている
2. どちらかといえば、愛着を感じている
3. どちらでもない
4. どちらかといえば、愛着を感じていない
5. 愛着を感じていない

Q4 あなたは、お住まい周辺の身近な地域に、これからも住み続けたいと思いますか。
(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 住み続けたい 2. できれば住み続けたいが、難しい 3. できればほかの地域へ移りたい 4. まだわからない	(「2」「3」を選んだ方のみ) Q4-1 いまお住まいの<u>地域</u>に住み続けられない、又はほかの地域へ移りたいと思う理由は何ですか。 1. 希望に合う住宅や施設が地域にないから 2. 家が古く、住みづらいから 3. 坂道が多く、住みづらいから 4. 地域に愛着がないから 5. 自然やみどりが少ないから 6. 生活利便性が良くないから 7. 学校が近くにないから 8. 高齢になった時の生活が不安だから 9. 身近に頼れる人がいないから 10. 仕事の都合があるから 11. 介護など家族の都合があるから 12. その他()
--	--

Q5 高齢になっても住み慣れた地域に住み続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

(住まい)	1. 住宅を住みやすくリフォーム(改築・修繕)すること 2. 住みやすい住宅へ移ること 3. 高齢者向けの住宅・施設へ移ること
(サービス)	4. 外出サービスを気軽に受けられること(福祉タクシー、送迎など) 5. 買い物サービスを気軽に受けられること(宅配、買い物代行など) 6. 除排雪サービスを気軽に受けられること
(施設等)	7. 日常の買い物をできるお店が身近にあること 8. 病院や福祉施設が身近にあること 9. 公共交通の利便性がよいこと 10. 余暇を楽しめるお店や施設が身近にあること
(その他)	11. 近所とのつながりがあること 12. 友人・知人が身近にいること 13. 家族・親せきが身近にいること 14. その他()

※ここからは、下の図に示す地区（入船町、船見町、弥生町、弁天町、大町、末広町、元町、青柳町、谷地頭町、住吉町、宝来町、豊川町）についておうかがいします。



Q6 あなたは、この地区にどのような印象をお持ちですか。（あてはまるもの全てに○）

（プラスの印象）	（マイナスの印象）
1. 函館の歴史と文化を感じられる	9. 空家や空地が多い
2. 閑静な住宅街がある	10. 人口が減少し、活気がない
3. 多くの観光客が訪れにぎやか	11. 観光客が多く騒々しい
4. 快適に暮らせて便利	12. 暮らすのに不便
5. 豊かな自然環境がある	13. 車で行きにくい
6. 地域住民同士のつながりが強い	14. 地域住民同士のつながりが強すぎる
7. 商業や産業が盛んで、にぎやか	15. 店舗等が少なくにぎわいに乏しい
8. 坂道のある景色に魅力を感じる	16. 坂道が多く不便
17. その他（	）

Q7 この地区の課題を解決し、より魅力あるまちづくりを進めることは、函館市のまちづくりにとって必要だと思われますか。（あてはまるものを1つ選んで○）

1. 必要だと思う
2. どちらかといえば、必要だと思う
3. どちらでもない
4. どちらかといえば、不要だと思う
5. 不要だと思う

Q8 あなたは、この地区において、どのようなまちづくりを進めることが必要だと思いますか。 (あてはまるもの全てに○)

(空間)	1. 歴史性を活かし、景観を整えていくこと
	2. 道路などの公共空間を美しく整備すること
	3. 狭い土地や道路のない土地を活用できるようにすること
(にぎわい	4. お店を増やし、にぎわいを生み出すこと
・利便性)	5. 生活の利便性を向上させること
	6. 車で訪れやすい環境をつくること
(コミュニティ)	7. 地区に暮らす人を増やすこと
	8. 何度も訪れる地区のファンを増やすこと
	9. 地区のコミュニティを活性化すること
	10. その他(まちづくりのアイデアをご自由にお書きください。)
	[]

Q9 自由記述(西部地区のまちづくりについて、ご自由にご意見をお書きください)

--

「西部地区リデザイン-サロン(仮)」のご案内

- ・函館市では、西部地区の今後のまちづくりを市民の皆さまとともに考える「西部地区リデザイン-サロン(仮)」を今秋から来春までに3回ほど開催する予定です。
- ・参加をご希望される方は以下の必要事項にご記入下さい。日程が決まり次第、個別にご案内させていただきます。
- ・なお、会場の広さに限りがあるため、応募多数の場合は抽選のうえご案内させていただきます。申し訳ありませんが、あらかじめご了承ください。

—————参加を希望される方は、以下をご記入ください—————

お名前()／性別(男性・女性) ／年齢()歳

ご住所(〒 -)
函館市)／

お電話番号() ／FAX番号()／

E-mailアドレス(@)

函館西部地区のまちづくりに関するアンケート調査 ご協力をお願い

平成30年8月

函館市都市建設部 まちづくり景観課

拝 啓

残夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より函館市の景観行政に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、函館市では西部地区再整備事業基本方針案作成に向けた検討を行うことといたしました。

当地区は、歴史的な街並みや美しい景観、多彩な観光施設があり、多くの観光客が訪れる函館市を象徴するエリアのひとつです。一方で、人口減少や高齢化により地域の活力が低下し、空家・空地が増加するなどの問題も起こっており、生活しやすい居住環境を整えるとともに、景観に配慮したまちづくりを進めていくことが課題となっています。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、市民の皆さまからのご意見を反映させたまちづくりを進めるため、アンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。

なお、本調査の実施につきましては、下記の業者へ委託しております。ご不明な点等ございましたら、下記までお問合せください。

敬 具

＊ ＊ このアンケート調査について ＊ ＊

- この調査票は、函館市にお住まいの20歳以上の方から3,000人を対象に無作為抽出して配布しています。
- 調査票の宛名のご本人様をご記入ください。
- ご回答は、あてはまる番号に○をつけるか、具体的な内容をご記入ください。
- 調査票へのご回答は統計的に処理し、個人が特定される形で公表することは一切ございません。
- ご記入後は、お手数ですが同封の封筒(切手不要)に入れ、

9月6日(木)までに ご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

(函館市) 都市建設部 まちづくり景観課 担当: 上田、林、石田

TEL 0138-21-3357

(問い合わせ先・業務受託者)

株式会社ノーザンクロス 担当: 常本、近藤、伊藤

TEL 011-232-3661 / FAX 011-232-4918

〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目3-1 第36 桂和ビル 7階

●あなたご自身についておうかがいします。

あてはまるもの1つ選んで○をつけてください。F4 については、あてはまるもの全てに○を、F6 については、現在お住まいの町名をご記入ください。

F1 性別 1. 男性 2. 女性

F2 年代 1. 20 歳代 2. 30 歳代 3. 40 歳代
4. 50 歳代 5. 60 歳代 6. 70 歳代

F3 職業 1. 会社員・役員、公務員 2. 自営業 3. パート・アルバイト
4. 学生 5. 専業主婦・主夫 6. 無職
7. その他()

F4 同居家族 (同居している人を全て選んで○)
1. いない(一人暮らし) 2. 配偶者 3. 自分の子ども(未成年)
4. 自分の子ども(成人・単身) 5. 自分の子どもとその家族
6. 自分または配偶者の親 7. その他()

F5 居住形態 1. 持ち家(一戸建て) 2. 持ち家(集合住宅) 3. 借家(一戸建て)
4. 借家(集合住宅) 5. その他()

F6 ご住所 函館市 町又は丁目

F7 現在お住まいの町内での居住年数
1. 5 年未満 2. 5～10 年未満 3. 10～30 年未満 4. 30 年以上

●お住まい周辺の身近な地域についておうかがいします。

※この調査では、日常的に歩いて過ごせる範囲を『お住まい周辺の身近な地域』として
お考え下さい※

Q1 あなたは、お住まい周辺の身近な地域を暮らしやすい地域だと思いますか。
(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 暮らしやすい
2. どちらかといえば、暮らしやすい
3. どちらでもない
4. どちらかといえば、暮らしにくい
5. 暮らしにくい

Q2 お住まい周辺の身近な地域は、各項目について魅力があると思いますか。

(5段階評価であてはまる番号を1つ選んで○)

	項 目	身近な地域の魅力					なわ い か ら
		高い ← → 低い					
自然・景観	Q2-1 自然やみどりが身近にある	5	4	3	2	1	0
	Q2-2 清潔できれいに維持されている	5	4	3	2	1	0
	Q2-3 美しい街並みや景観がある	5	4	3	2	1	0
利便性	Q2-4 公共交通での移動がしやすい	5	4	3	2	1	0
	Q2-5 日常的な買い物がしやすい	5	4	3	2	1	0
	Q2-6 医療・福祉サービスを受けやすい	5	4	3	2	1	0
安全・安心	Q2-7 歩道が歩きやすい	5	4	3	2	1	0
	Q2-8 子どもを育てやすい	5	4	3	2	1	0
	Q2-9 近くに学校がある	5	4	3	2	1	0
	Q2-10 高齢者が暮らしやすい	5	4	3	2	1	0
地域交流	Q2-11 地域住民の人柄が良い	5	4	3	2	1	0
	Q2-12 地域住民の交流が多い	5	4	3	2	1	0
	Q2-13 地域の祭りやイベントがある	5	4	3	2	1	0
快適性	Q2-14 にぎやかで活気がある	5	4	3	2	1	0
	Q2-15 静かで落ち着いた環境がある	5	4	3	2	1	0
	Q2-16 住まいにかかるコストが安い	5	4	3	2	1	0

Q3 あなたは、お住まい周辺の身近な地域に愛着を感じていますか。

(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 愛着を感じている
2. どちらかといえば、愛着を感じている
3. どちらでもない
4. どちらかといえば、愛着を感じていない
5. 愛着を感じていない

Q4 あなたは、お住まい周辺の身近な地域に、これからも住み続けたいと思いますか。
(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 住み続けたい 2. できれば住み続けたいが、難しい 3. できればほかの地域へ移りたい 4. まだわからない	(「2」「3」を選んだ方のみ) Q4-1 いまお住まいの<u>地域</u>に住み続けられない、又はほかの地域へ移りたいと思う理由は何ですか。 1. 希望に合う住宅や施設が地域にないから 2. 家が古く、住みづらいから 3. 坂道が多く、住みづらいから 4. 地域に愛着がないから 5. 自然やみどりが少ないから 6. 生活利便性が良くないから 7. 学校が近くにないから 8. 高齢になった時の生活が不安だから 9. 身近に頼れる人がいないから 10. 仕事の都合があるから 11. 介護など家族の都合があるから 12. その他()
--	--

Q5 高齢になっても住み慣れた地域に住み続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

(住まい)	1. 住宅を住みやすくリフォーム(改築・修繕)すること 2. 住みやすい住宅へ移ること 3. 高齢者向けの住宅・施設へ移ること
(サービス)	4. 外出サービスを気軽に受けられること(福祉タクシー、送迎など) 5. 買い物サービスを気軽に受けられること(宅配、買い物代行など) 6. 除排雪サービスを気軽に受けられること
(施設等)	7. 日常の買い物をできるお店が身近にあること 8. 病院や福祉施設が身近にあること 9. 公共交通の利便性がよいこと 10. 余暇を楽しめるお店や施設が身近にあること
(その他)	11. 近所とのつながりがあること 12. 友人・知人が身近にいること 13. 家族・親せきが身近にいること 14. その他()

※ここからは、下の図に示す地区（入船町、船見町、弥生町、弁天町、大町、末広町、元町、青柳町、谷地頭町、住吉町、宝来町、豊川町）についておうかがいします。



Q6 あなたは、この地区にどのような印象をお持ちですか。（あてはまるもの全てに○）

（プラスの印象）	（マイナスの印象）
1. 函館の歴史と文化を感じられる	9. 空家や空地が多い
2. 閑静な住宅街がある	10. 人口が減少し、活気がない
3. 多くの観光客が訪れにぎやか	11. 観光客が多く騒々しい
4. 快適に暮らせて便利	12. 暮らすのに不便
5. 豊かな自然環境がある	13. 車で行きにくい
6. 地域住民同士のつながりが強い	14. 地域住民同士のつながりが強すぎる
7. 商業や産業が盛んで、にぎやか	15. 店舗等が少なくにぎわいに乏しい
8. 坂道のある景色に魅力を感じる	16. 坂道が多く不便
17. その他（	）

Q7 この地区の課題を解決し、より魅力あるまちづくりを進めることは、函館市のまちづくりにとって必要だと思われますか。（あてはまるものを1つ選んで○）

1. 必要だと思う
2. どちらかといえば、必要だと思う
3. どちらでもない
4. どちらかといえば、不要だと思う
5. 不要だと思う

Q8 あなたは、この地区において、どのようなまちづくりを進めることが必要だと思いませんか。
(あてはまるもの全てに○)

(空間)	1. 歴史性を活かし、景観を整えていくこと
	2. 道路などの公共空間を美しく整備すること
	3. 狭い土地や道路のない土地を活用できるようにすること
(にぎわい)	4. お店を増やし、にぎわいを生み出すこと
・利便性)	5. 生活の利便性を向上させること
	6. 車で訪れやすい環境をつくること
(コミュニティ)	7. 地区に暮らす人を増やすこと
	8. 何度も訪れる地区のファンを増やすこと
	9. 地区のコミュニティを活性化すること
	10. その他(まちづくりのアイデアをご自由にお書きください。)

Q9 あなたは、この地区になじみがありますか。(あてはまるものを1つ選んで○)

1. なじみがある 2. どちらかといえば、なじみがある 3. どちらでもない 4. どちらかといえば、なじみがない 5. なじみがない	(「1」「2」を選んだ方のみ) Q9-1 なじみがある主な理由 (あてはまるもの全てに○) 1. 住んでいたことがある 2. 職場・学校がある(あった) 3. 親戚・友人が住んでいる(住んでいた) 4. よく行くお店・施設がある(あった) 5. その他()
--	---

Q10 あなたは、この地区へ行くことがありますか。(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 週に1回以上、行くことがある 2. 月に2~3回程度、行くことがある 3. 年に2~3回程度、行くことがある 4. ほとんど行かない、行ったことがない	(「1」~「3」を選んだ方のみ) Q10-1 行く主な理由 (あてはまるもの全てに○) 1. 仕事 2. 飲食 3. 買い物 4. 観光(案内) 5. 親せき・友人と会う 6. その他()
---	--

Q11 あなたは、この地区に住みたいですか。(あてはまるものを1つ選んで○)

- 1. 住みたい
- 2. どちらかといえば、住みたい
- 3. どちらでもない
- 4. どちらかといえば、住みたくない
- 5. 住みたくない

(「1」「2」を選んだ方のみ)

Q11-1 どのような物件があれば、具体的に
住み替えを検討したいと思いますか。

(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------|---------|
| 1. 広い土地 | 2. 安い土地 |
| 3. 広い住宅 | 4. 安い住宅 |
| 5. 歴史的な建物 | |
| 6. その他() | |

Q11-2、3 どのような所有形態が望ましい
とお考えですか。(どちらか1つを選んで○)

◇土地 1. 購入したい 2. 借りたい

◇建物 1. 購入したい 2. 借りたい

(「4」「5」を選んだ方のみ)

Q11-4 住みたくない主な理由

(あてはまるもの全てに○)

- 1. 今住んでいる地域に満足しているから
- 2. この地区になじみがないから
- 3. 暮らしにくそうだから
- 4. この地区のイメージが良くないから
- 5. 住宅にかかるコストが高そうだから
- 6. その他()

Q12 自由記述(西部地区のまちづくりについて、ご自由にご意見をお書きください)

「西部地区リデザイン-サロン(仮)」のご案内

- ・函館市では、西部地区の今後のまちづくりを市民の皆さまとともに考える「西部地区リデザイン-サロン(仮)」を今秋から来春までに3回ほど開催する予定です。
- ・参加をご希望される方は以下の必要事項にご記入下さい。日程が決まり次第、個別にご案内させていただきます。
- ・なお、会場の広さに限りがあるため、応募多数の場合は抽選のうえご案内させていただきます。申し訳ありませんが、あらかじめご了承ください。

—————参加を希望される方は、以下をご記入ください—————

お名前() / 性別(男性・女性) / 年齢() 歳

ご住所(〒 -) /
函館市) /

お電話番号() / FAX番号() /

E-mailアドレス(@)

(2) 事業者

〈調査の概要〉

調査方法：アンケート調査（郵送配布・回収方式）

調査期間：平成 30 年 8 月 22 日～9 月 14 日

※調査票では回収締切を 9 月 6 日としていたが、同日未明に発生した北海道胆振東部地震の影響をふまえ 14 日まで延長した。

調査対象：地区内事業者については i タウンページに掲載されている小売・飲食・宿泊・サービス事業者（403 件）を対象とした。

地区外事業者については、函館市商工会議所会員名簿及びウェブで公開されている函館法人会会員の中から、小売・飲食・宿泊・サービス業事業者（689 件）を対象とした。

回収状況：事業者① 135 サンプル（回収率 33.5%）

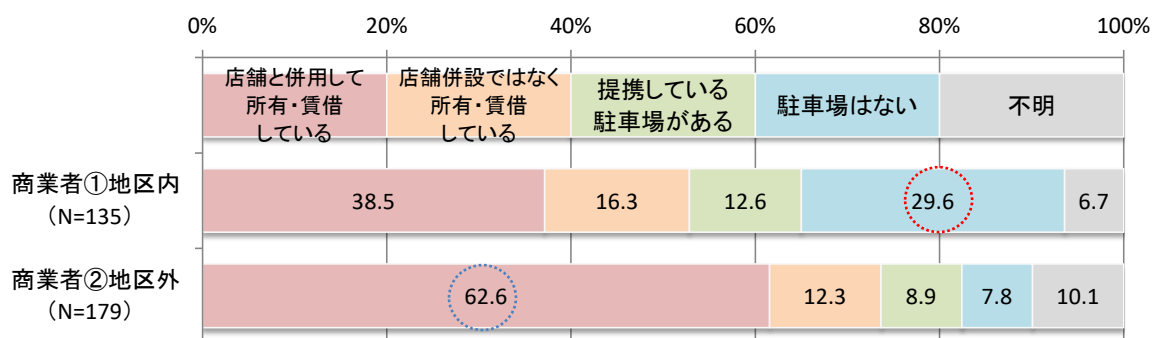
事業者② 179 サンプル（回収率 26.0%）

〈調査結果〉

1 駐車スペースについて

Q1 店舗の駐車場の状況と台数について、おうかがいします。(SA)

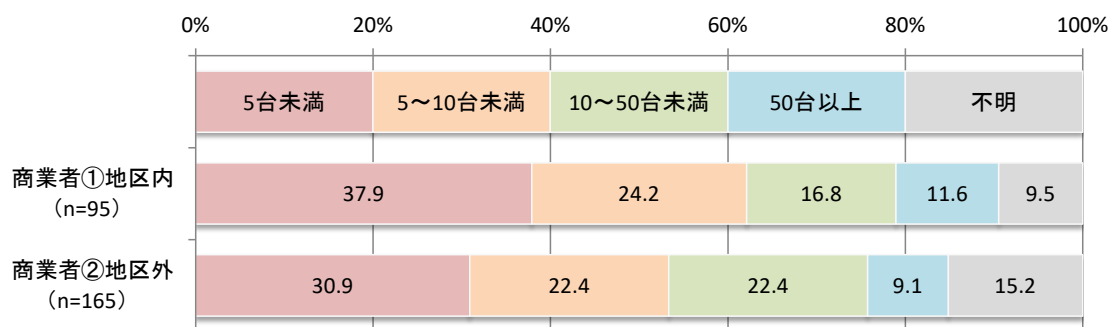
地区内では、地区外に比べ「駐車場はない」の割合が高く、約 3 割を占める。



店舗の駐車場の状況

Q1-1 駐車台数（NA 加工）

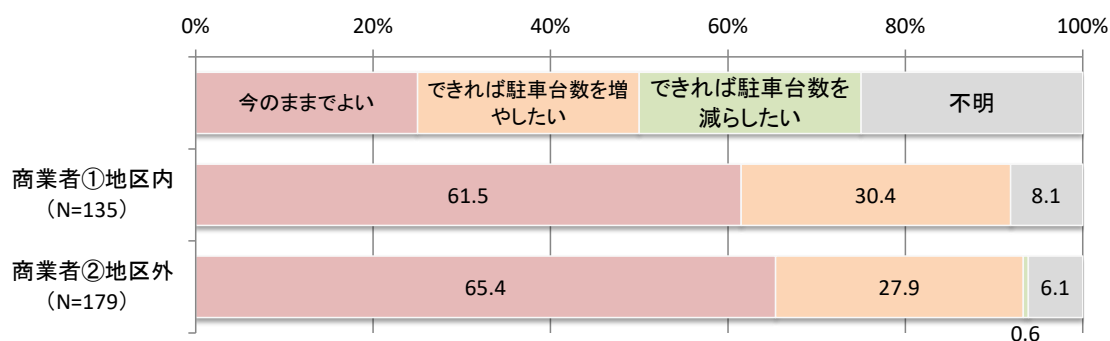
地区内の平均台数は 19.2 台、地区外の平均台数は 27.1 台であった。地区内では、地区外に比べ「5 台未満」の割合がやや高くなっている。



店舗の駐車場の台数

Q2 店舗の駐車場の規模について、どのように感じていますか。（SA）

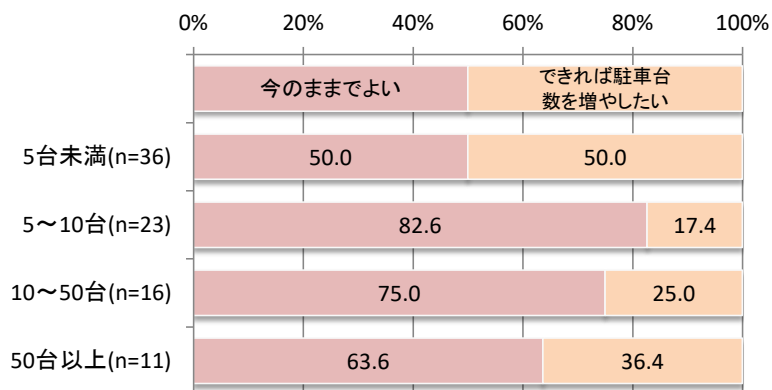
「今のままでよい」の割合が地区内外とも 6 割以上と高くなっている。



店舗の駐車場規模に対する意向

〈商業者①地区内 現在の駐車台数別〉

駐車台数規模別にみると、5 台未満では「できれば駐車台数を増やしたい」の割合が他に比べ高く、5 割を占めている。

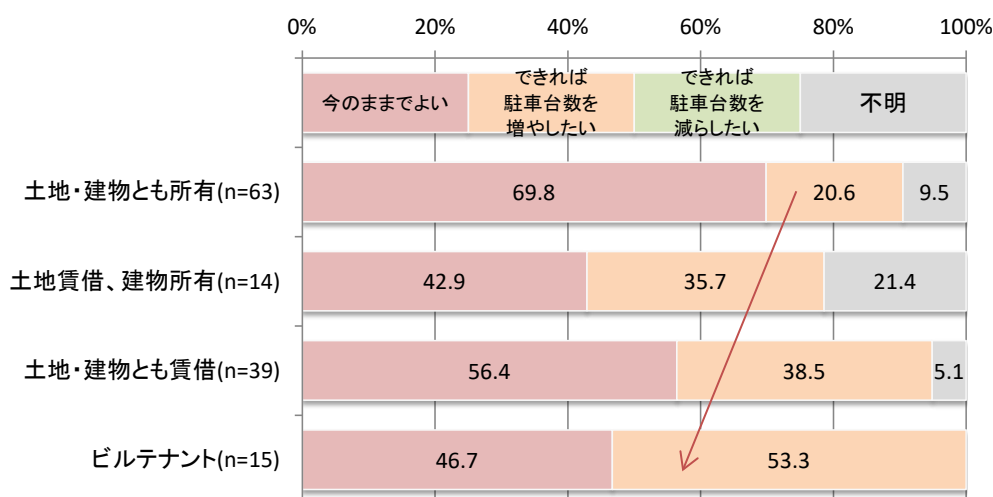


店舗の駐車場規模に対する意向（地区内、現在の駐車台数別）

〈商業者①地区内 店舗形態別〉

店舗形態別にみると、土地・建物とも所有している商業者では、「今のままでよい」の割合が約7割と他に比べ高い。

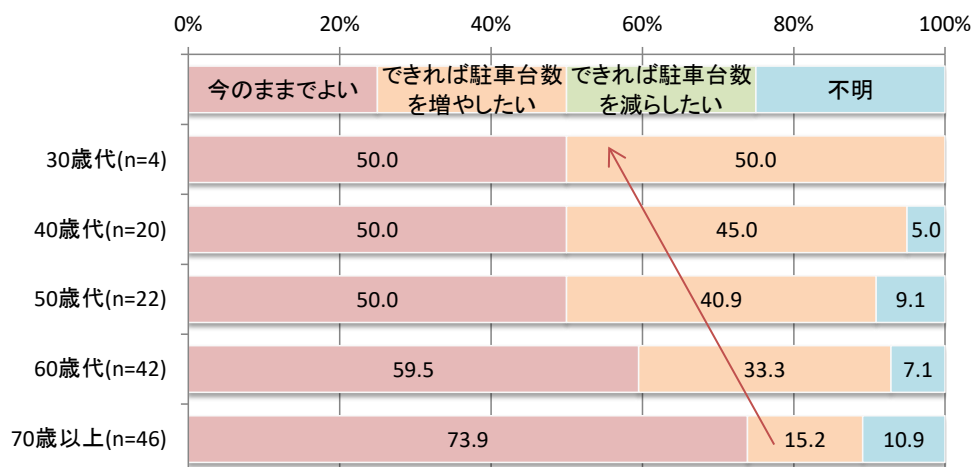
「できれば駐車台数を増やしたい」は、賃借の程度が上がるほど高くなる傾向がみられ、ビルテナントでは5割を超えている。



店舗の駐車場規模に対する意向（地区内、店舗形態別）

〈商業者①地区内 経営者の年代別〉

年代が低いほど、「できれば駐車台数を増やしたい」の割合が高くなる傾向がみられる。

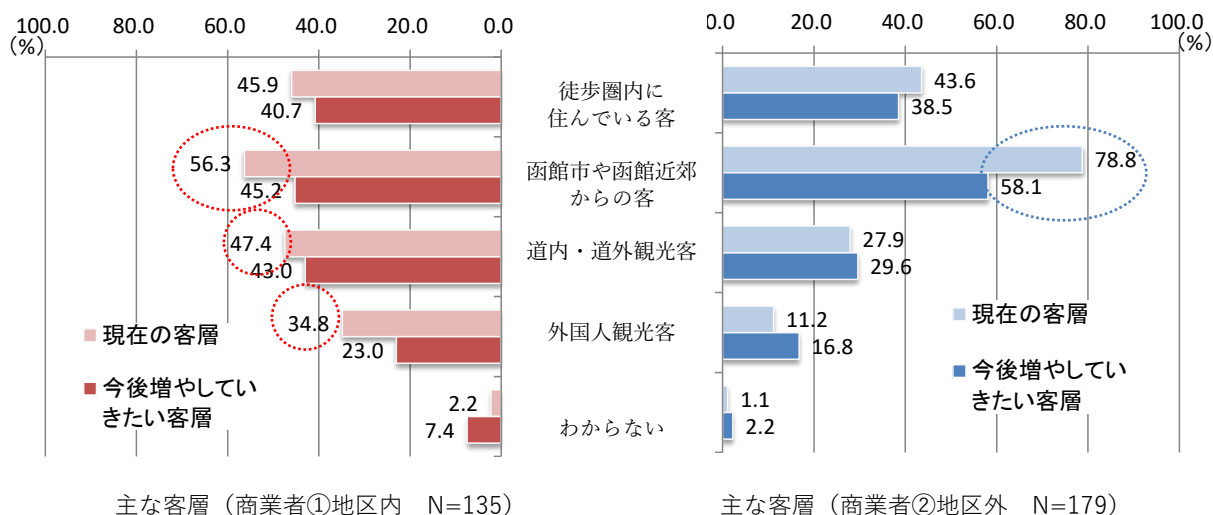


店舗の駐車場規模に対する意向（地区内、経営者の年代別）

2 現在の経営状況と事業展開意向について

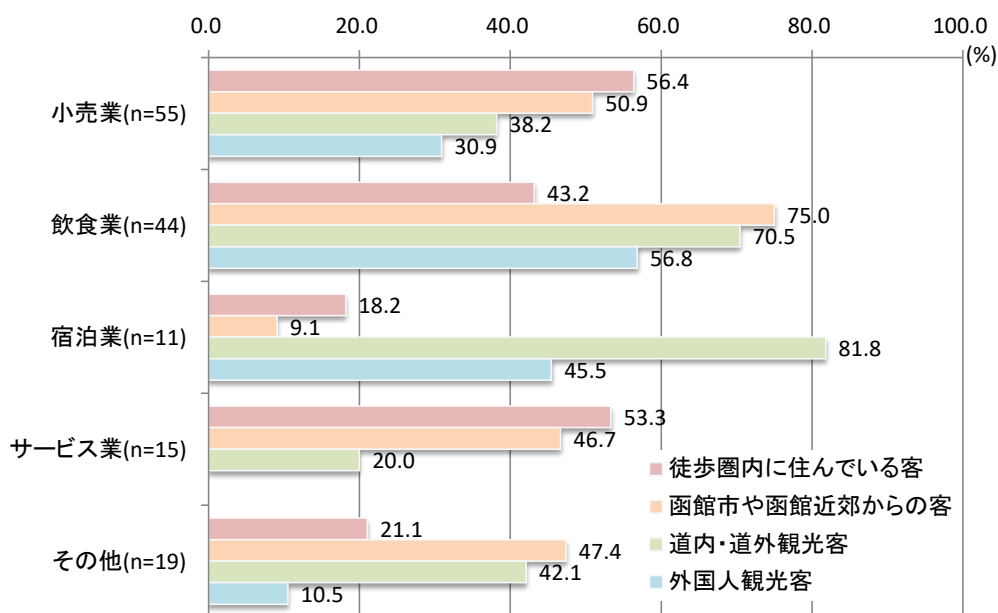
Q3 今は、どのような客層が多いですか。また、今後はどのような客層を増やしていきたいとお考えですか。(MA)

地区内・外とも「函館市や函館近郊からの客」の回答率が最も高い。地区内では「道内・道外観光客」「外国人観光客」の回答率が、地区外に比べ高くなっている。



〈商業者①地区内 業種別〉

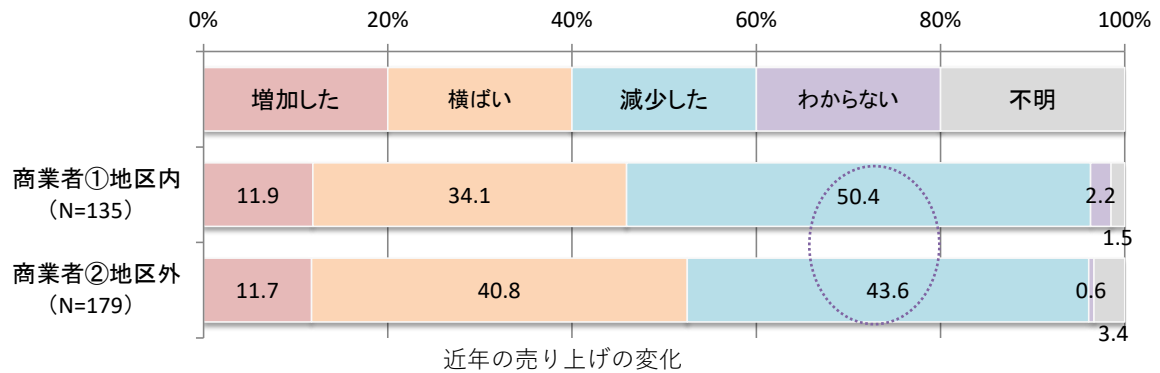
小売業、サービス業では他に比べ「徒歩圏内に住んでいる客」の回答率が高くなっている。



現在の主な客層（地区内、業種別）

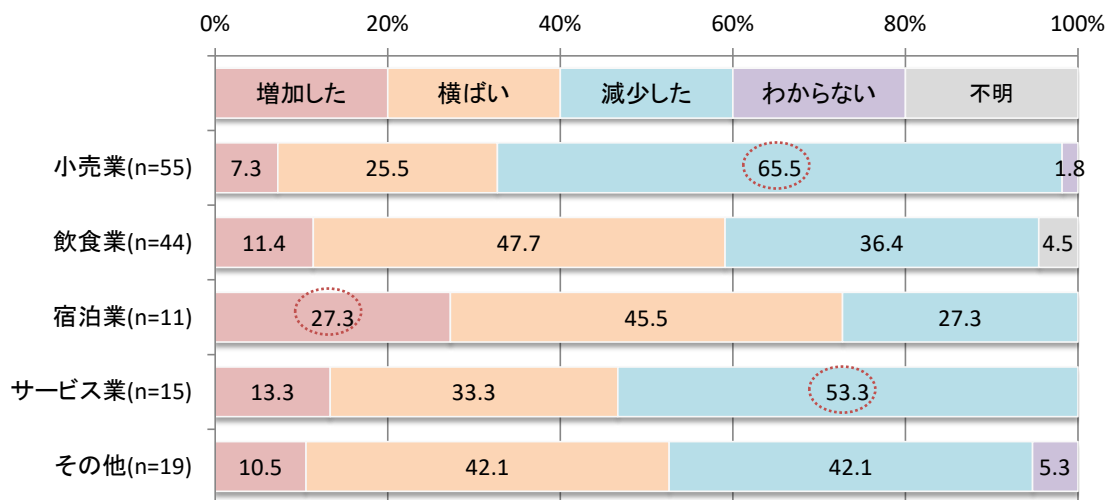
Q4 近年の売り上げの変化をお答えください。(SA)

地区内では「減少した」の割合が過半数を占めており、地区外と比べやや高い



〈商業者①地区内 業種別〉

地区内の小売業、サービス業では、「減少した」が他に比べ高く、5割以上となっている。宿泊業では、「増加した」の割合が約3割と、他に比べ高い。

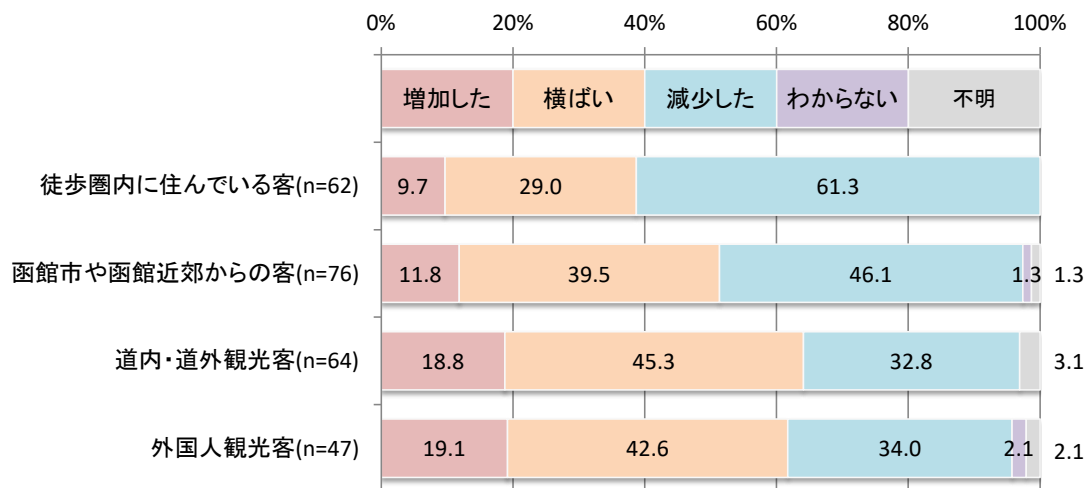


近年の売り上げの変化（地区内、業種別）

〈商業者①地区内 現在の主な客層別〉

現在の主な客層として“徒歩圏内に住んでいる客”を選択した商業者では、「減少した」の割合が約 6 割と他に比べ高い。

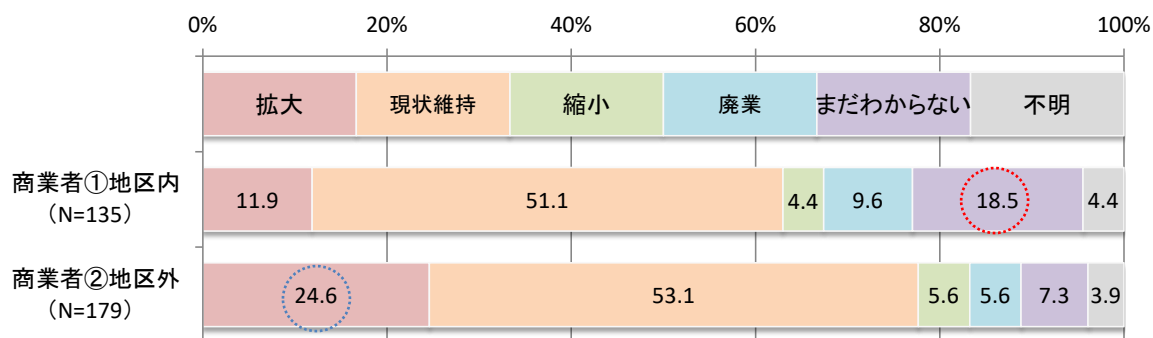
現在の主な客層として“観光客”を選択した商業者では、他に比べ「増加した」「横ばい」の割合が高く、あわせて 6 割以上となっている。



近年の売り上げの変化（地区内、現在の主な客層別）

Q5 今後の事業展開について、どのようなお考えをお持ちですか。（SA）

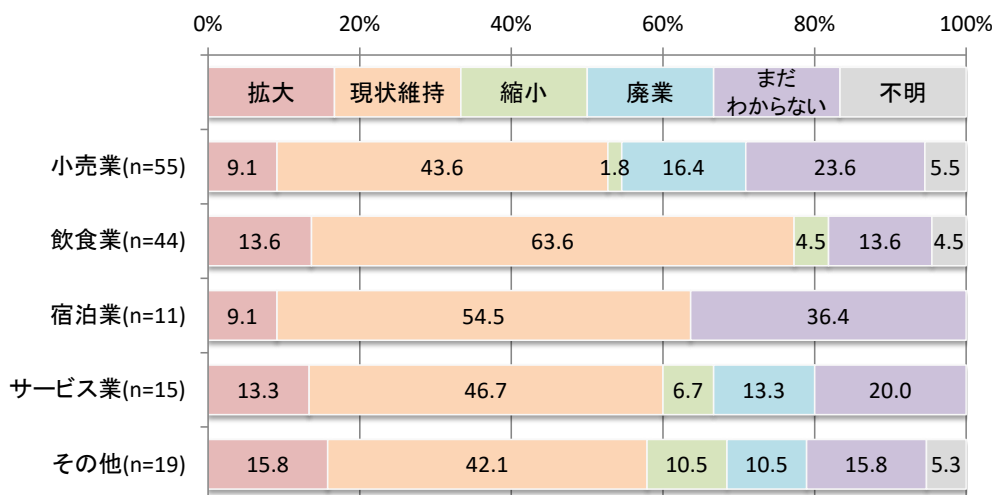
地区内外とも、「現状維持」が過半数を占める。地区外では「拡大」の割合が、地区内では「まだわからない」の割合が、他方に比べ高くなっている。



今後の事業展開意向

〈商業者①地区内 業種別〉

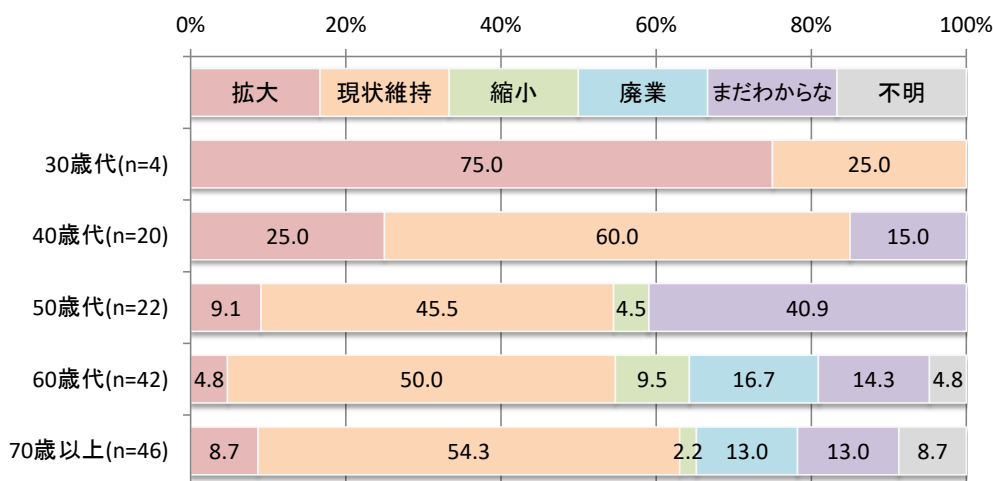
小売業、サービス業、その他業種では、いずれも1～2割が「廃業」となっている。飲食業では、「現状維持」の割合が他に比べ高い。



今後の事業展開意向（地区内、業種別）

〈商業者①地区内 経営者の年代別〉

60歳代では「縮小」「廃業」の割合が他に比べ高く、あわせて約3割を占めている。30代、40代では「拡大」の割合が他に比べ高い。

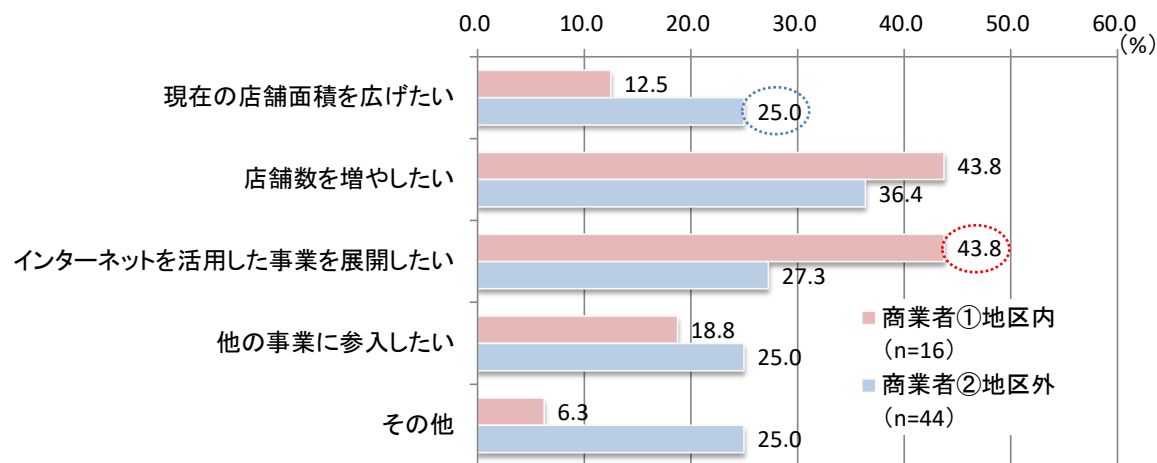


今後の事業展開意向（地区内、経営者の年代別）

(Q5で「拡大」を選択した回答者のみ)

Q5-1 どのような事業展開をお考えですか。(MA)

地区内では「店舗数を増やしたい」「インターネットを活用した事業を展開したい」の回答率が、地区外では「店舗数を増やしたい」の回答率が最も高い。



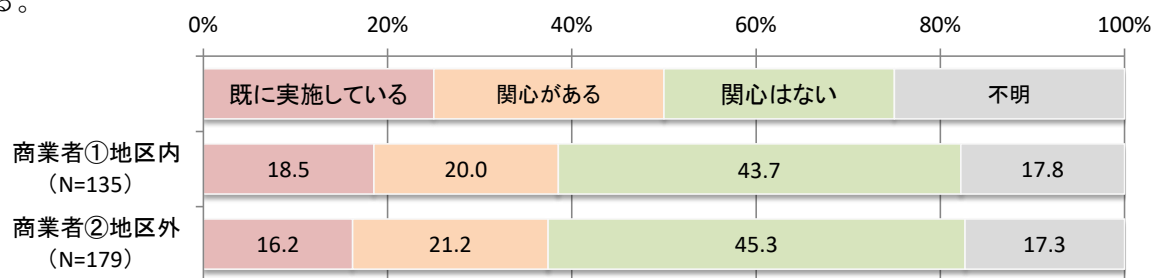
希望する事業展開の内容

Q6 近年、高齢者の生活支援や利用促進を目的として、事業者が以下のようなサービスを事例が全国で見られます。こうしたサービスを行うことに関心はありますか。(SA)

(例) 無料送迎サービス : 利用者の送迎(病院、美容院、銭湯、など)

(例) 買い物サービス : 買い物代行、宅配(商店、商店街など)

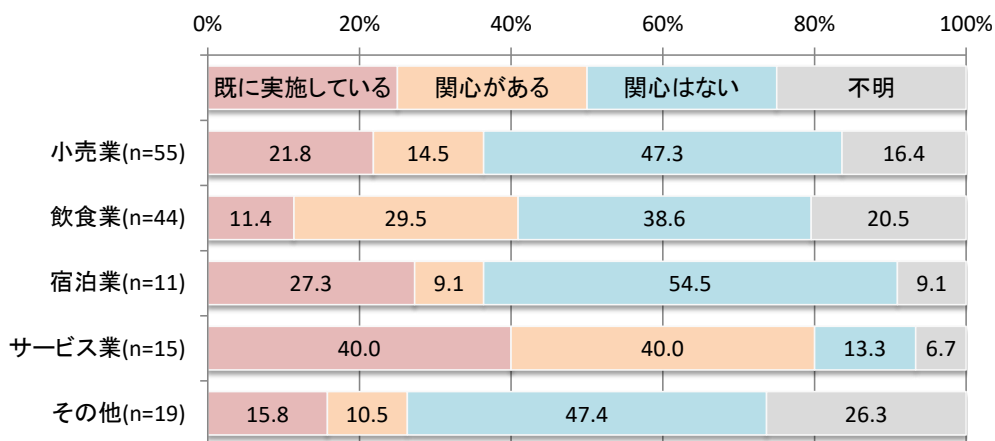
地区内外とも、「既に実施している」「関心がある」を合わせた割合は4割弱となっている。



生活支援サービスの実施に対する関心

〈商業者①地区内 業種別〉

サービス業では「既に実施している」「関心がある」の割合が他に比べ高く、合わせて8割を占めている。



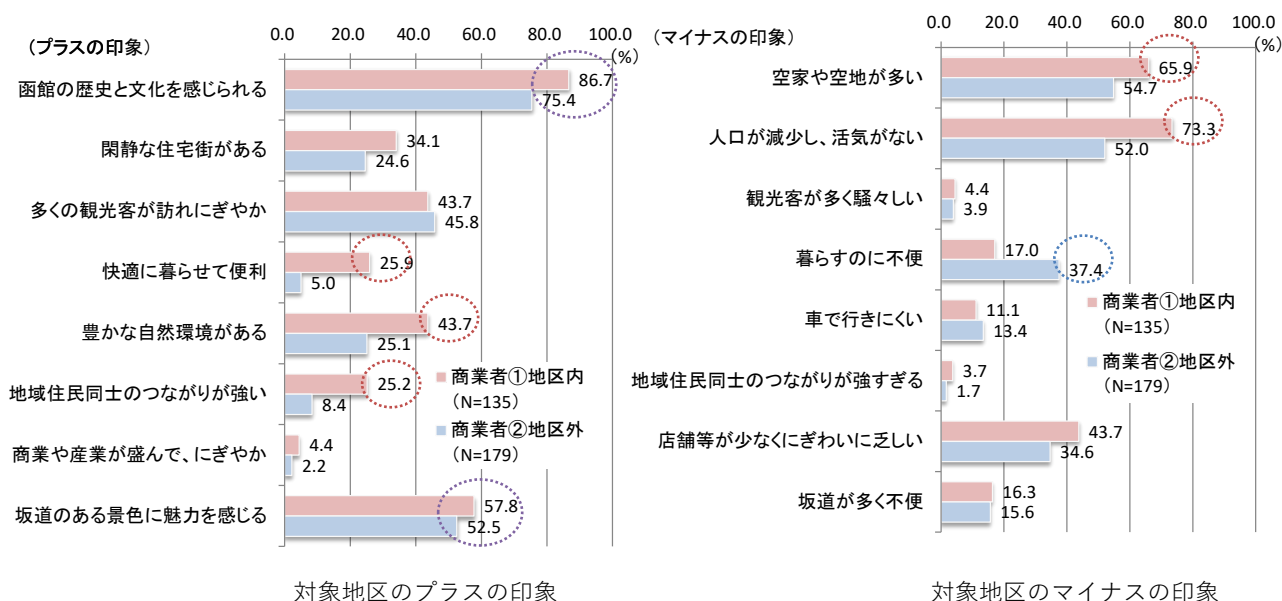
生活支援サービスの実施に対する関心(地区内、業種別)

3 対象地区に対する評価

Q7 あなたは、この地区にどのような印象をお持ちですか (MA)

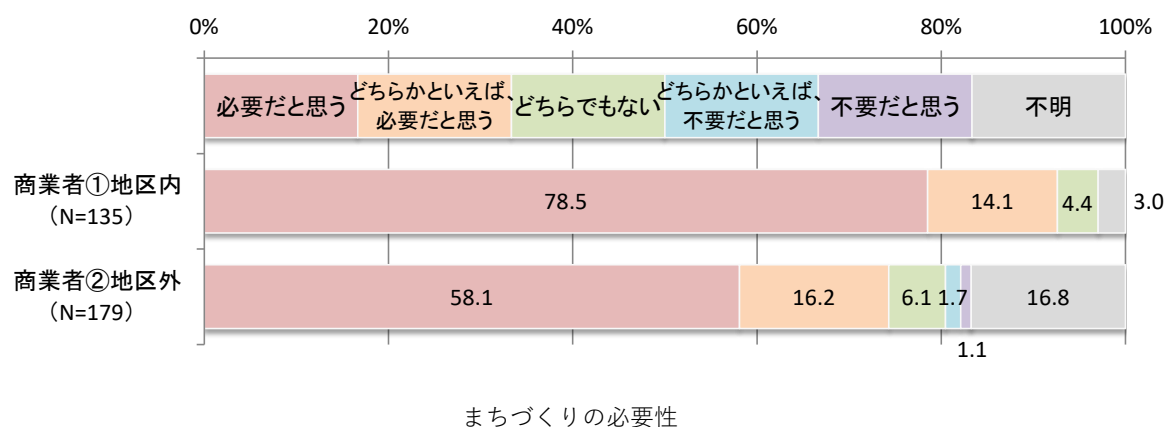
プラスの印象としては、地区内外とも「函館の歴史と文化を感じられる」の回答率が7割以上と高い。また、地区内では「函館の歴史と文化を感じられる」「快適に暮らせて便利」「豊かな自然環境がある」「地域住民同士のつながりが強い」の回答率が地区外に比べ高く、10ポイント以上の差がみられる。

マイナスの印象としては、地区内では「空家や空地が多い」「人口が減少し、活気がない」、地区外では「暮らすのに不便」の回答率が高く、10ポイント以上の差がみられた。



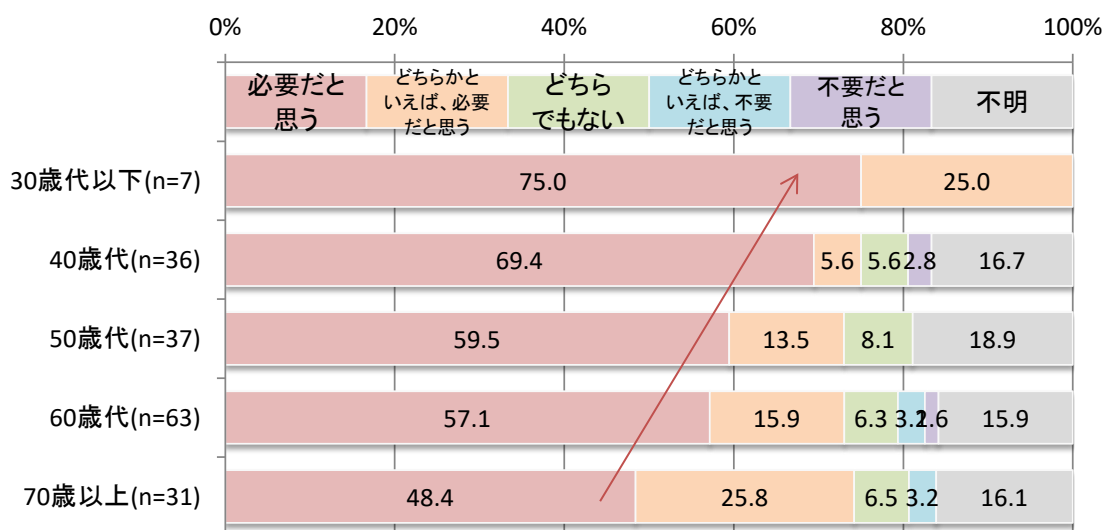
Q8 この地区の課題を解決し、より魅力あるまちづくりを進めることは、函館市のまちづくりにとって必要だと思われますか。(SA)

「必要だと思う」「どちらかといえば、必要だと思う」を合わせた割合は、地区内では9割以上、地区外では7割以上と高い。



〈商業者①地区内 経営者の年代別〉

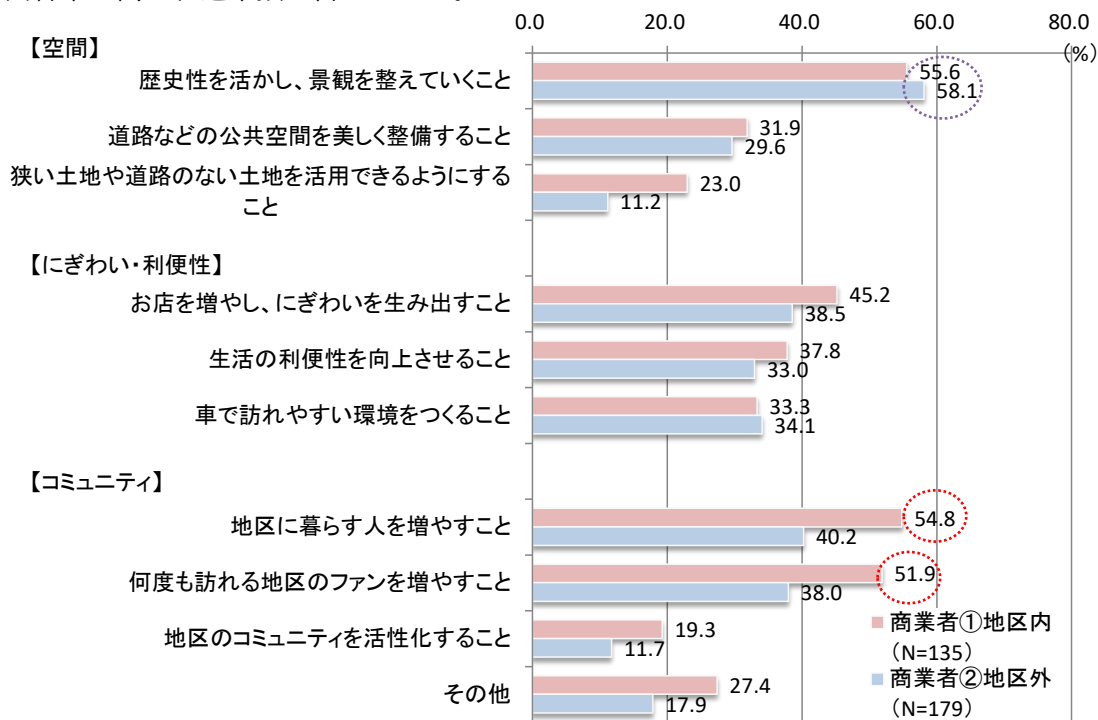
経営者の年代が下がるほど、「必要だと思う」の割合が高くなる傾向がみられる。



対象地区におけるまちづくりの必要性（地区内、経営者の年代別）

Q9 あなたは、この地区において、どのようなまちづくりを進めることが必要だと思いますか。（MA）

地区内外とも「歴史を活かし、景観を整えていくこと」の回答率が最も高くなっている。地区内では「地区に暮らす人を増やすこと」「何度も訪れる地区のファンを増やすこと」の回答率が高く、過半数を占めている。



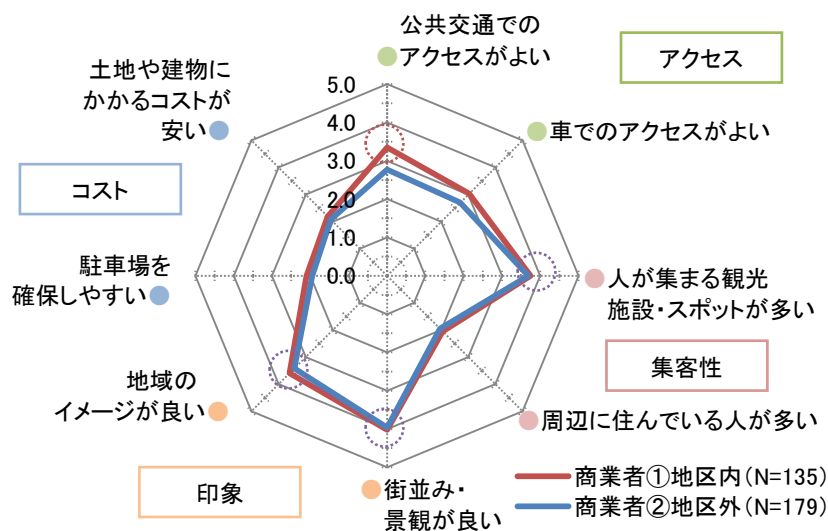
必要だと思うまちづくりの内容

Q10 この地区は、商業地としての魅力があると感じますか。(SA 加工)

※数値は、「0」～「5」で評価された回答の平均値を示す

地区内外とも「街並み・景観が良い」「人が集まる観光施設・スポットが多い」「地域のイメージが良い」の評価が高い。

また、地区内では、「公共交通でのアクセスがよい」の評価が地区外に比べ高かった。



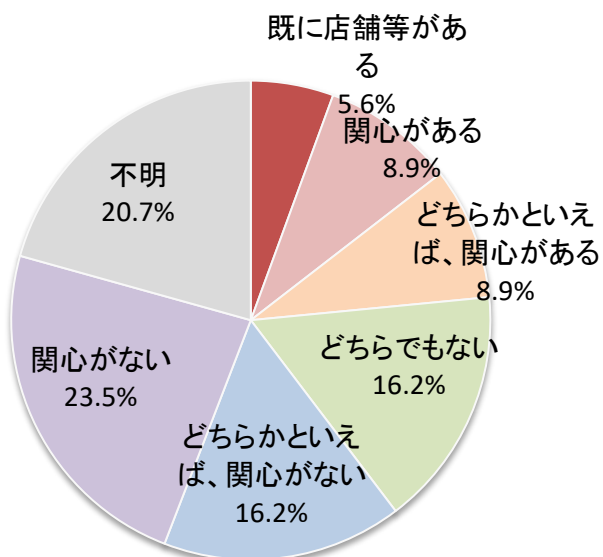
対象地区の商業地としての魅力（地区内外の比較）

	項目	商業者① 地区内	商業者② 地区外	①－②
アクセス	公共交通でのアクセスがよい	3.4	2.8	+0.6
	車でのアクセスがよい	3.0	2.7	+0.3
集客性	人が集まる観光施設・スポットが多い	3.7	3.7	0
	周辺に住んでいる人が多い	2.1	2.0	+0.1
印象	街並み・景観が良い	4.0	4.0	0
	地域のイメージが良い	3.6	3.4	+0.2
コスト	駐車場を確保しやすい	2.1	2.0	+0.1
	土地や建物にかかるコストが安い	2.2	2.1	+0.1

4 対象地区での事業展開について（商業者②地区外のみへの設問）

Q11 この地域での事業展開にご関心はありますか。（SA）

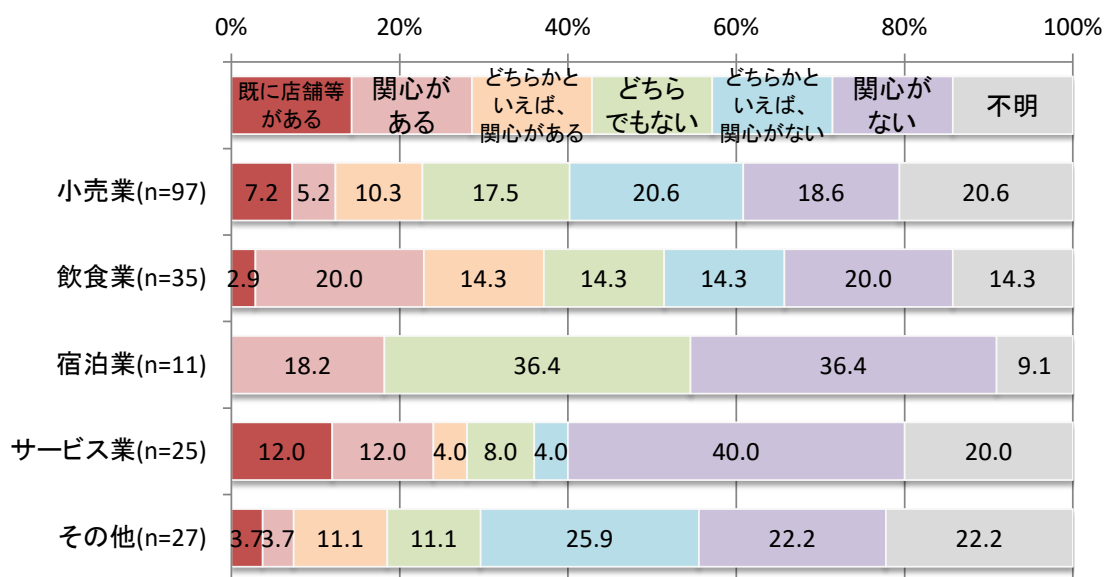
「関心がある」「どちらかといえば、関心がある」の割合は約2割あった。



対象地区での事業展開意向（N=179）

〈商業者②地区外 業種別〉

業種別にみると、飲食業で「既に店舗等がある」「関心がある」「どちらかといえば、関心がある」を合わせた割合が他に比べ高く、4割弱となっている。

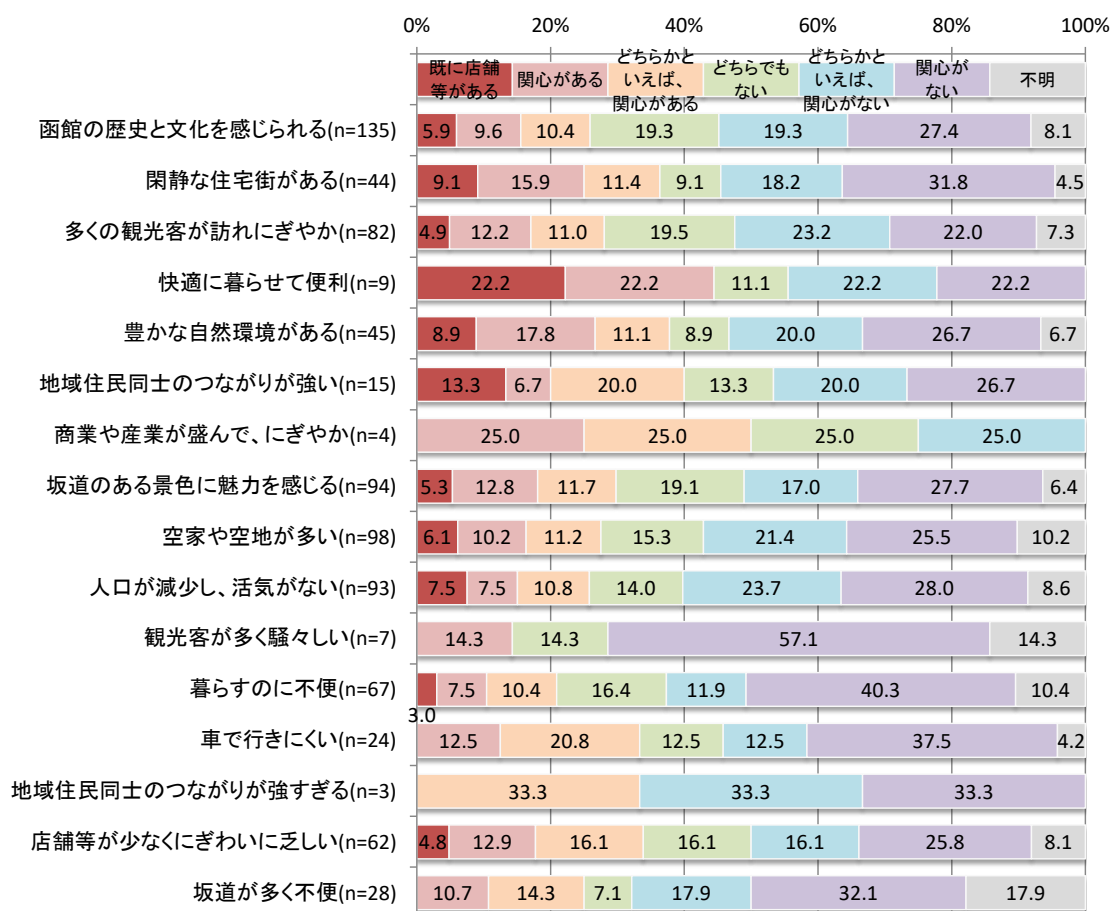


対象地区での事業展開に対する関心（地区外、業種別）

〈商業者②地区外 対象地区の印象別〉

「既に店舗等がある」「関心がある」「どちらかといえば、関心がある」を合わせた割合は、回答数が全回答者数の1割（17.9人）未満の項目を除くと“閑静な住宅地がある”、“豊かな自然環境がある”を選択した人で割合が高く、3割以上となっている。また、“車で行きにくい”、“店舗等が少なくにぎわいに乏しい”とマイナスの評価をした人でも3割以上となっている

「関心がない」の割合は、“暮らすのに不便”を選択した人で高く、4割を超えている。

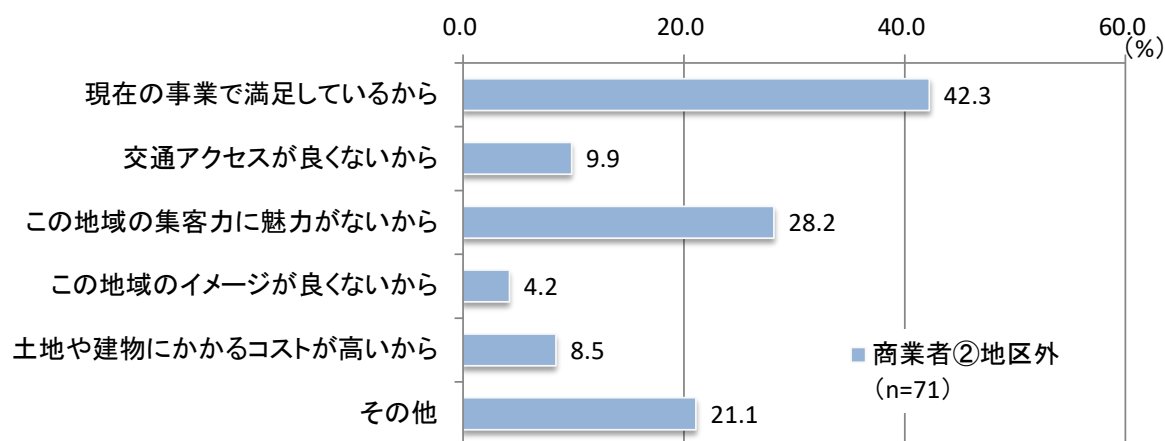


対象地区での事業展開に対する関心（地区外、対象地区の印象別）

(Q11で「関心がない」「どちらかといえば、関心がない」を選択した回答者のみ)

Q11-1 「関心がない」と答えた主な理由は何ですか。(MA)

「現在の事業で満足しているから」の回答率が最も高く、次いで「この地域の集客力に魅力がないから」、「交通アクセスが良くないから」の順となっている。

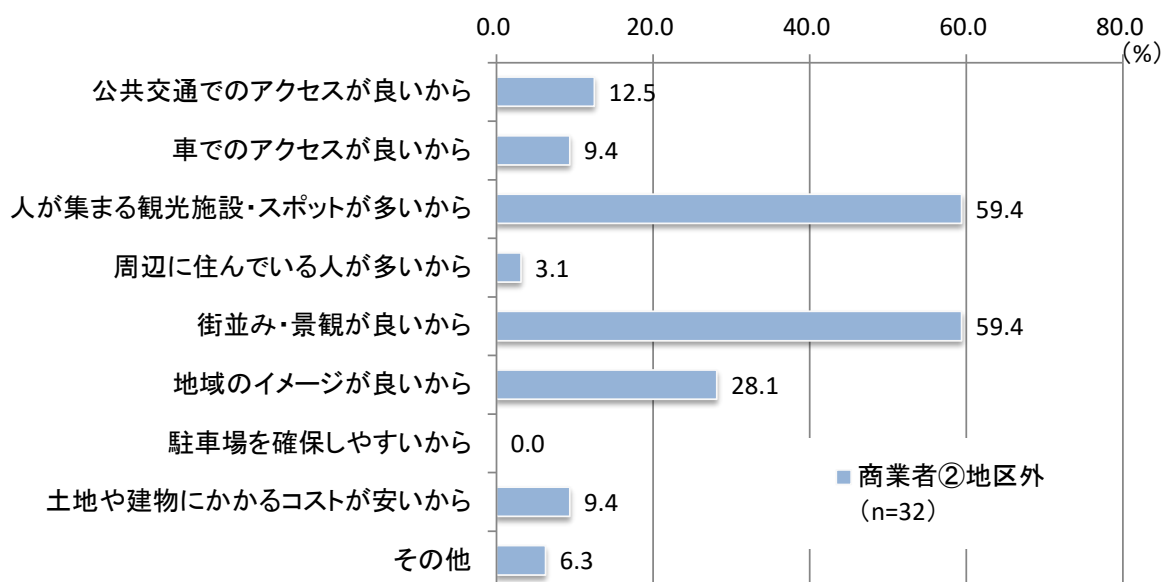


対象地区での事業展開に関心がない理由 (地区外)

(Q11で「関心がある」「どちらかといえば、関心がある」を選択した回答者のみ)

Q11-2 「関心がある」と答えた主な理由は何ですか。(MA)

「人が集まる観光施設・スポットが多いから」「街並み・景観が良いから」の約6割と高くなっている。

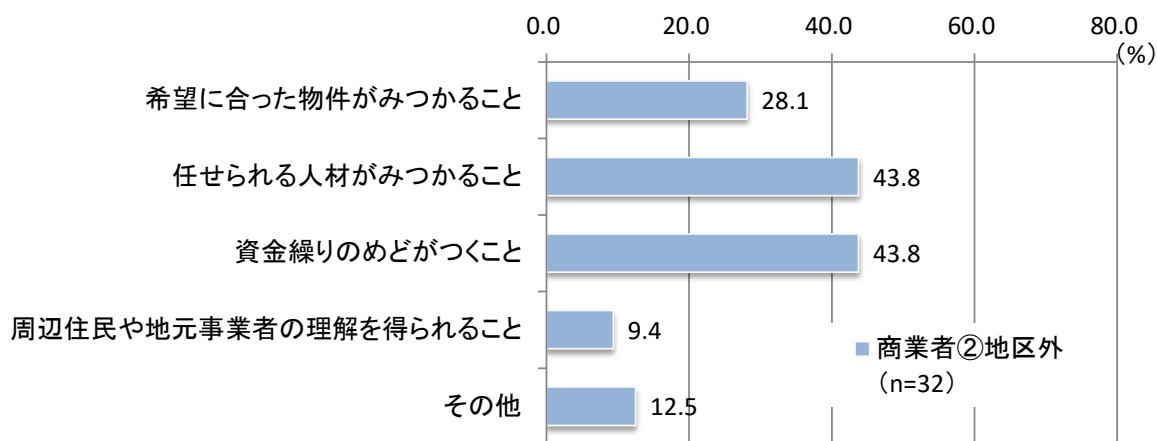


対象地区での事業展開に関心がある理由 (地区外)

(Q11で「関心がある」「どちらかといえば、関心がある」を選択した回答者のみ)

Q11-3 どのような条件があれば、具体的に事業展開を進めようと思われますか。(MA)

「任せられる人材が見つかること」「資金繰りのめどがつくこと」の回答率が約4割と最も高く、次いで「希望にあった物件が見つかること」「周辺住民や地元事業者の理解が得られること」の順となっている。



事業展開実現に必要な要件 (地区外)

F1 店舗の住所 (FA 加工)

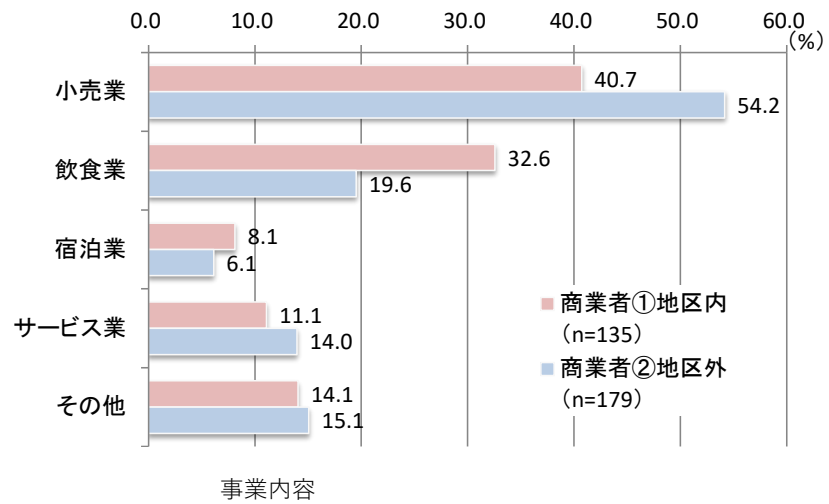
店舗住所 (地区内)

	青柳町	入船町	住吉町	末広町	大町	宝来町	谷地頭町	船見町	弁天町	元町	豊川町	弥生町	不明
件数	2	3	1	40	4	16	12	6	12	12	22	3	2
%	1.5	2.2	0.7	29.6	3.0	11.9	8.9	4.4	8.9	8.9	16.3	2.2	1.5

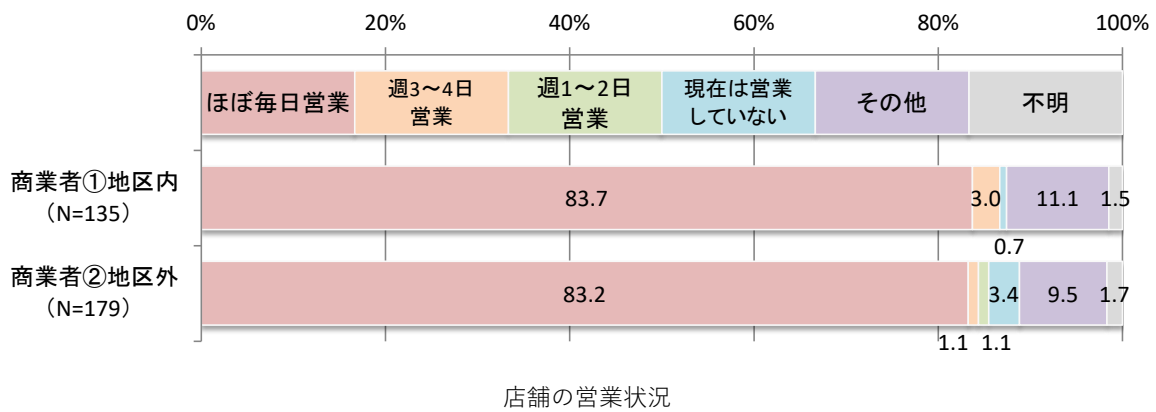
店舗住所 (地区外)

	西部地区 (対象地区外)	中部地区	東中央地区	北東部地区	北部地区	不明
件数	31	72	32	29	8	7
%	17.3	40.2	17.9	16.2	4.5	3.9

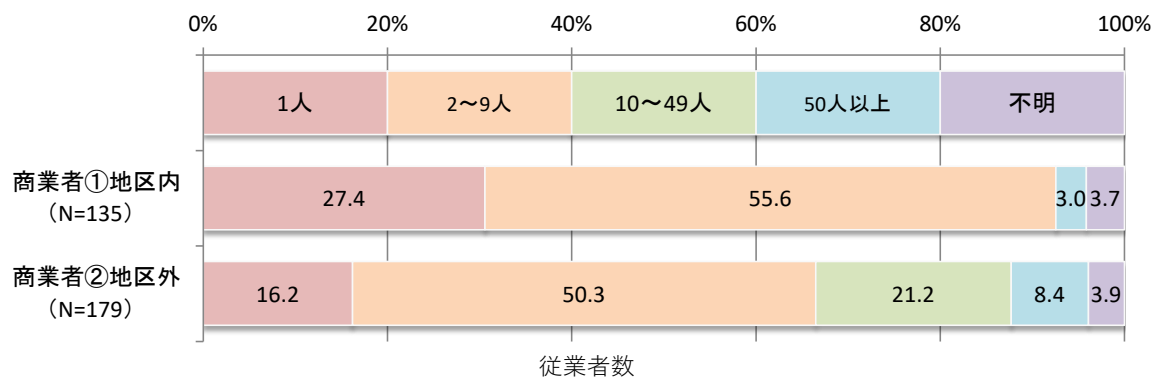
F2 事業内容 (MA)



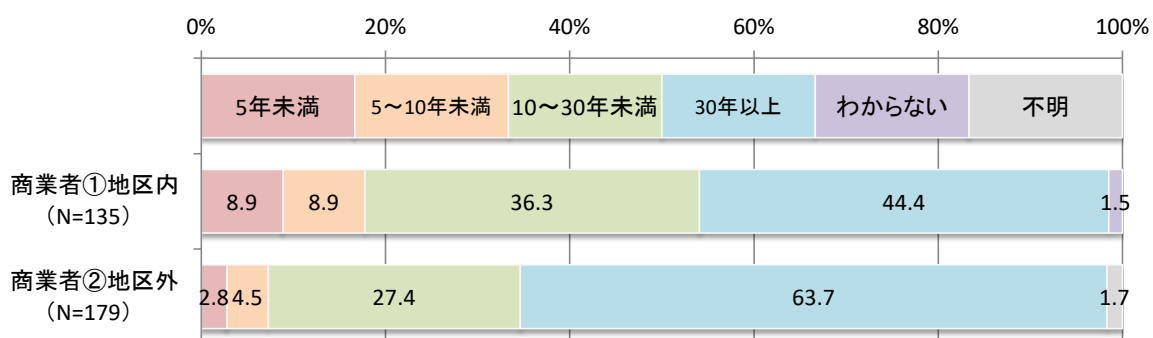
F3 店舗の営業状況 (SA)



F4 従業員数 (SA)

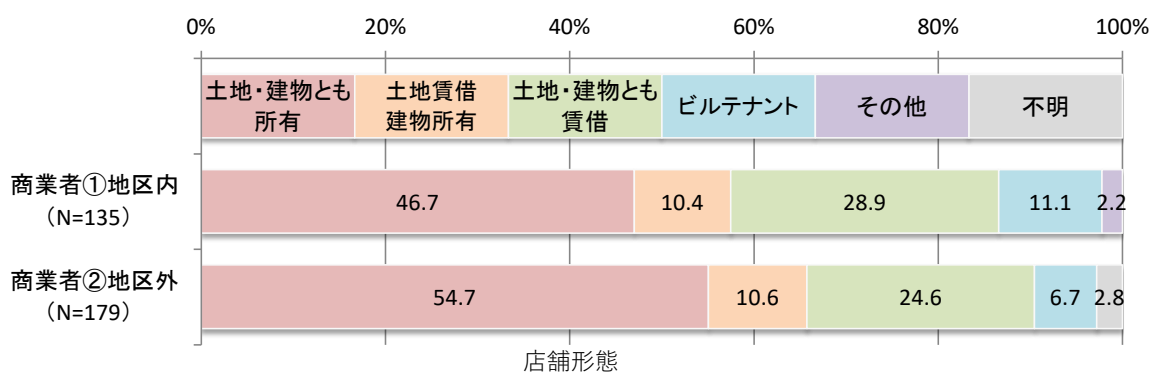


F5 開業してからのおおよその年数 (SA)



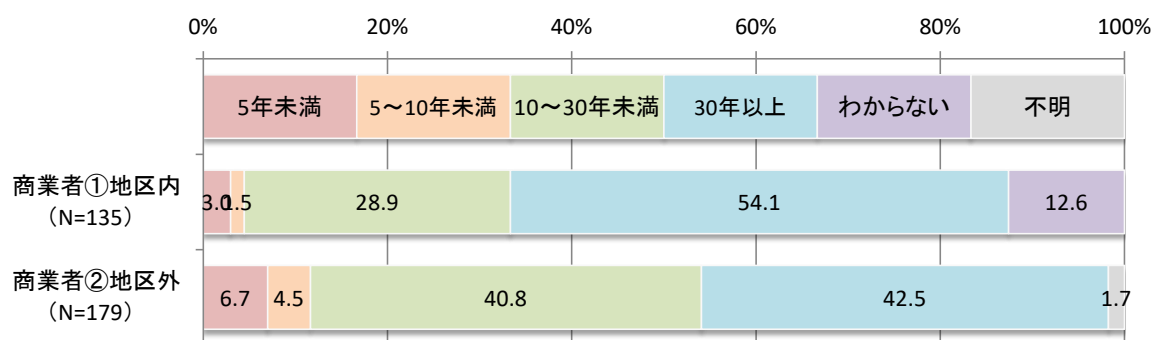
開業してからのおおよその年数

F6 店舗形態 (SA)



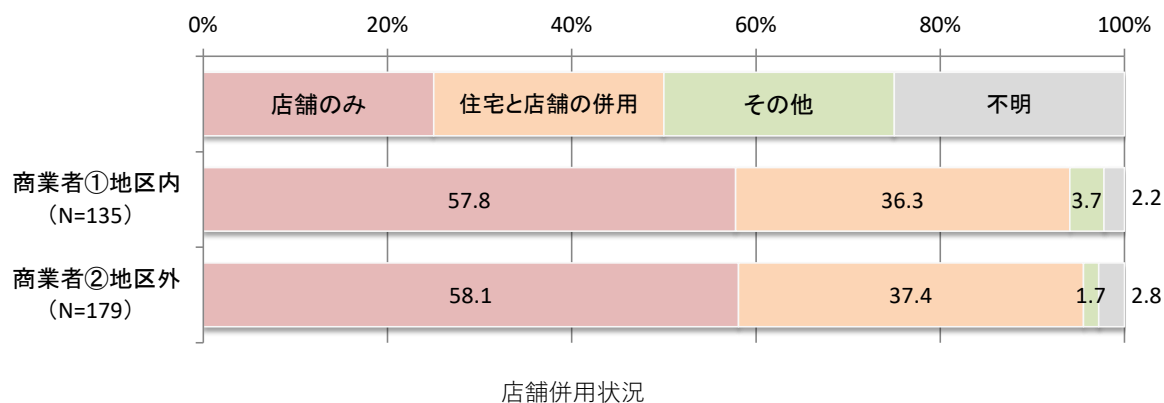
店舗形態

F7 店舗築年数 (SA)

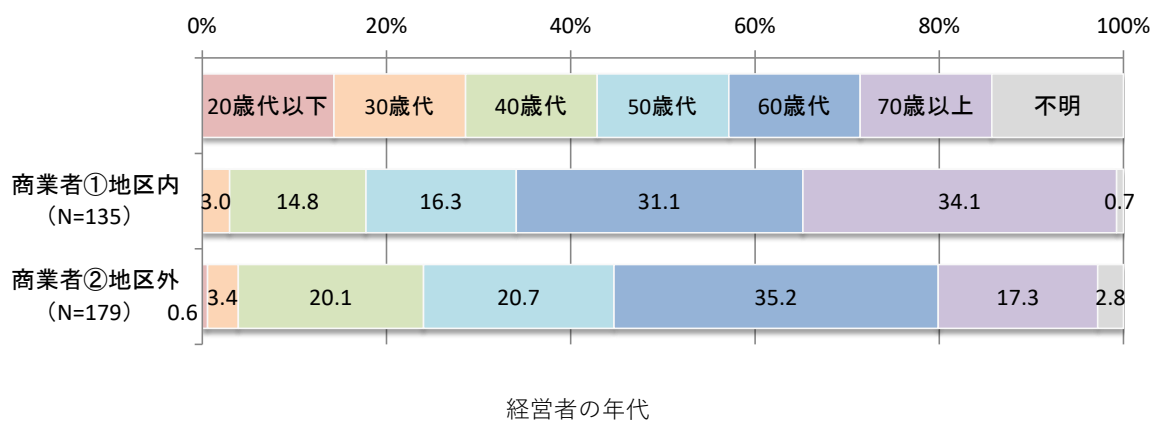


店舗築年数

F8 住宅併用状況 (SA)



F9 経営されている方の年代 (SA)



(自由記述)

自由記述欄への記入は、下表の通り商業者①地区内では 32.6%、商業者②地区外では 23.5%の回答があった。

最も記載が多かったのは「人を惹きつける新しい魅力づくり」に関するもので 17 件、次いで「資源の有効活用 (9 件)」に関するもの、「駐車場の不足・要望 (8 件)」に関するものなどの順となった。

	自由記述回答数	総回収数	自由記述回答率
商業者調査①地区内	44	135	32.6%
商業者調査②地区外	42	179	23.5%

自由記述の概要

		(地区内) 商業者1	(地区外) 商業者2	合計
	自由記述回答数	44	42	86
魅力	歴史と文化を感じる町並み・坂のある景観	3	3	6
	海と山に囲まれた豊かな自然	0	1	1
	豊富な観光資源、町歩きの魅力	0	1	1
課題	空地・空家が多い	1	1	2
	人が少ない	3	4	7
	生活が不便	0	3	3
	除排雪、ロードヒーティングの要望	5	1	6
	坂道が不便、道路が悪い	2	0	2
	駐車場の不足・要望	6	2	8
	活気がない、働く場がない	1	1	2
	外国人観光客のマナー向上、	1	0	1
	住民等のまちづくりに対する意識	0	1	1
	その他の課題	1	2	3
アイデア・ニーズ	町並み保全・美観	0	3	3
	資源の有効活用	4	5	9
	魅力ある居住環境の創出、定住人口増	2	4	6
	買い物・飲食	0	3	3
	交通（循環バスなど）	0	1	1
	子育て環境	0	1	1
	ベンチなど休憩スペース	0	1	1
	その他の空間・サービス	0	2	2
	まちの活力創出	2	4	6
	人を惹きつける新しい魅力づくり	11	6	17
	まちの魅力発信	4	2	6
	その他	1	8	9

函館西部地区のまちづくりに関するアンケート調査 ご協力のお願い

平成30年8月

函館市都市建設部 まちづくり景観課

拝 啓

残夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より函館市の景観行政に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、函館市では西部地区再整備事業基本方針案作成に向けた検討を行うことといたしました。

当地区は、歴史的な街並みや美しい景観、多彩な観光施設があり、多くの観光客が訪れる函館市を象徴するエリアのひとつです。一方で、人口減少や高齢化により地域の活力が低下し、空家・空地が増加するなどの問題も起こっており、生活しやすい居住環境を整えるとともに、景観に配慮したまちづくりを進めていくことが課題となっています。

つきましては、お忙しいところを誠に恐縮ですが、市内の商業者の皆さまからのご意見を反映させたまちづくりを進めるため、アンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。

なお、本調査の実施につきましては、下記の業者へ委託しております。ご不明な点等ございましたら、下記までお問合せください。

敬 具

＊ ＊ このアンケート調査について ＊ ＊

- この調査票は、函館市内の小売・飲食・宿泊・サービスの各事業に関わる約1,100件の商業者の皆さまを対象として配布しています。
- ご回答は、あてはまる番号に○をつけるか、具体的な内容をご記入ください。
- 調査票へのご回答は統計的に処理し、店舗名等が特定される形で公表することはありません。
- ご記入後は、お手数ですが同封の封筒(切手不要)に入れ、

9月6日(木)までに ご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

(函館市) 都市建設部 まちづくり景観課 担当: 上田、林、石田

TEL 0138-21-3357

(問い合わせ先・業務受託者)

株式会社ノーザンクロス 担当: 常本、近藤、伊藤

TEL 011-232-3661 / FAX 011-232-4918

〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目3-1 第36 桂和ビル 7階

●店舗の概要についておうかがいします。

あてはまるもの1つ選んで○をつけてください。F1 については、町名をご記入ください。

F1 店舗の住所(※複数ある場合、封筒の宛名にある店舗の住所をお答えください)

町又は丁目

F2 事業内容(あてはまるもの全てに○)

1. 小売業 2. 飲食業 3. 宿泊業 4. サービス業(具体的に:)
5. その他()

F3 店舗の営業状況(あてはまるものを1つ選んで○)

1. ほぼ毎日営業 2. 週3～4日営業 3. 週1～2日営業
4. 現在は営業していない 5. その他()

F4 従業員数(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 1人 2. 2～9人 3. 10～49人 4. 50人以上

F5 開業してからのおおよその年数(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 5年未満 2. 5～10年未満 3. 10～30年未満 4. 30年以上 5. わからない

F6 店舗形態(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 土地・建物とも所有 2. 土地賃借、建物所有 3. 土地・建物とも賃借
4. ビルテナント 5. その他()

F7 店舗築年数(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 5年未満 2. 5～10年未満 3. 10～30年未満 4. 30年以上 5. わからない

F8 住宅併用状況(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 店舗のみ 2. 住宅と店舗の併用 3. その他()

F9 経営されている方の年代(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 20歳代以下 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

●駐車場についておうかがいします。

Q1 店舗の駐車場の状況と台数について、おうかがいします。

(あてはまるものを全て選んで○)

1. 店舗と併設して駐車場を所有・賃借している 2. 店舗と併設ではないが、駐車場を所有・賃借している 3. 提携している駐車場がある 4. 駐車場はない	→	Q1-1 合計約 台分
---	---	--

Q2 店舗の駐車場の規模について、どのように感じていますか。

(あてはまるものを1つ選んで○)

1.今のままでよい 2.できれば駐車台数を増やしたい 3.できれば駐車台数を減らしたい

●現在の経営状況と事業展開意向についておうかがいします。

Q3 今は、どのような客層が多いですか。また、今後はどのような客層を増やしていきたいとお考えですか。

Q3-1 <u>今の</u>主な客層 (あてはまるもの全てに○) 1. 徒歩圏内に住んでいる客 2. 函館市や函館近郊からの客 3. 道内・道外観光客 4. 外国人観光客 5. わからない	Q3-2 <u>今後</u>増やしたい主な客層 (あてはまるもの全てに○) 1. 徒歩圏内に住んでいる客 2. 函館市や函館近郊からの客 3. 道内・道外観光客 4. 外国人観光客 5. わからない
--	---

Q4 近年の売り上げの変化をお答えください。(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 増加した	2. 横ばい	3. 減少した	4. わからない
--------------------	-------------------	--------------------	---------------------

Q5 今後の事業展開について、どのようなお考えをお持ちですか。

(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 拡大 2. 現状維持 3. 縮小 4. 廃業 5. まだわからない

(「1」と回答した方のみ)

Q5-1 どのような事業展開をお考えですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 現在の店舗面積を広げたい
2. 店舗数を増やしたい
3. インターネットを活用した事業を展開したい
4. 他の事業に参入したい
5. その他()

Q6 近年、高齢者の生活支援や利用促進を目的として、事業者が以下のようなサービスを行う事例が全国で見られます。こうしたサービスを行うことに関心はありますか。

(あてはまるものを1つ選んで○)

(例) 無料送迎サービス : 利用者の送迎(病院、美容院、銭湯、など)

(例) 買い物サービス : 買い物代行、宅配(商店、商店街など)

1. 既に実施している(内容:)
2. 関心がある(内容:)
3. 関心はない

※ここからは、下の図に示す地区(入船町、船見町、弥生町、弁天町、大町、末広町、元町、青柳町、谷地頭町、住吉町、宝来町、豊川町)についておうかがいします。



Q7 あなたは、この地区にどのような印象をお持ちですか。(あてはまるもの全てに○)

(プラスの印象)	(マイナスの印象)
1. 函館の歴史と文化を感じられる	9. 空家や空地が多い
2. 閑静な住宅街がある	10. 人口が減少し、活気がない
3. 多くの観光客が訪れにぎやか	11. 観光客が多く騒々しい
4. 快適に暮らせて便利	12. 暮らすのに不便
5. 豊かな自然環境がある	13. 車で行きにくい
6. 地域住民同士のつながりが強い	14. 地域住民同士のつながりが強すぎる
7. 商業や産業が盛んで、にぎやか	15. 店舗等が少なくにぎわいに乏しい
8. 坂道のある景色に魅力を感じる	16. 坂道が多く不便
17. その他()	

Q8 この地区の課題を解決し、より魅力あるまちづくりを進めることは、函館市のまちづくりにとって必要だと思われますか。(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 必要だと思う
2. どちらかといえば、必要だと思う
3. どちらでもない
4. どちらかといえば、不要だと思う
5. 不要だと思う

Q9 あなたは、この地区において、どのようなまちづくりを進めることが必要だと思えますか。(あてはまるもの全てに○)

(空間)	1. 歴史性を活かし、景観を整えていくこと
	2. 道路などの公共空間を美しく整備すること
	3. 狭い土地や道路のない土地を活用できるようにすること
(にぎわい	4. お店を増やし、にぎわいを生み出すこと
・利便性)	5. 生活の利便性を向上させること
	6. 車で訪れやすい環境をつくること
(コミュニティ)	7. 地区に暮らす人を増やすこと
	8. 何度も訪れる地区のファンを増やすこと
	9. 地区のコミュニティを活性化すること
	10. その他(まちづくりのアイデアをご自由にお書きください。)
	()

Q10 この地区は、商業地としての魅力がありますか。

(5段階評価であてはまる番号を1つ選んで○)

	項 目	魅力度					ない わ か ら
		高い<—————>低い					
ア ク セ ス	Q10-1 公共交通でのアクセスが良い	5	4	3	2	1	0
	Q10-2 車でのアクセスが良い	5	4	3	2	1	0
集 客 性	Q10-3 人が集まる観光施設・スポットが多い	5	4	3	2	1	0
	Q10-4 周辺に住んでいる人が多い	5	4	3	2	1	0
印 象	Q10-5 街並み・景観が良い	5	4	3	2	1	0
	Q10-6 地域のイメージが良い	5	4	3	2	1	0
コ ス ト	Q10-7 駐車場を確保しやすい	5	4	3	2	1	0
	Q10-8 土地や建物にかかるコストが安い	5	4	3	2	1	0

Q11 自由記述(西部地区のまちづくりについて、ご自由にご意見をお書きください)

「西部地区リデザイン-サロン(仮)」のご案内

- ・函館市では、西部地区の今後のまちづくりを市民の皆さまとともに考える「西部地区リデザイン-サロン(仮)」を今秋から来春までに3回ほど開催する予定です。
- ・参加をご希望される方は以下の必要事項にご記入下さい。日程が決まり次第、個別にご案内させていただきます。
- ・なお、会場の広さに限りがあるため、応募多数の場合は抽選のうえご案内させていただきます。申し訳ありませんが、あらかじめご了承ください。

—————参加を希望される方は、以下をご記入ください—————

店舗名(_____)

お名前(_____) / 性別(男性・女性) / 年齢(_____歳)

ご住所(〒_____ - _____
函館市_____) /

お電話番号(_____) / FAX番号(_____) /

E-mailアドレス(_____@_____)

函館西部地区のまちづくりに関するアンケート調査 ご協力をお願い

平成30年8月

函館市都市建設部 まちづくり景観課

拝 啓

残夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より函館市の景観行政に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、函館市では西部地区再整備事業基本方針案作成に向けた検討を行うことといたしました。

当地区は、歴史的な街並みや美しい景観、多彩な観光施設があり、多くの観光客が訪れる函館市を象徴するエリアのひとつです。一方で、人口減少や高齢化により地域の活力が低下し、空家・空地が増加するなどの問題も起こっており、生活しやすい居住環境を整えるとともに、景観に配慮したまちづくりを進めていくことが課題となっています。

つきましては、お忙しいところを誠に恐縮ですが、市内の商業者の皆さまからのご意見を反映させたまちづくりを進めるため、アンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。

なお、本調査の実施につきましては、下記の業者へ委託しております。ご不明な点等ございましたら、下記までお問合せください。

敬 具

＊ ＊ このアンケート調査について ＊ ＊

- この調査票は、函館市内の小売・飲食・宿泊・サービスの各事業に関わる約1,100件の商業者の皆さまを対象として配布しています。
- ご回答は、あてはまる番号に○をつけるか、具体的な内容をご記入ください。
- 調査票へのご回答は統計的に処理し、店舗名等が特定される形で公表することはありません。
- ご記入後は、お手数ですが同封の封筒(切手不要)に入れ、

9月6日(木)までに ご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

(函館市) 都市建設部 まちづくり景観課 担当: 上田、林、石田

TEL 0138-21-3357

(問い合わせ先・業務受託者)

株式会社ノーザンクロス 担当: 常本、近藤、伊藤

TEL 011-232-3661 / FAX 011-232-4918

〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目3-1 第36 桂和ビル 7階

●店舗の概要についておうかがいします。

あてはまるもの1つ選んで○をつけてください。F1 については、町名をご記入ください。

F1 店舗の住所(※複数ある場合、封筒の宛名にある店舗の住所をお答えください)

町又は丁目

F2 事業内容(あてはまるもの全てに○)

1. 小売業 2. 飲食業 3. 宿泊業 4. サービス業(具体的に:)
5. その他()

F3 店舗の営業状況(あてはまるものを1つ選んで○)

1. ほぼ毎日営業 2. 週3～4日営業 3. 週1～2日営業
4. 現在は営業していない 5. その他()

F4 従業員数(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 1人 2. 2～9人 3. 10～49人 4. 50人以上

F5 開業してからのおおよその年数(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 5年未満 2. 5～10年未満 3. 10～30年未満 4. 30年以上 5. わからない

F6 店舗形態(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 土地・建物とも所有 2. 土地賃借、建物所有 3. 土地・建物とも賃借
4. ビルテナント 5. その他()

F7 店舗築年数(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 5年未満 2. 5～10年未満 3. 10～30年未満 4. 30年以上 5. わからない

F8 住宅併用状況(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 店舗のみ 2. 住宅と店舗の併用 3. その他()

F9 経営されている方の年代(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 20歳代以下 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

●駐車場についておうかがいします。

Q1 店舗の駐車場の状況と台数について、おうかがいします。

(あてはまるものを全て選んで○)

1. 店舗と併設して駐車場を所有・賃借している 2. 店舗と併設ではないが、駐車場を所有・賃借している 3. 提携している駐車場がある 4. 駐車場はない	Q1-1 合計約 台分
---	--

Q2 店舗の駐車場の規模について、どのように感じていますか。

(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 今のままでよい 2. できれば駐車台数を増やしたい 3. できれば駐車台数を減らしたい

●現在の経営状況と事業展開意向についておうかがいします。

Q3 今は、どのような客層が多いですか。また、今後はどのような客層を増やしていきたいとお考えですか。

Q3-1 <u>今の</u>主な客層 (あてはまるもの全てに○) 1. 徒歩圏内に住んでいる客 2. 函館市や函館近郊からの客 3. 道内・道外観光客 4. 外国人観光客 5. わからない	Q3-2 <u>今後</u>増やしたい主な客層 (あてはまるもの全てに○) 1. 徒歩圏内に住んでいる客 2. 函館市や函館近郊からの客 3. 道内・道外観光客 4. 外国人観光客 5. わからない
---	--

Q4 近年の売り上げの変化をお答えください。(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 増加した 2. 横ばい 3. 減少した 4. わからない

Q5 今後の事業展開について、どのようなお考えをお持ちですか。

(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 拡大 2. 現状維持 3. 縮小 4. 廃業 5. まだわからない

(「1」と回答した方のみ)

Q5-1 どのような事業展開をお考えですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 現在の店舗面積を広げたい
2. 店舗数を増やしたい
3. インターネットを活用した事業を展開したい
4. 他の事業に参入したい
5. その他()

Q6 近年、高齢者の生活支援や利用促進を目的として、事業者が以下のようなサービスを行う事例が全国で見られます。こうしたサービスを行うことに関心はありますか。

(あてはまるものを1つ選んで○)

(例) 無料送迎サービス : 利用者の送迎(病院、美容院、銭湯、など)

(例) 買い物サービス : 買い物代行、宅配(商店、商店街など)

1. 既に実施している(内容:)
2. 関心がある(内容:)
3. 関心はない

※ここからは、下の図に示す地区(入船町、船見町、弥生町、弁天町、大町、末広町、元町、青柳町、谷地頭町、住吉町、宝来町、豊川町)についておうかがいします。



Q7 あなたは、この地区にどのような印象をお持ちですか。(あてはまるもの全てに○)

(プラスの印象)	(マイナスの印象)
1. 函館の歴史と文化を感じられる	9. 空家や空地が多い
2. 閑静な住宅街がある	10. 人口が減少し、活気がない
3. 多くの観光客が訪れにぎやか	11. 観光客が多く騒々しい
4. 快適に暮らせて便利	12. 暮らすのに不便
5. 豊かな自然環境がある	13. 車で行きにくい
6. 地域住民同士のつながりが強い	14. 地域住民同士のつながりが強すぎる
7. 商業や産業が盛んで、にぎやか	15. 店舗等が少なくにぎわいに乏しい
8. 坂道のある景色に魅力を感じる	16. 坂道が多く不便
17. その他()	

Q8 この地区の課題を解決し、より魅力あるまちづくりを進めることは、函館市のまちづくりにとって必要だと思われますか。(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 必要だと思う
2. どちらかといえば、必要だと思う
3. どちらでもない
4. どちらかといえば、不要だと思う
5. 不要だと思う

Q9 あなたは、この地区において、どのようなまちづくりを進めることが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

(空間)	1. 歴史性を活かし、景観を整えていくこと
	2. 道路などの公共空間を美しく整備すること
	3. 狭い土地や道路のない土地を活用できるようにすること
(にぎわい	4. お店を増やし、にぎわいを生み出すこと
・利便性)	5. 生活の利便性を向上させること
	6. 車で訪れやすい環境をつくること
(コミュニティ)	7. 地区に暮らす人を増やすこと
	8. 何度も訪れる地区のファンを増やすこと
	9. 地区のコミュニティを活性化すること
	10. その他(まちづくりのアイデアをご自由にお書きください。)
	()

Q10 この地区は、商業地としての魅力がありますか。

(5段階評価であてはまる番号を1つ選んで○)

	項 目	魅力度					ない わ か ら
		高い<—————>低い					
ア ク セ ス	Q10-1 公共交通でのアクセスが良い	5	4	3	2	1	0
	Q10-2 車でのアクセスが良い	5	4	3	2	1	0
集 客 性	Q10-3 人が集まる観光施設・スポットが多い	5	4	3	2	1	0
	Q10-4 周辺に住んでいる人が多い	5	4	3	2	1	0
印 象	Q10-5 街並み・景観が良い	5	4	3	2	1	0
	Q10-6 地域のイメージが良い	5	4	3	2	1	0
コ ス ト	Q10-7 駐車場を確保しやすい	5	4	3	2	1	0
	Q10-8 土地や建物にかかるコストが安い	5	4	3	2	1	0

Q11 この地域での事業展開にご関心はありますか。(あてはまるものを1つ選んで○)

1. 既に店舗等がある
2. 関心がある
3. どちらかといえば、関心がある
4. どちらでもない
5. どちらかといえば、関心がない
6. 関心がない

(Q11 で「5」「6」を選んだ方のみ)

Q11-1 「関心がない」と答えた主な理由は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 現在の事業で満足しているから
2. 交通アクセスが良くないから
3. この地域の集客力に魅力がないから
4. この地域のイメージが良くないから
5. 土地や建物にかかるコストが高いから
6. その他()

(「2」「3」を選んだ方のみ)

Q11-2 「関心がある」と答えた主な理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 公共交通でのアクセスが良いから
2. 車でのアクセスが良いから
3. 人が集まる観光施設・スポットが多いから
4. 周辺に住んでいる人が多いから
5. 街並み・景観が良いから
6. 地域のイメージが良いから
7. 駐車場を確保しやすいから
8. 土地や建物にかかるコストが安いから
9. その他()

Q11-3 どのような条件があれば、具体的に事業展開を進めようと思われませんか。

1. 希望に合った物件が見つかること
 2. 任せられる人材が見つかること
 3. 資金繰りのめどがつくこと
 4. 周辺住民や地元事業者の理解を得られること
 5. その他
- ()

Q11-4(「1」を選んだ方のみ)

希望する条件を具体的に:

()

※次のページへ続きます⇒

Q12 自由記述(西部地区のまちづくりについて、ご自由にご意見をお書きください)

「西部地区リデザイン-サロン(仮)」のご案内

- ・函館市では、西部地区の今後のまちづくりを市民の皆さまとともに考える「西部地区リデザイン-サロン(仮)」を今秋から来春までに3回ほど開催する予定です。
- ・参加をご希望される方は以下の必要事項にご記入下さい。日程が決まり次第、個別にご案内させていただきます。
- ・なお、会場の広さに限りがあるため、応募多数の場合は抽選のうえご案内させていただきます。申し訳ありませんが、あらかじめご了承ください。

—————参加を希望される方は、以下をご記入ください—————

店舗名(_____)

お名前(_____) / 性別(男性 ・ 女性) / 年齢(_____歳)

ご住所(〒_____) /
函館市_____) /

お電話番号(_____) / FAX番号(_____) /

E-mailアドレス(_____@_____)

(3) 首都圏居住者

〈調査の概要〉

調査方法：アンケート調査（インターネット調査、㈱楽天インサイト）

調査期間：平成 30 年 9 月 19 日～9 月 21 日

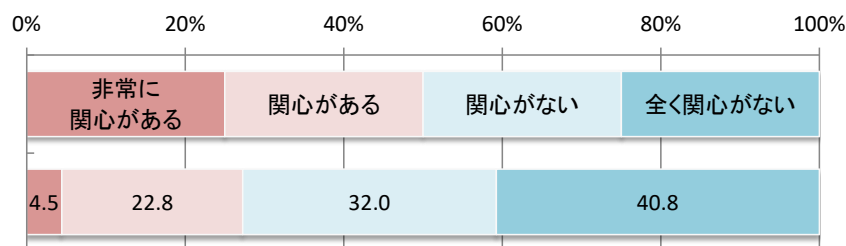
調査対象：首都圏（東京、神奈川、千葉、埼玉）に居住する 20 歳以上 70 歳未満の男女 20,000 サンプルを対象とした予備調査にて「函館市への移住や長期滞在に関心がある」と答えた回答者のうち、調査対象として 500 サンプルを抽出した。

〈調査結果〉

○予備調査（N=19,999 ※対象 20,000 件のうち、1 件無効回答）

Q 函館市への移住や長期間滞在に関心がありますか。（SA）

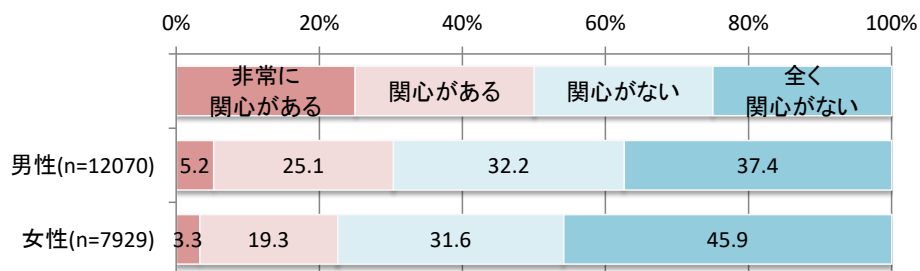
首都圏居住者の約 1/4 が、函館市への移住や長期滞在に関心を持っている。



函館市への移住・長期滞在への関心（N=19,999）

〈男女別〉

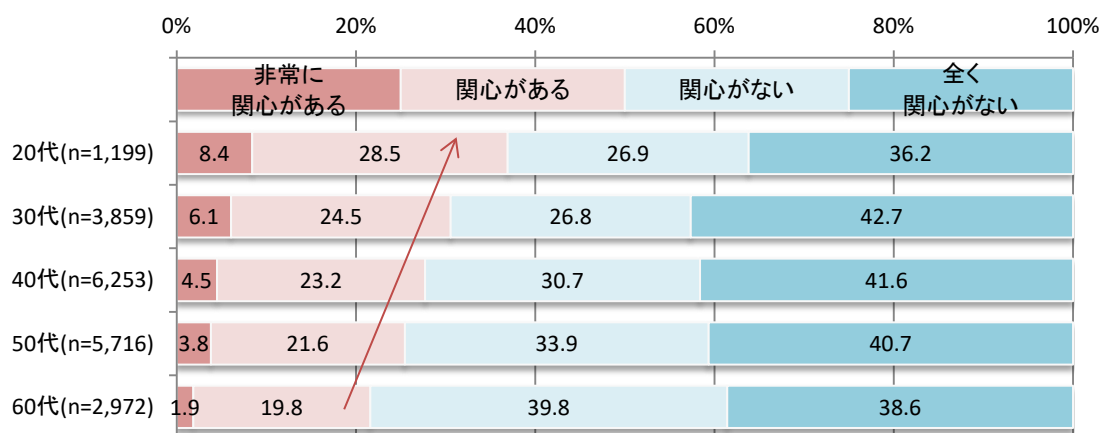
女性に比べ男性のほうが「非常に興味がある」「興味がある」の割合が高い。女性では 4 割強が「全く興味がない」と回答している。



函館市への移住・長期滞在への関心（男女別）

〈年代別〉

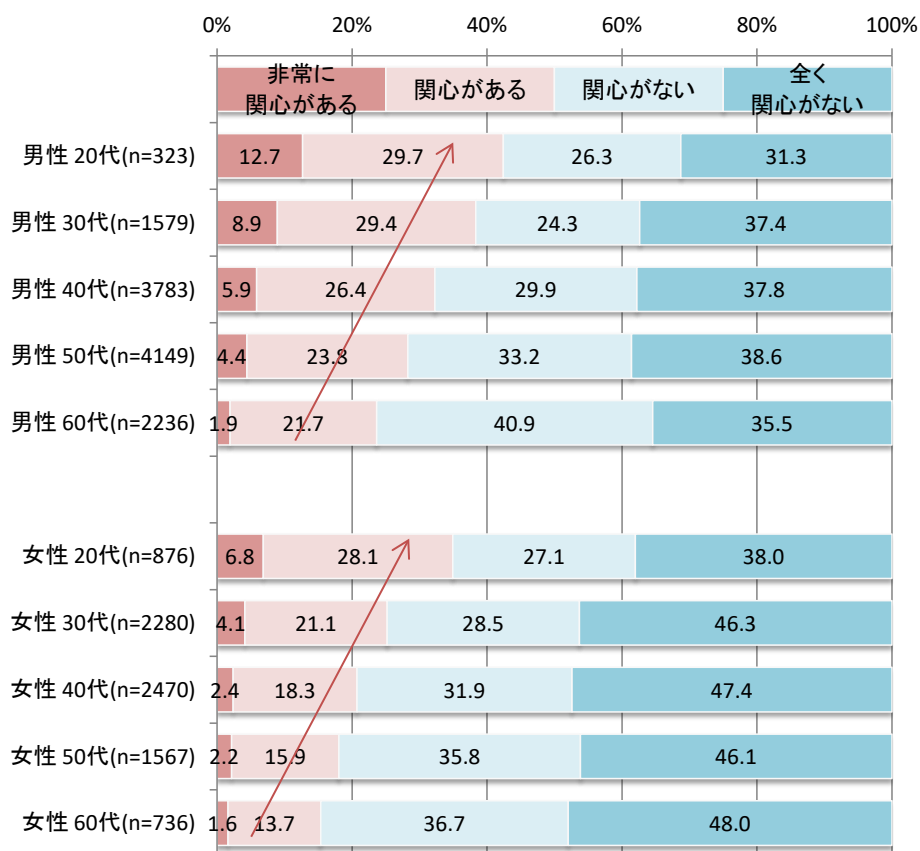
年代が下がるほど「非常に興味がある」「興味がある」の割合が高くなる傾向がみられた。



函館市への移住・長期滞在の関心（年代別）

〈性年代別〉

男女とも、年代が下がるほど「非常に興味がある」「興味がある」の割合が高くなる傾向がみられた。いずれの年代も、女性に比べ男性の関心が高い。



函館市への移住・長期滞在への関心（性年代別）

○本調査（N=500）

予備調査で函館市への移住や長期滞在に「非常に関心がある」「関心がある」を選択した回答者のうち、500 サンプルを調査対象として抽出した。

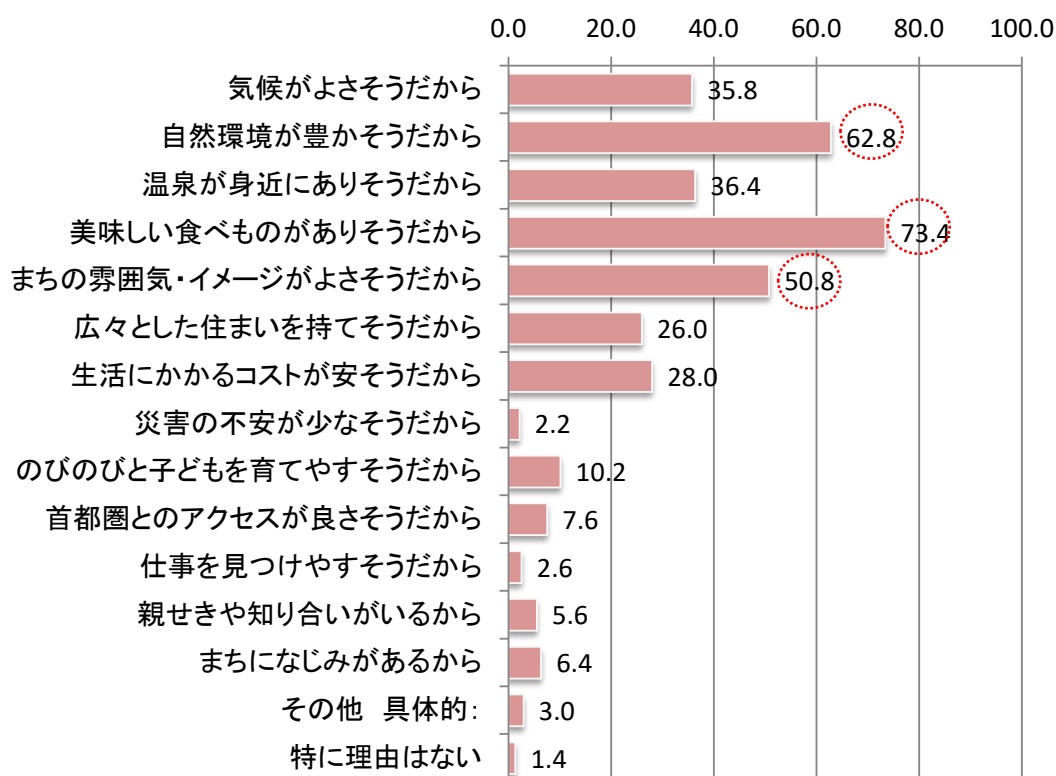
抽出は、「非常に関心がある」「関心がある」を選択した回答者の男女構成比・年代構成比に応じて行った。

1 函館市への移住・長期滞在への意向

（関心のある理由）

Q1 函館市での移住や長期滞在に「関心がある」と答えた理由は何ですか。（MA）

「美味しい食べものがありそうだから」の回答率が最も高く 73.4%、次いで「自然環境が豊かだから（62.8%）」、「まちなぎ・イメージが良さそうだから（50.8%）」の順となっている。



函館市への移住・長期滞在に関心がある理由（N=500）

〈男女別〉

「温泉が身近にありそうだから」では、女性に比べ男性の回答率が高くなっている。

函館市への移住・長期滞在に関心がある理由（男女別）

	n	気候がよさそうだから	自然環境が豊かそうだから	温泉が身近にありそうだから	美味しい食べものがあるから	まちなぎみがあるから	生活にかかるコストが安いから	災害の不安が少なそうだから	のびのびと子どもを育てやすそうだから	首都圏とのアクセスが良さそうだから	仕事をを見つけやすそうだから	親せきや知り合いがいるから	まちなぎみがあるから
全体	500	35.8	62.8	36.4	73.4	50.8	26.0	2.2	10.2	7.6	2.6	5.6	6.4
男性	342	36.0	62.3	42.1	73.7	51.2	24.9	2.6	7.9	7.9	2.3	5.0	6.1
女性	158	35.4	63.9	24.1	72.8	50.0	28.5	1.3	15.2	7.0	3.2	7.0	7.0

※ ■全体平均+10pt 以上 ■全体平均+5p 以上 ■全体平均-5p 以下 ■全体平均-10pt 以下

〈年代別〉

20代、30代では「のびのびと子どもを育てやすそうだから」の回答率が高い。

「温泉が身近にありそうだから」「美味しい食べものがありそうだから」では、年代が上がるほど回答率が高くなる傾向がみられた。

函館市への移住・長期滞在に関心がある理由（年代別）

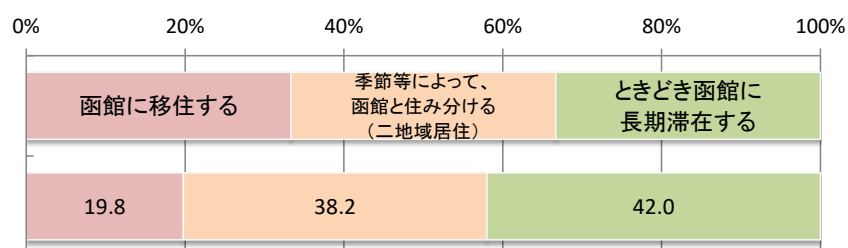
	n	気候がよさそうだから	自然環境が豊かそうだから	温泉が身近にありそうだから	美味しい食べものがあるから	まちなぎみがあるから	生活にかかるコストが安いから	災害の不安が少なそうだから	のびのびと子どもを育てやすそうだから	首都圏とのアクセスが良さそうだから	仕事をを見つけやすそうだから	親せきや知り合いがいるから	まちなぎみがあるから
全体	500	35.8	62.8	36.4	73.4	50.8	26.0	2.2	10.2	7.6	2.6	5.6	6.4
20代	36	38.9	61.1	25.0	63.9	52.8	27.8	5.6	19.4	11.1	5.6	8.3	2.8
30代	98	43.9	66.3	29.6	65.3	36.7	29.6	2.0	24.5	9.2	2.0	3.1	3.1
40代	142	37.3	65.5	33.8	78.2	58.5	28.2	2.8	11.3	4.9	2.8	6.3	6.3
50代	141	34.0	59.6	41.8	71.6	50.4	26.2	1.4	2.8	7.1	3.5	5.0	9.2
60代	83	25.3	60.2	44.6	81.9	54.2	16.9	1.2	0.0	9.6	0.0	7.2	7.2

※ ■全体平均+10pt 以上 ■全体平均+5p 以上 ■全体平均-5p 以下 ■全体平均-10pt 以下

(移住・長期滞在先で希望するライフスタイル)

Q2 函館に移住・長期滞在をする場合、どのような暮らし方が望ましいですか。(SA)

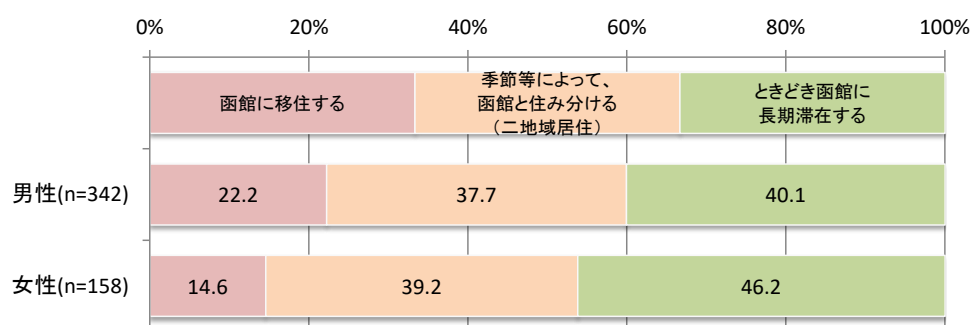
「ときどき函館に長期滞在する」「二地域居住」の割合がそれぞれ約 4 割、「函館に移住する」の割合は約 2 割だった。



希望するライフスタイル (N=500)

〈男女別〉

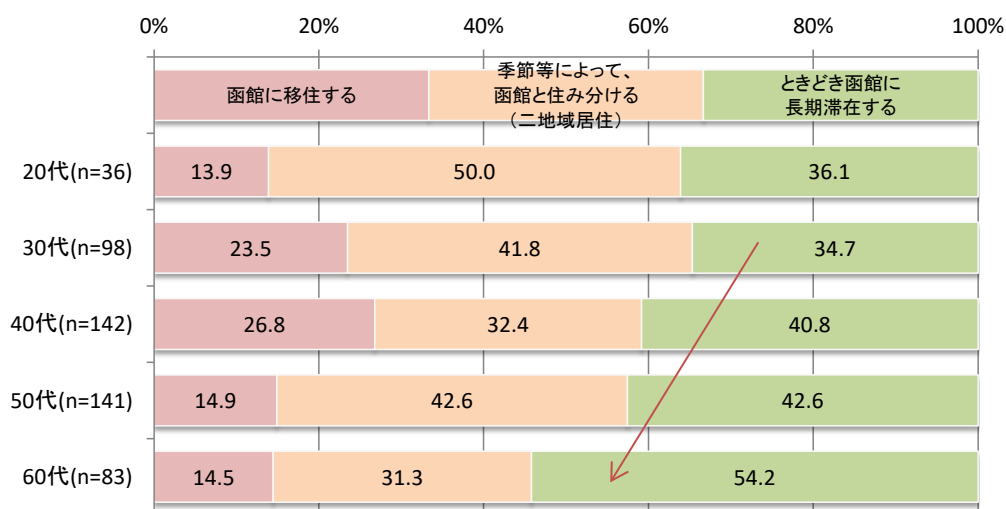
女性に比べ男性では「函館に移住する」の割合が高く、男女間で差がみられた。



希望するライフスタイル (男女別)

〈年代別〉

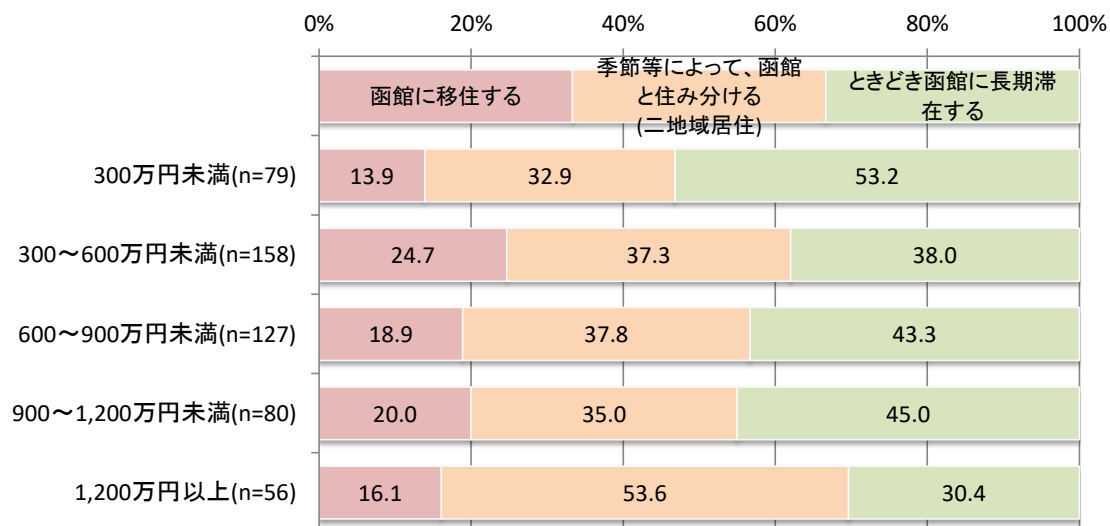
30代以上では、年代が上がるほど「ときどき函館に長期滞在する」の割合が高くなる傾向がみられた。30代、40代では「函館に移住する」の割合が他に比べ高くなっている。



希望するライフスタイル（年代別）

〈世帯年収別〉

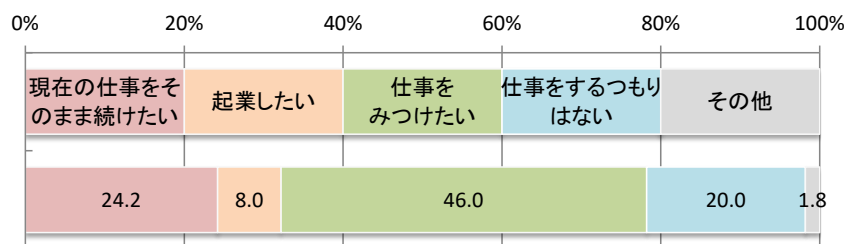
300万円未満では「長期滞在」、1200万円以上では「二地域居住」の割合が高く、過半数を超えている。



希望するライフスタイル（世帯年収別）

Q3 函館に移住・長期滞在をする場合、現在のご自身の仕事について、どのようにしたいですか。(SA)

「仕事をみつきたい」の割合が最も高く 46.0%、次いで「現在の仕事をそのまま続けたい」、「仕事をするつもりはない」の順となった。全体の約 8 割が、仕事を続ける意向を持っている。



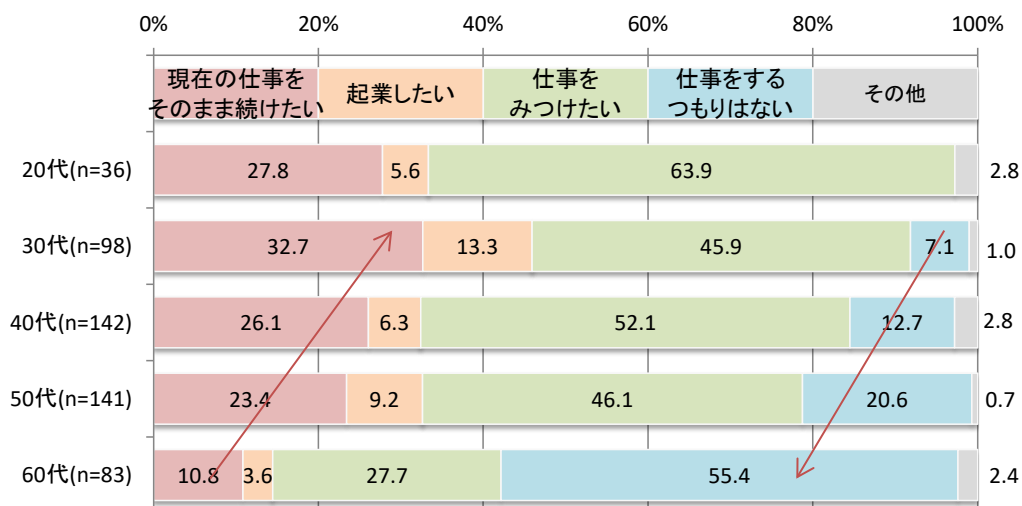
希望する仕事の仕方 (N=500)

〈男女別〉

大きな差はみられなかった。

〈年代別〉

30 代以上では、年代が下がるほど「現在の仕事をそのまま続けたい」の割合が高くなる傾向がみられる。また、年代が上がるほど「仕事をするつもりはない」の割合が高くなる傾向がみられ、60 代では過半数を占めている。

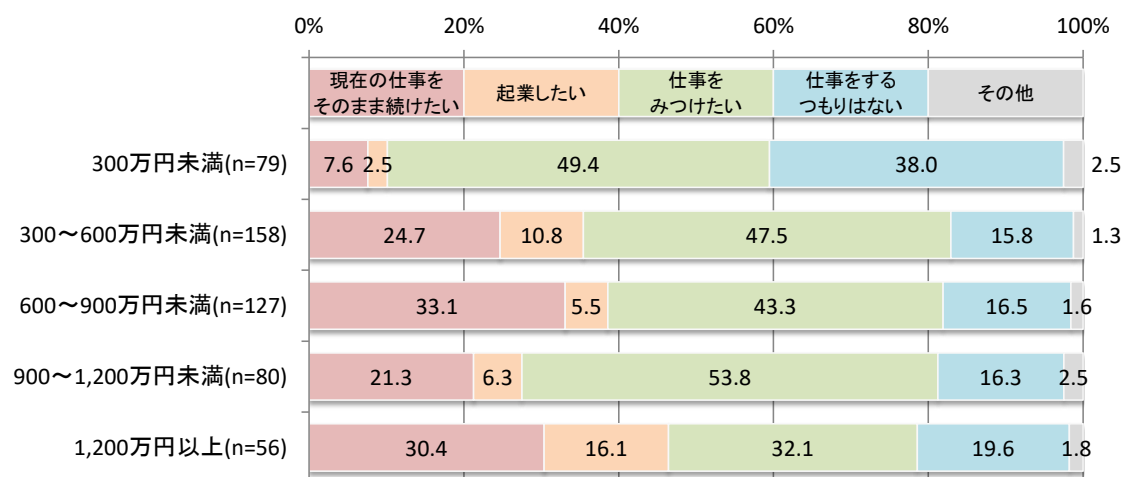


希望する仕事の仕方 (年代別)

〈年収別〉

年収が 300 万円未満では「仕事をするつもりがない」の割合が他に比べ高いが、60 代以上のリタイア層が多いと考えられる。

年収が 300 万円以上では、いずれも 2～3 割が「現在の仕事をそのまま続けたい」と回答している。

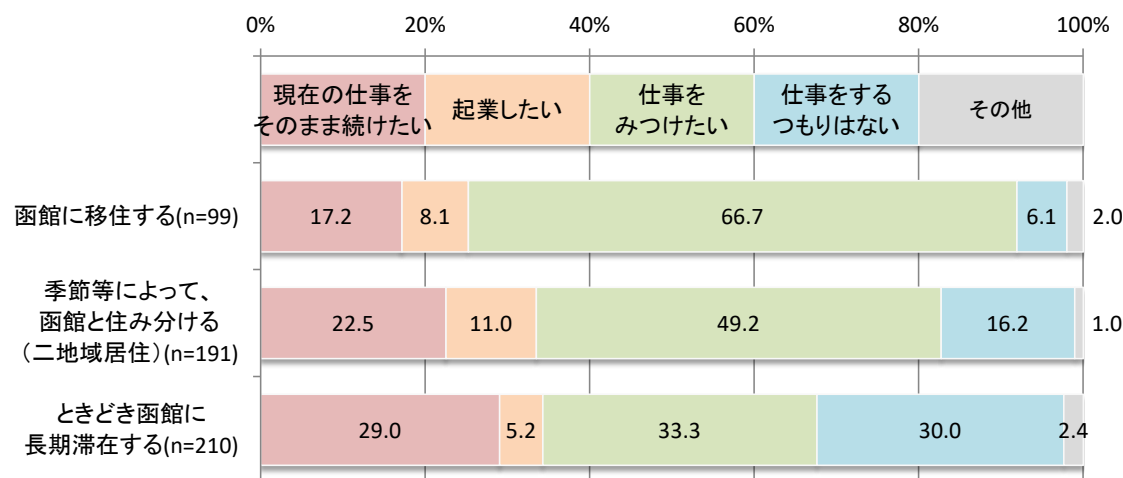


希望する仕事の仕方（年収別）

〈希望するライフスタイル別（Q2）〉

“移住”、“二地域居住”、“長期滞在”とも、“函館で新たに「仕事を見つけたい」の割合が最も高く、特に“移住”を選択した回答者では 7 割を占めている。

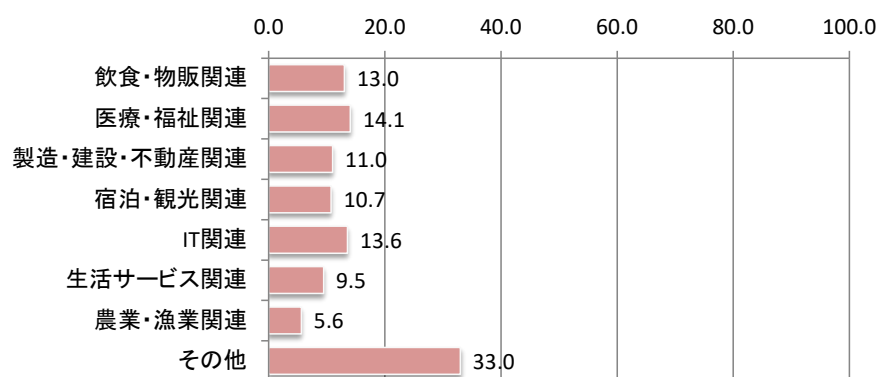
“二地域居住”、“長期滞在”を選択した回答者では、「現在の仕事をそのまま続けたい」の割合が 2 割程度を占めている。



希望する仕事の仕方（希望するライフスタイル別）

Q4 (Q3 で「現在の仕事をそのまま続けたい」、「起業したい」「仕事をみつけない」を選
 択した回答者のみ) どのような仕事内容をお考えですか。(MA)

「その他」を除くと「医療・福祉関連」の回答率が最も高いが、「農業・漁業関連」以外
 はいずれも 1 割程度と、多岐にわたっている。



希望する仕事内容 (n=391)

「その他」としては、下表に示すような記述があった。

希望する仕事の仕方 (その他内訳)

クリエイティブ系 (アート、音楽、編集など)	14
専門職 (弁護士、土地建物取引士、保育士、美容師など)	12
教育	10
経理、事務職	7
インターネット関係	5
コンサルタント	5
保険	5
建設、ビル管理	5
公務員	4
タクシー、運送業	4
投資	3
その他	24
まだわからない	28

〈年代別〉

20代、30代では「医療・福祉関連」の回答率が高い。

希望する仕事内容（年代別）

	n	飲食・物販関連	医療・福祉関連	製造・建設・不動産関連	宿泊・観光関連	IT関連	生活サービス関連	農業・漁業関連	その他
全体	391	13.0	14.1	11.0	10.7	13.6	9.5	5.6	33.0
20代	35	20.0	25.7	2.9	11.4	8.6	5.7	0.0	28.6
30代	90	14.4	24.4	8.9	7.8	11.1	11.1	1.1	32.2
40代	120	8.3	9.2	15.0	11.7	15.8	7.5	7.5	35.0
50代	111	12.6	8.1	9.0	12.6	16.2	12.6	9.0	33.3
60代	35	20.0	11.4	17.1	8.6	8.6	5.7	5.7	31.4

※ ■全体平均+10pt 以上 ■全体平均+5p 以上 ■全体平均-5p 以下 ■全体平均-10pt 以下

〈希望するライフスタイル（Q2）別〉

“函館に移住する”を選択した回答者では、「製造・建設・不動産関連」及び「農業・漁業関連」の回答率が他に比べ高く、1割以上となっている。

希望する仕事内容（希望するライフスタイル別）

	n	飲食・物販関連	医療・福祉関連	製造・建設・不動産関連	宿泊・観光関連	IT関連	生活サービス関連	農業・漁業関連	その他
全体	391	13.0	14.1	11.0	10.7	13.6	9.5	5.6	33.0
函館に移住する	91	11.0	16.5	19.8	11.0	15.4	11.0	12.1	26.4
季節等によって、函館と住み分ける（二地域居住）	158	12.7	15.2	9.5	11.4	13.9	8.2	4.4	32.9
ときどき函館に長期滞在する	142	14.8	11.3	7.0	9.9	12.0	9.9	2.8	37.3

※ ■全体平均+10pt 以上 ■全体平均+5p 以上 ■全体平均-5p 以下 ■全体平均-10pt 以下

〈希望する仕事のスタイル（Q3）別〉

“現在の仕事をそのまま続けたい”を選択した回答者では「その他」の回答率が、“起業したい”を選択した回答者では「IT関連」の回答率が高かった。

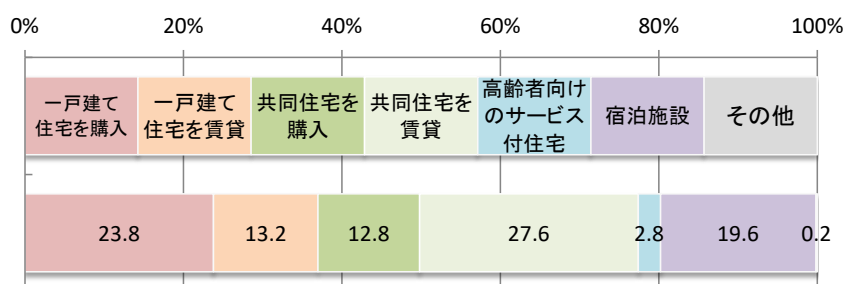
希望する仕事内容（希望する仕事の仕方別）

	n	飲食・物販関連	医療・福祉関連	製造・建設・不動産関連	宿泊・観光関連	IT関連	生活サービス関連	農業・漁業関連	その他
全体	391	13.0	14.1	11.0	10.7	13.6	9.5	5.6	33.0
現在の仕事をそのまま続けたい	121	7.4	10.7	11.6	3.3	18.2	7.4	3.3	44.6
起業したい	40	17.5	15.0	7.5	10.0	27.5	10.0	2.5	20.0
仕事をみつけない	230	15.2	15.7	11.3	14.8	8.7	10.4	7.4	29.1

※ ■ 全体平均+10pt 以上 ■ 全体平均+5p 以上 ■ 全体平均-5p 以下 ■ 全体平均-10pt 以下

Q5 函館では、どのような住まいに暮らしたいですか。（SA）

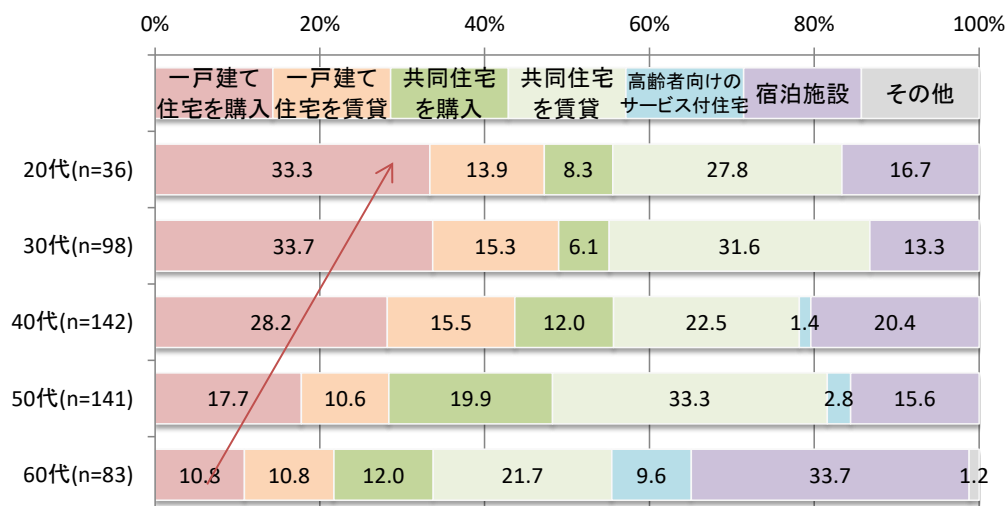
「共同住宅を賃貸」の割合が最も高く 27.6%、次いで「一戸建て住宅を購入（23.8%）」、「宿泊施設（19.6%）」の順となっている。



希望する住宅の建て方（N=500）

〈年代別〉

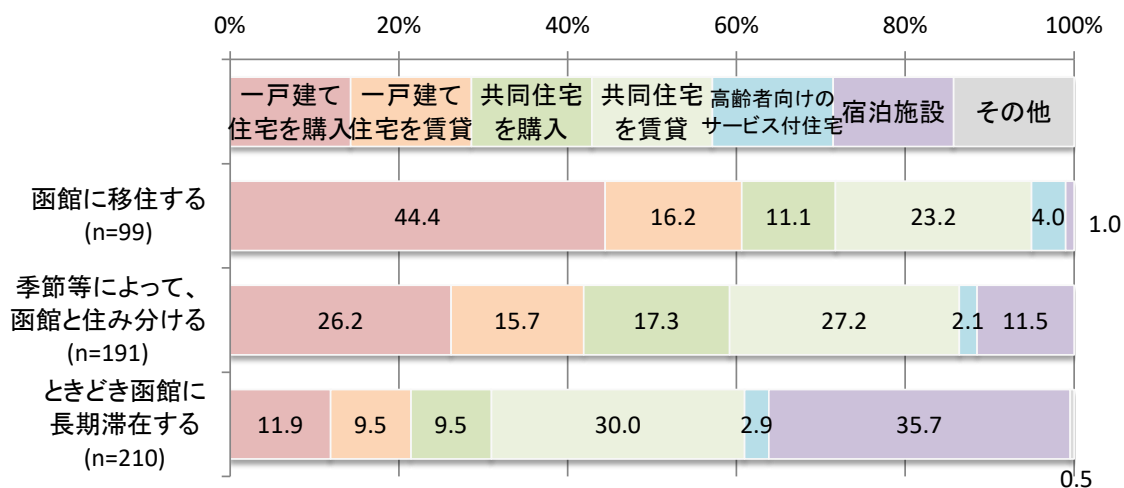
年代が低いほど「一戸建て住宅を購入」の割合が高くなる傾向がみられ、20代、30代では約3割を占める。50代では「共同住宅を賃貸」、60代では「宿泊施設」の割合が最も高い。



希望する住宅の建て方（年代別）

〈希望するライフスタイル別（Q2）〉

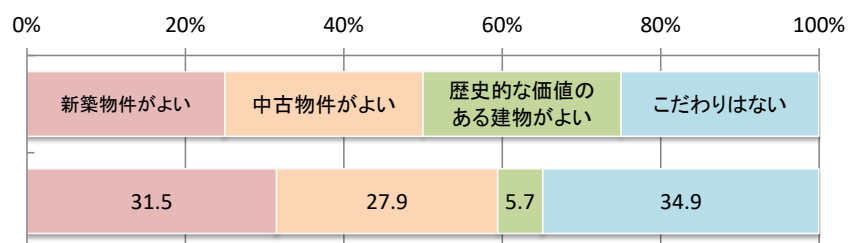
“移住”を選択した回答者では、「一戸建て住宅を購入」の割合が、“長期滞在”を選択した回答者では「宿泊施設」の割合が高くなっている。



希望する住宅の建て方（希望するライフスタイル別）

Q6 (Q5で「一戸建て住宅を購入」「一戸建て住宅を賃貸」「共同住宅を購入」「共同住宅を賃貸」を選択した方のみ) どのような建物に暮らしたいですか。(SA) (n=387)

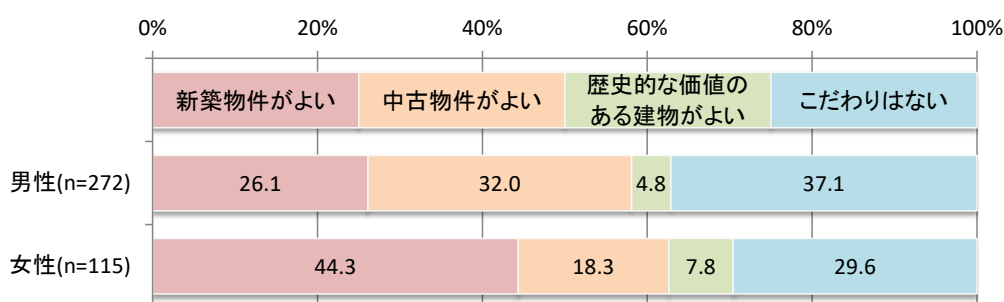
「こだわりはない」の割合が最も高く 34.9%、次いで「新築物件がよい (31.5%)」、「中古物件がよい (27.9%)」の順となっている。「歴史的な価値のある建物がよい」の割合も 5.7%あった。



希望する住まい (N=500)

〈男女別〉

女性では男性に比べ「新築物件がよい」の割合が高く、約 4 割を占めている。

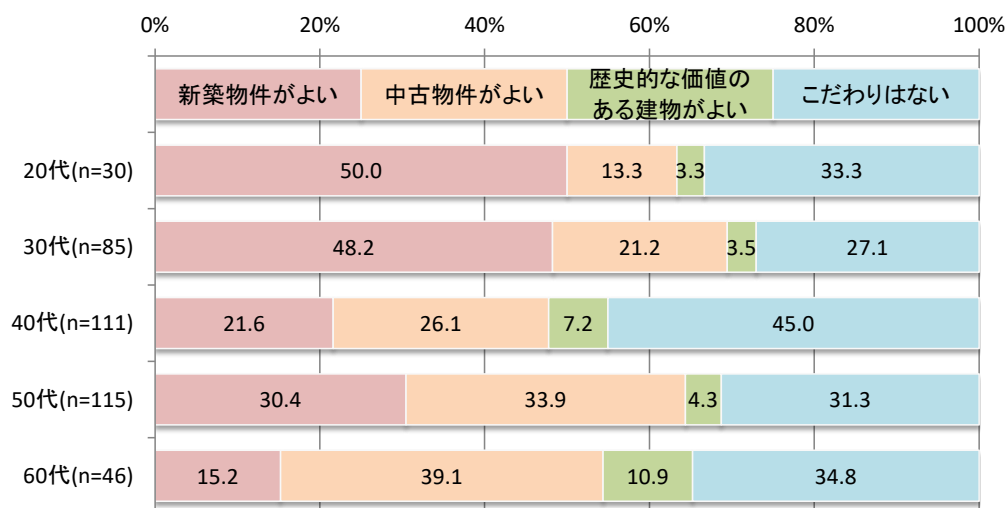


希望する住まい (男女別)

〈年代別〉

20代、30代では「新築物件がよい」の割合が高く、約半数を占めている。

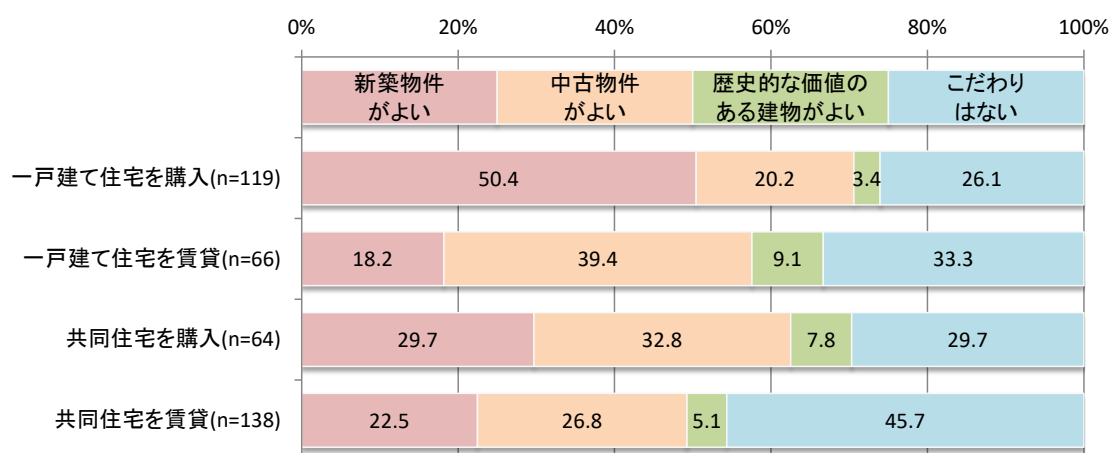
「中古物件がよい」の割合は、年代が上がるほど高くなる傾向がみられた。「歴史的な価値のある建物がよい」は60代で他世代に比べるとやや高く、1割となっている。



希望する住まい（年代別）

〈希望する住まい別（Q5）〉

“一戸建て住宅を購入”を選択した回答者では、「新築物件がよい」の割合が、“共同住宅を賃貸”を選択した回答者では「こだわりはない」の割合が高く、ほぼ半数を占めている。

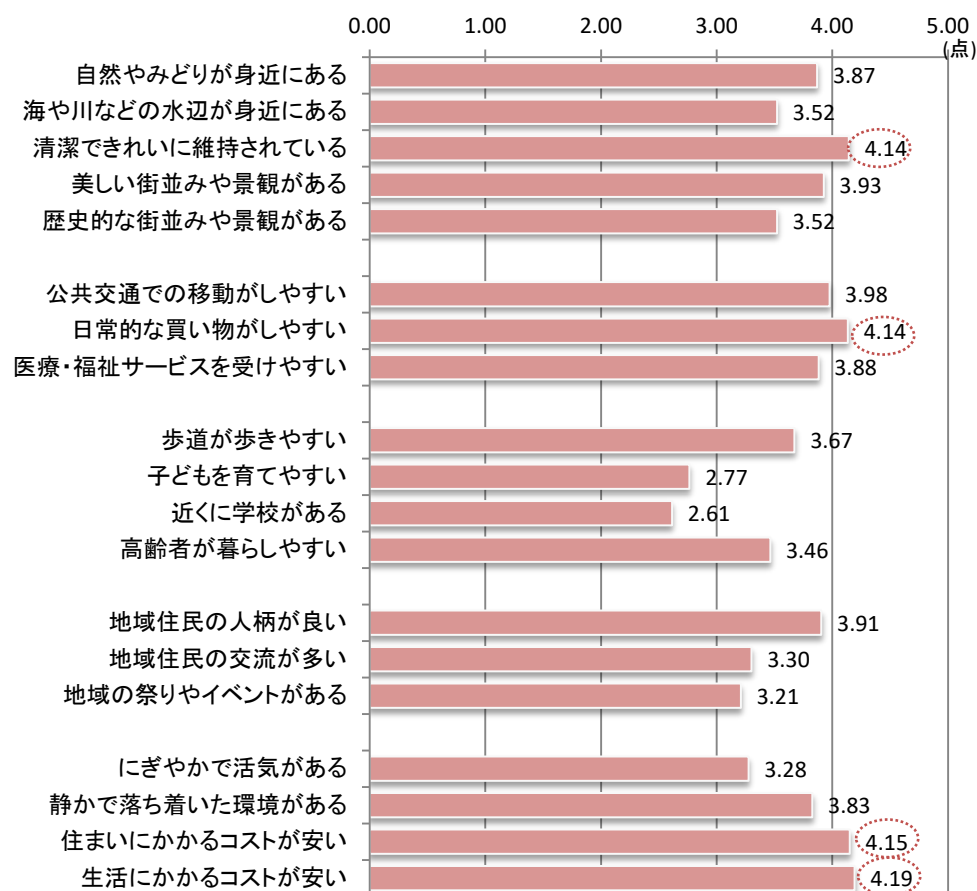


希望する住まい（希望する住宅の建て方別）

(移住・長期滞在先に求める要素と課題)

Q7 移住先の身近な生活環境に、どのようなことを求めますか。(必要度を 0～5 点で評価、
グラフの数値は平均値) (SA 加工)

平均値は、「生活にかかるコストが安い」が最も高く 4.19 点、次いで「住まいにかかるコストが安い (4.15 点)」、「清潔できれいに維持されている (4.14 点)」、「日常的な買い物がしやすい (4.14 点)」の順となった。



移住・長期滞在先の身近な生活環境に求める要素 (N=500)

〈男女別〉

女性では男性に比べ「公共交通での移動がしやすい」「歩道が歩きやすい」及び「子どもを育てやすい」「近くに学校がある」の平均値が全体平均に比べ高い。

〈年代別〉

「子どもを育てやすい」「近くに学校がある」「地域住民の人柄が良い」は、年代が下がるほど平均値が高くなる傾向がみられた。

移住・長期滞在先の身近な生活環境に求める要素（男女別、年代別）

	n	自然やみどりが身近にある	海や川などの水辺が身近にある	清潔できれいに維持されている	美しい街並みや景観がある	歴史的な街並みや景観がある	公共交通での移動がしやすい	日常的な買い物がしやすい	医療・福祉サービスを受けやすい	歩道が歩きやすい
全体	500	3.9	3.5	4.1	3.9	3.5	4.0	4.1	3.9	3.7
男性	342	3.8	3.5	4.0	3.9	3.5	3.8	4.0	3.7	3.5
女性	158	3.9	3.5	4.4	4.0	3.6	4.4	4.4	4.2	4.0
20代	36	3.9	3.6	4.3	4.2	3.4	4.0	4.4	3.9	3.8
30代	98	3.9	3.6	4.3	4.0	3.7	4.1	4.2	4.0	3.9
40代	142	3.8	3.4	4.1	3.8	3.4	3.9	4.1	3.9	3.5
50代	141	3.8	3.5	4.1	3.9	3.5	4.0	4.1	3.9	3.6
60代	83	4.0	3.7	4.1	4.0	3.7	3.9	4.1	3.7	3.6

移住・長期滞在先の身近な生活環境に求める要素（男女別、年代別）

n		子どもを育てやすい	近くに学校がある	高齢者が暮らしやすい	良い	地域住民の人柄が多い	地域住民の交流が	地域の祭りやイベントがある	にぎやかで活気がある	静かで落ち着いた環境がある	住まいにかかるコストが安い	生活にかかるコストが安い
全体	500	2.8	2.6	3.5	3.9	3.3	3.2	3.3	3.8	4.2	4.2	4.2
男性	342	2.6	2.5	3.4	3.8	3.2	3.1	3.2	3.8	4.1	4.1	4.1
女性	158	3.2	3.0	3.6	4.2	3.5	3.4	3.5	4.0	4.3	4.4	4.4
20代	36	3.9	3.6	3.2	4.4	3.6	3.5	3.6	4.1	4.4	4.5	4.5
30代	98	3.9	3.7	3.4	4.1	3.6	3.6	3.6	4.0	4.3	4.3	4.3
40代	142	2.8	2.6	3.3	3.8	3.2	3.1	3.2	3.8	4.1	4.1	4.1
50代	141	2.2	2.1	3.6	3.8	3.3	3.1	3.1	3.8	4.2	4.2	4.2
60代	83	1.8	1.7	3.8	3.7	3.1	3.0	3.2	3.7	4.0	4.0	4.0

※ ■ 全体平均+0.5以上 ■ 全体平均+0.3以上 ■ 全体平均-0.3以下 ■ 全体平均-0.5以下

〈希望する職業別（Q4）〉

希望する職業別にみると、“その他”では「自然やみどり」「海や川などの水辺」の平均値が、“医療・福祉関連”では「子どもを育てやすい」「近くに学校がある」の平均値が、“宿泊・観光関連”では「地域住民の交流が多い」の平均値が、全体に比べ高かった。

移住・長期滞在先の身近な生活環境に求める要素（希望する職業別）

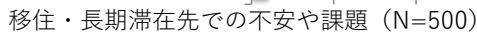
	n	自然やみどりが身近にある	海や川などの水辺が身近にある	清潔できれいに維持されている	美しい街並みや景観がある	歴史的な街並みや景観がある	公共交通での移動がしやすい	日常的な買い物がしやすい	医療・福祉サービスを受けやすい	歩道が歩きやすい
全体	500	3.9	3.5	4.1	3.9	3.5	4.0	4.1	3.9	3.7
飲食・物販関連	51	3.9	3.5	4.1	3.9	3.5	4.0	4.1	3.9	3.7
医療・福祉関連	55	4.0	3.6	4.2	4.0	3.6	4.1	4.3	4.0	4.0
製造・建設・不動産関連	43	3.9	3.6	4.3	4.1	3.7	4.3	4.3	4.2	4.1
宿泊・観光関連	42	3.9	3.5	3.9	3.7	3.5	3.6	4.0	3.8	3.4
IT 関連	53	4.0	3.6	4.3	4.1	3.7	3.9	4.2	4.1	3.6
生活サービス関連	37	4.1	3.8	4.1	3.9	3.5	3.9	4.0	3.7	3.6
農業・漁業関連	22	3.7	3.5	4.1	3.7	3.2	3.9	4.2	3.9	3.8
その他	129	4.4	4.0	4.2	4.0	3.5	4.0	4.5	4.2	3.7

移住・長期滞在先の身近な生活環境に求める要素（希望する職業別）

	n	子どもを育てやすい	近くに学校がある	高齢者が暮らしやすい	地域住民の人柄が良好	地域住民の交流が多い	地域の祭りやイベントがある	地域で活気があ	静かで落ち着いた環境がある	住まいにかかるコストが安い
全体	500	2.8	2.6	3.5	3.9	3.3	3.2	3.3	3.8	4.2
飲食・物販関連	51	2.8	2.7	3.6	4.1	3.2	3.2	3.3	3.9	4.3
医療・福祉関連	55	3.7	3.4	3.5	4.3	3.6	3.5	3.5	4.0	4.4
製造・建設・不動産関連	43	3.1	3.0	3.4	3.6	3.4	3.2	3.1	3.9	4.0
宿泊・観光関連	42	3.0	2.8	3.6	4.3	3.8	3.6	3.6	4.0	4.4
IT 関連	53	3.0	2.8	3.3	3.9	3.2	3.3	3.3	3.8	4.0
生活サービス関連	37	2.8	2.7	3.4	4.1	3.5	3.4	3.4	3.7	4.3
農業・漁業関連	22	2.2	2.2	3.9	4.3	3.6	3.6	2.9	4.0	4.5
その他	129	2.8	2.7	3.4	4.0	3.3	3.1	3.3	3.9	4.2

※ ■ 全体平均+0.5 以上 ■ 全体平均+0.3 以上 ■ 全体平均-0.3 以下 ■ 全体平均-0.5 以下

「希望に合った住まいがみつかるか」「希望に合った仕事が見つかるか」「買い物など、生活環境が整っているか」「寒さや雪などの気候に順応できるか」の4項目で、回答率が5割を超えている。



女性では男性に比べ「寒さや雪などの気候に順応できるか」など複数の項目で回答率が高くなっている。

「希望に合った仕事が見つかるか」「寒さや雪などの気候に順応できるか」は、年代が下がるほど回答率が高くなる傾向がみられた。

	n	希望に合った仕事が見つかるか	希望に合った住まいが見つかるか	希望する医療や福祉サービスを受けられるか	整っているか	買い物など、生活環境が	応でできるか	寒さや雪などの気候に順	築けるか	新しい土地で人間関係が	その他 具体的に..	特にな
全体	500	53.0	55.8	31.8	53.2	51.0	38.8	2.2	4.0			
男性	342	54.1	56.4	29.2	50.9	45.3	35.7	2.0	5.0			
女性	158	50.6	54.4	37.3	58.2	63.3	45.6	2.5	1.9			
20代	36	58.3	61.1	27.8	50.0	61.1	38.9	2.8	2.8			
30代	98	67.3	53.1	26.5	50.0	57.1	34.7	3.1	3.1			
40代	142	63.4	54.9	33.1	58.5	54.9	41.5	2.8	4.2			
50代	141	51.1	56.7	31.2	49.6	41.8	38.3	2.1	4.3			
60代	83	19.3	56.6	38.6	55.4	48.2	39.8	0.0	4.8			

106

〈希望するライフスタイル別（Q2）〉

“移住”を選択した回答者では、「希望に合った仕事が見つかるか」の回答率が特に高く、7割を占める。

移住・長期滞在先での不安や課題（希望するライフスタイル別）

	n	希望に合った仕事が見つかるか	希望に合った住まいがあるか	希望する医療や福祉サービスを受けられるか	希望する生活環境が整っているか	買い物など、生活環境が整っているか	寒さや雪などの気候に順応できるか	築けるか	新しい土地で人間関係が築けるか	その他 具体的に…	特になし
全体	500	53.0	55.8	31.8	53.2	51.0	38.8	2.2	4.0		
函館に移住する	99	75.8	58.6	34.3	54.5	46.5	36.4	2.0	2.0		
季節等によって、函館と住み分ける（二地域居住）	191	51.3	55.0	26.7	48.7	49.2	37.2	2.1	3.7		
ときどき函館に長期滞在する	210	43.8	55.2	35.2	56.7	54.8	41.4	2.4	5.2		

2 函館西部地区への関心

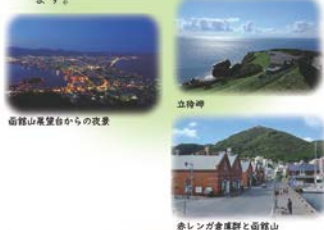
※下図を閲覧のうえ回答

豊かな自然環境

※函館市は、北海道としては降雪量が少なく比較的穏やかな気候のまちです。

※西部地区は、山頂展望台からの夜景が有名な函館山を有し、海に囲まれた自然豊かな地区です。

※函館を代表する温泉のひとつである谷地頭温泉があるほか、車で10～20分の距離には湯の川温泉などもあり、気軽に温泉を楽しむことができます。



函館山展望台からの夜景

立降峠

赤レンガ倉庫群と函館山

住まい・暮らし

※地区内の宅地の基準地標準価格は、坪単価で約9.4～16.7万円（平成29年度地価調査）。

※長期滞在可能なプランを提供する「ちょっと暮らしin函館」など、移住や長期滞在を支援する各種施策が整っています。

※移住を検討されている方の相談から移住後の暮らしのサポートまでをワンストップで対応する「移住サポートセンター」が地区内にあり、移住者同士の交流なども行われています。



大正12年創建の建物を再利用した函館市地域交流まちづくりセンター



函館市西部地区

異国情緒あふれる独特の町並みと豊かな自然環境に囲まれた、約13,000人が暮らす地区です。



異国情緒あふれる町並み

※この地区は「函館発祥の地」であり、開拓使函館支庁が置かれた地区です。

※対外貿易港として栄えた歴史から異国情緒豊かな町並み景観や観光スポットが多くあり、毎年多くの観光客が訪れています。



旧函館区公会堂（重要文化財）

ハリストス正教会（重要文化財）

現在がカフェとして活用されている太刀川家住宅店舗（重要文化財）

生活利便性

※小中学校、認定こども園や幼稚園が複数あり、子育てしやすいエリアです。

※スーパーマーケット、コンビニエンスストアも複数あり、日用品の買い物には困りません。

※総合病院や診療所もあり、いざという時も安心して暮らせます。

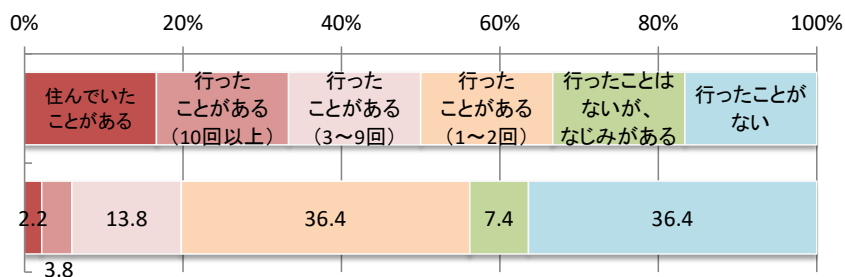
※函館駅へは路面電車で10～20分。函館空港へは車で20～30分と、他都市へのアクセスも便利です。



路面電車

Q9 あなたは、この地区になじみがありますか。(SA)

「住んでいたことがある」「(1回以上) 行ったことがある」を合わせた割合は6割弱だった。

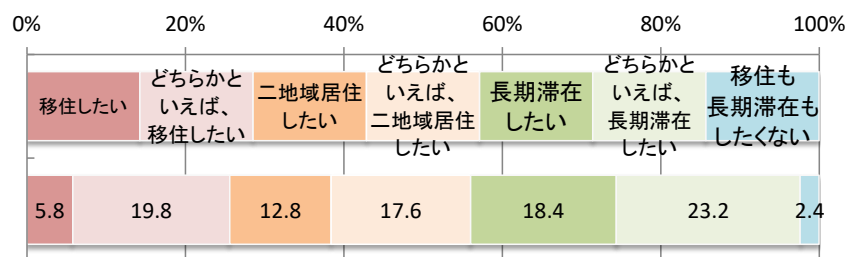


対象地区とのなじみ (N=500)

Q10 あなたは、地区の紹介ページをご覧になって、この地区に移住や長期滞在をしたいと思いましたか。(SA)

「移住も長期滞在もしたくない」の割合は2.4%と低い。

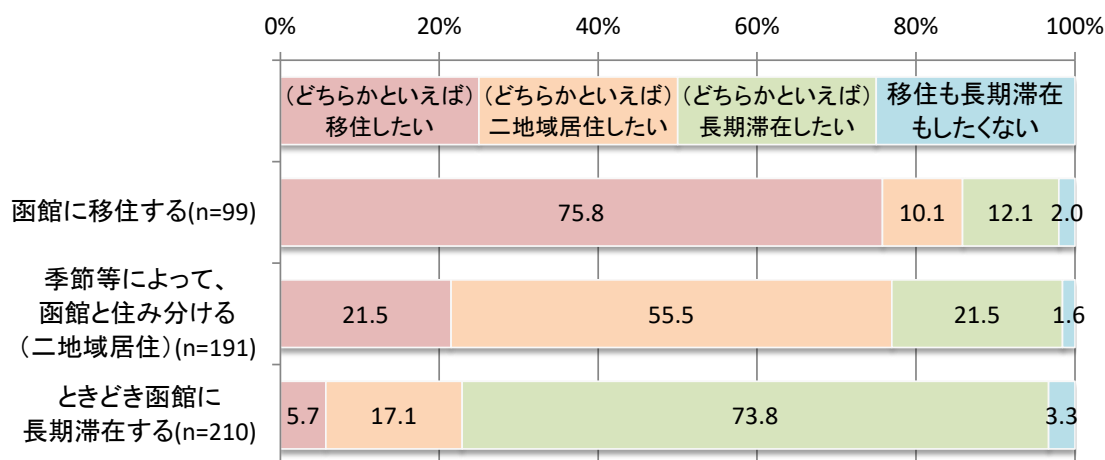
「長期滞在したい」「どちらかといえば、長期滞在したい」を合わせた割合は41.6%、「二地域居住したい」「どちらかといえば、二地域居住したい」を合わせた割合は30.4%、「移住したい」「どちらかといえば、移住したい」を合わせた割合は25.6%となっている。



対象地区での移住・長期滞在の希望 (N=500)

〈函館で希望するライフスタイル別 (Q2)〉

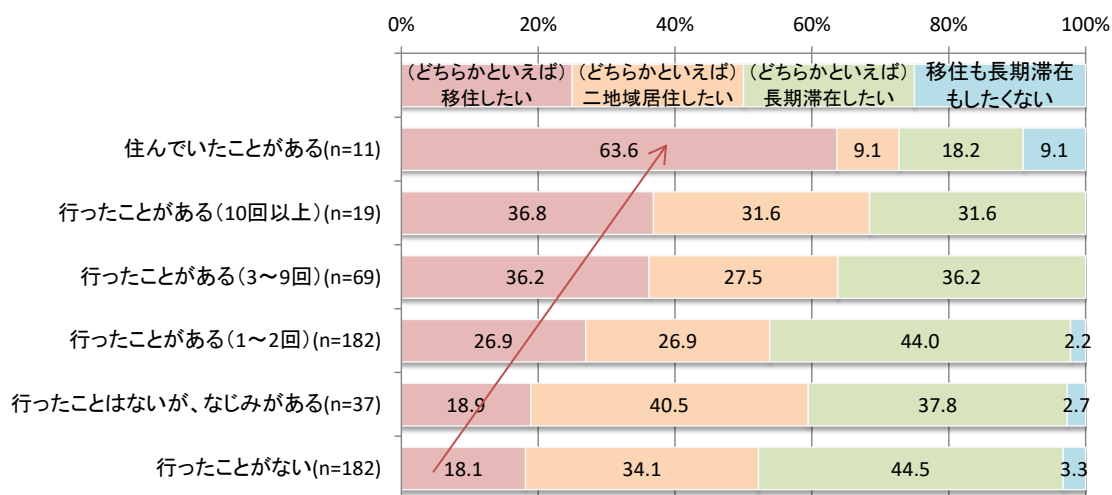
函館で希望するライフスタイル別にみると、“函館に移住する”を選択した人では、西部地区へも「(どちらかといえば) 移住したい」の割合が高く、3/4 を占める。



対象地区での移住・長期滞在の希望 (希望するライフスタイル別)

〈地区とのなじみ別（Q9）〉

地区とのなじみが強いほど、「移住したい」「どちらかといえば移住したい」の割合が高くなる傾向がみられた。

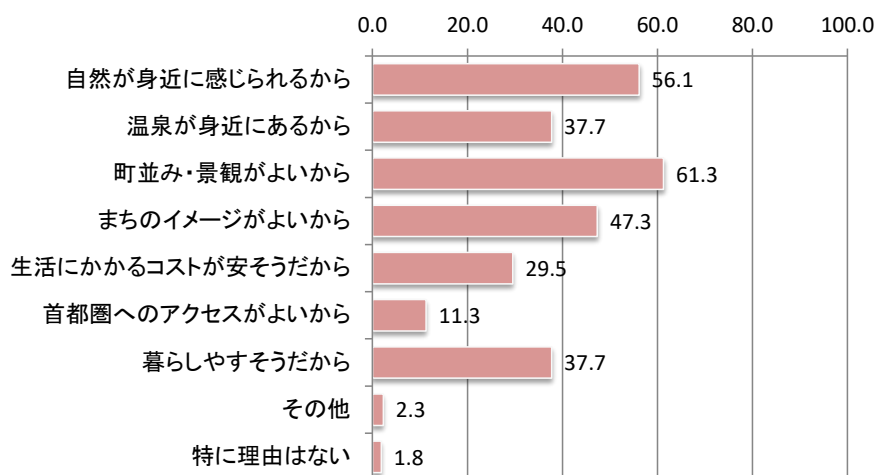


対象地区での移住・長期滞在の希望（地区とのなじみ別）

Q11 （Q10で「移住も長期滞在もしたくない」を選択していない回答者のみ）

「移住や長期滞在をしたい」と答えた理由は何ですか。（MA）

「町並み・景観がよいから」の回答率が最も高く 61.3%、次いで「自然が身近に感じられるから（56.1%）」、「まちのイメージがよいから（47.3%）」などの順となっている。



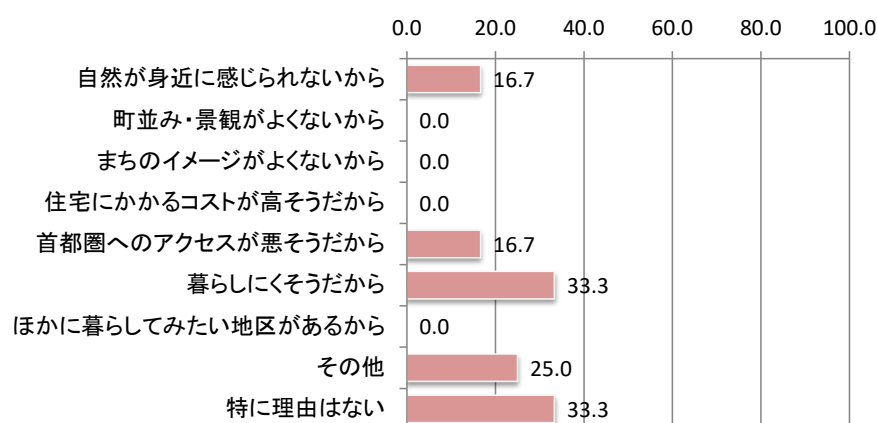
対象地区での移住・長期滞在に関心がある理由（n=481）

Q12 (Q10で「移住も長期滞在もしたくない」を選択した回答者のみ)

「移住も長期滞在もしたくない」と答えた理由は何ですか。(MA)

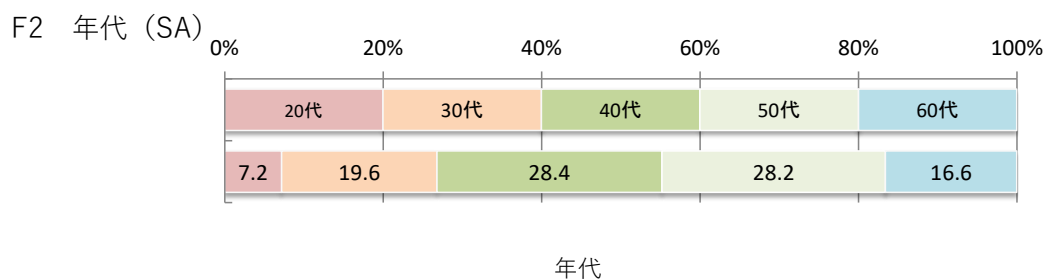
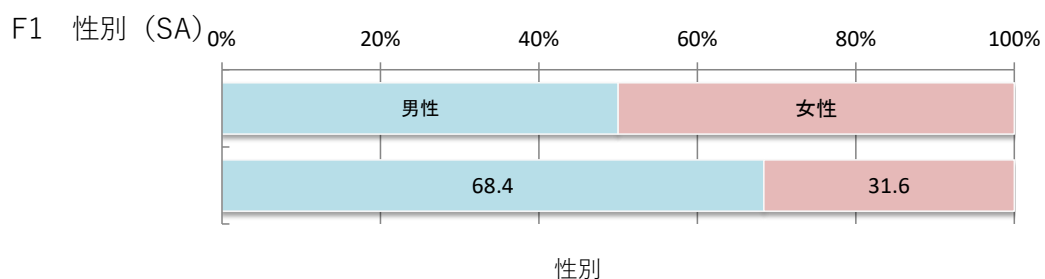
回答者数が少ないが、「暮らしにくそうだから」の回答率が3割を占めている。

「その他」としては、『チラシから魅力を感じない』『今のままで』『仕事が無さそう』の回答があった。

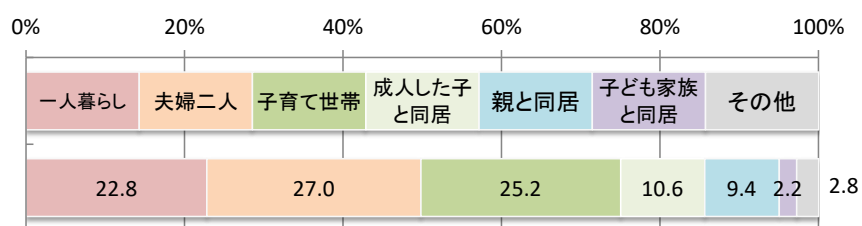


対象地区での移住・長期滞在に関心がない理由 (n = 12)

3 属性

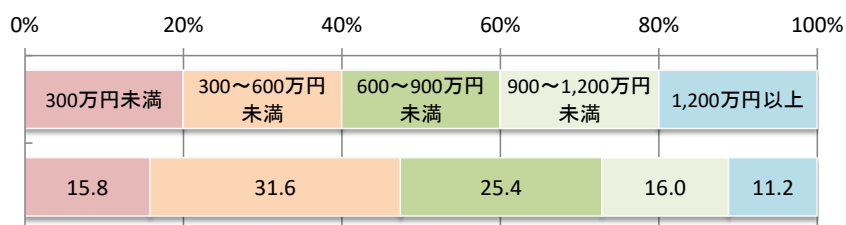


F2 同居家族（MA 加工）



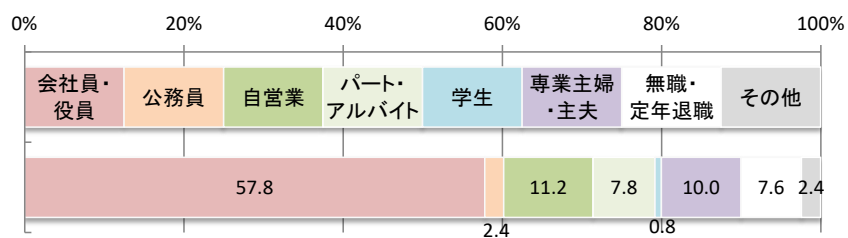
同居家族

F3 世帯年収（SA）



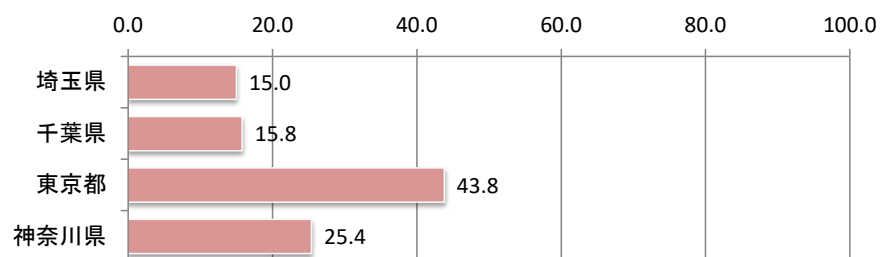
世帯年収

F4 職業（SA）



職業

F5 居住地（SA）



居住地

(参考) 首都圏居住者調査票

【予備調査】

S1 首都圏居住者(東京、神奈川、千葉、埼玉)

S2 20 歳以上 70 歳未満

S3 函館市への移住や長期間滞在に関心がある

(以下の「1」及び「2」の回答者 500 サンプルを本調査対象とする)

1. 非常に関心がある 2. 関心がある 3. 関心がない 4. 全く関心がない

【本調査】

(関心のある理由)

Q1 函館市での移住や長期滞在に「関心がある」と答えた理由は何ですか。

(あてはまるもの全て選択)

1. 気候がよさそうだから
2. 自然環境が豊かそうだから
3. 温泉が身近にありそうだから
4. 美味しい食べものがありそうだから
5. まちの雰囲気・イメージがよさそうだから
6. 広々とした住まいを持てそうだから
7. 生活にかかるコストが安そうだから
8. 災害の不安が少なそうだから
9. のびのびと子どもを育てやすそうだから
10. 首都圏とのアクセスが良さそうだから
11. 仕事を見つけやすそうだから
12. 親せきや知り合いがいるから
13. まちになじみがあるから
14. その他(具体的:)
15. 特に理由はない

(移住・長期滞在先でのライフスタイル)

Q2 函館に移住・長期滞在をする場合、どのような暮らし方が望ましいですか。

(あてはまるものを1つ選択)

1. 函館に移住する
2. 季節等によって、函館と住み分ける(二地域居住)
3. ときどき函館に長期滞在する

Q3 函館に移住・長期滞在をする場合、現在のご自身の仕事について、どのようにしたいですか。

(あてはまるものを1つ選択)

1. 現在の仕事をそのまま続けたい
2. 起業したい
3. 仕事をみつけない
4. 仕事をするつもりはない
5. その他(具体的に:)

Q4 (Q3 で「1」「2」「3」を選択した方のみ)どのような仕事内容をお考えですか。

(あてはまるもの全て)

1. 飲食・物販関連 (具体的に:)
2. 医療・福祉関連 (具体的に:)
3. 製造・建設・不動産関連 (具体的に:)
4. 宿泊・観光関連 (具体的に:)
5. IT関連 (具体的に:)
6. 生活サービス関連 (具体的に:)
7. 農業・漁業関連 (具体的に:)
8. その他()

Q5 函館では、どのような住まいに暮らしたいですか。

(あてはまるものを1つ選択)

1. 一戸建て住宅を購入
2. 一戸建て住宅を賃貸
3. 共同住宅(マンション、アパートなど)を購入
4. 共同住宅(マンション、アパートなど)を賃貸
5. 高齢者向けのサービス付住宅
6. 宿泊施設(ウィークリーマンション、ゲストハウスなど)
7. その他(具体的に:)

Q6 (Q5 で「1」「2」「3」「4」を選択した方のみ)どのような建物に暮らしたいですか。

(あてはまるものを1つ選択)

1. 新築物件がよい
2. 中古物件がよい
3. 歴史的な価値のある建物がよい
4. こだわりはない

(移住・長期滞在先に求める要素と課題)

Q7 移住先の身近な生活環境に、どのようなことを求めますか。必要度を 5 段階評価でお答えください(5段階評価であてはまる番号をひとつ選択)

	項 目	必要度					なわ い か ら
		高い ← → 低い					
自然・景観	Q7-1 自然やみどりが身近にある	5	4	3	2	1	0
	Q7-2 海や川などの水辺が身近にある	5	4	3	2	1	0
	Q7-3 清潔できれいに維持されている	5	4	3	2	1	0
	Q7-4 美しい街並みや景観がある	5	4	3	2	1	0
	Q7-5 歴史的な街並みや景観がある	5	4	3	2	1	0
利便性	Q7-6 公共交通での移動がしやすい	5	4	3	2	1	0
	Q7-7 日常的な買い物がしやすい	5	4	3	2	1	0
	Q7-8 医療・福祉サービスを受けやすい	5	4	3	2	1	0
安全・安心	Q7-9 歩道が歩きやすい	5	4	3	2	1	0
	Q7-10 子どもを育てやすい	5	4	3	2	1	0
	Q7-11 近くに学校がある	5	4	3	2	1	0
	Q7-12 高齢者が暮らしやすい	5	4	3	2	1	0
地域交流	Q7-13 地域住民の人柄が良い	5	4	3	2	1	0
	Q7-14 地域住民の交流が多い	5	4	3	2	1	0
	Q7-15 地域の祭りやイベントがある	5	4	3	2	1	0
快適性	Q7-16 にぎやかで活気がある	5	4	3	2	1	0
	Q7-17 静かで落ち着いた環境がある	5	4	3	2	1	0
	Q7-18 住まいにかかるコストが安い	5	4	3	2	1	0
	Q7-19 生活にかかるコストが安い	5	4	3	2	1	0

Q8 移住や長期滞在を実現する際の不安、課題は何ですか。(あてはまるもの全て選択)

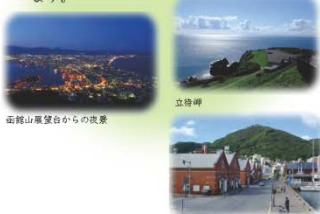
1. 希望に合った仕事が見つかるか
2. 希望に合った住まいが見つかるか
3. 希望する医療や福祉サービスを受けられるか
4. 買い物など、生活環境が整っているか
5. 寒さや雪などの気候に順応できるか
6. 新しい土地で人間関係が築けるか
7. その他(具体的に:)
8. 特にない

※ここからは、函館市西部地区の紹介ページをご覧ください。また、お問い合わせください。

◎西部地区の紹介はこちら

豊かな自然環境

- *函館市は、北海道としては降雪量が少なく比較的穏やかな気候のまちです。
- *西部地区は、山頂展望台からの夜景が有名な函館山を有し、海に囲まれた自然豊かな地区です。
- *函館を代表する温泉のひとつである谷地頭温泉があるほか、車で10～20分の距離には湯の川温泉などもあり、気軽に温泉を楽しめます。



住まい・暮らし

- *地区内の宅地の基準地標準価格は、坪単価で約9.4～16.7万円(平成29年度地価調査)。
- *長期滞在可能なプランを提供する「ちょっと暮らしin函館」など、移住や長期滞在を支援する各種施策が整っています。
- *移住を検討されている方の相談から移住後の暮らしのサポートまでをワンストップで対応する「移住サポートセンター」が地区内にあり、移住者同士の交流なども行われています。



大正12年創建の建物を再利用した函館市地域交流まちづくりセンター



函館市西部地区

異国情緒あふれる独特の町並みと豊かな自然環境に囲まれた、約13,000人が暮らす地区です。



異国情緒あふれる町並み

- *この地区は「函館発祥の地」であり、開拓使函館支庁が置かれた地区です。
- *対外貿易港として栄えた歴史から異国情緒豊かな町並み景観や観光スポットが多くあり、毎年多くの観光客が訪れています。



生活利便性

- *小中学校、認定こども園や幼稚園が複数あり、子育てしやすいエリアです。
- *スーパーマーケット、コンビニエンスストアも複数あり、日用品の買い物は困りません。
- *総合病院や診療所もあり、いざという時も安心して暮らせます。
- *函館駅へは路面電車10～20分、函館空港へは車で20～30分と、他都市へのアクセスも便利です。



路面電車

Q9 あなたは、この地区になじみがありますか。(あてはまるものを1つ選択)

1. 住んでいたことがある
2. 行ったことがある(10回以上)
3. 行ったことがある(3～9回)
4. 行ったことがある(1～2回)
5. 行ったことはないが、なじみがある
6. 行ったことがない

Q10 あなたは、地区の紹介ページをご覧になって、この地区に移住や長期滞在をしたいと思いましたが。

(あてはまるものを1つ選択)

1. 移住したい
2. どちらかといえば、移住したい
3. 二地域居住したい
4. どちらかといえば、二地域居住したい
5. 長期滞在したい
6. どちらかといえば、長期滞在したい
7. 移住も長期滞在もしたくない

Q11 (Q10で「1」「2」「3」「4」「5」「6」を選択した回答者のみ)

「移住や長期滞在をしたい」と答えた理由は何ですか(あてはまるものを全て選択)

1. 自然が身近に感じられるから
2. 温泉が身近にあるから
3. 町並み・景観がよいから
4. まちのイメージがよいから
5. 生活にかかるコストが安そうだから
6. 首都圏へのアクセスがよいから
7. 暮らしやすそうだから
8. その他(具体的に:)
9. 特に理由はない

Q12 (Q10 で「7」を選択した回答者のみ)

「移住も長期滞在もしたくない」と答えた理由は何ですか(あてはまるものを全て選択)

1. 自然が身近に感じられないから
2. 町並み・景観がよくないから
3. まちのイメージがよくないから
4. 住宅にかかるコストが高そうだから
5. 首都圏へのアクセスが悪そうだから
6. 暮らしにくそうだから
7. ほかに暮らしてみたい地区があるから
8. その他(具体的に: _____)
9. 特に理由はない

●属性

F1 現在の同居家族(あてはまるものを全て選択)

1. いない(一人暮らし)
2. 配偶者
3. 自分の子ども(未成年)
4. 自分の子ども(成人・単身)
5. 自分の子どもとその家族
6. 自分または配偶者の親
7. その他

F2 世帯年収 1. 300 万円未満 2. 300～600 万円未満 3. 600～900 万円未満
4. 900～1,200 万円未満 5. 1,200 万円以上

F3 職業 1. 会社員・役員、公務員 2. 自営業 3. パート・アルバイト 4. 学生
5. 専業主婦・主夫 6. 無職・定年退職 7. その他